

# **KOMplete KONTROL S-SERIES**



オペレーション マニュアル



この説明書に含まれる情報は、予期せぬ変更を含み、Native Instruments GmbH の側で責任を代理するものではありません。この説明書によって記述されるソフトウェアはライセンス同意を必要とし、他の媒介に複製してはなりません。Native Instruments GmbH が事前に書面で許可しない限り、どのような目的においても、この出版物のいかなる部分も複製、複写、またはその他の方法での伝達や記録することは許されません。全ての製品・会社名は各所持者の登録商標です。加えて、これを読む人は、このソフトを正規に購入したものであるとします。お客様のおかげで私達はより良いツールを製作していくことが可能になるので、ここに謝辞を惜しむものではありません。

“Native Instruments”, “NI” and associated logos are (registered) trademarks of Native Instruments GmbH.

Mac, Mac OS, GarageBand, Logic, iTunes and iPod are registered trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Windows, Windows Vista and DirectSound are registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

VST and Cubase are registered trademarks of Steinberg Media Technologies GmbH. ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.

RTAS and Pro Tools are registered trademarks of Avid Technology, Inc., or its subsidiaries or divisions.

All other trade marks are the property of their respective owners and use of them does not imply any affiliation with or endorsement by them.

著作・校正: Gustav Sto. Tomas, Nicolas Sidi

マニュアル翻訳: Akira Inagawa

ソフトウェアバージョン: 1.0 (10/2014)

製品の向上とバグ報告に関ったベータテスト参加者に特別な感謝をささげます。

---

**NATIVE INSTRUMENTS GmbH**

Schlesische Str. 29-30 29-30

D-10997 Berlin

Germany

[www.native-instruments.de](http://www.native-instruments.de)

**NATIVE INSTRUMENTS North America, Inc.**

6725 Sunset Boulevard

5th Floor

Los Angeles, CA 90028

USA

[www.native-instruments.com](http://www.native-instruments.com)

**NATIVE INSTRUMENTS K.K.**

YO Building 3F

Jingumae 6-7-15, Shibuya-ku,

Tokyo 150-0001

日本

[www.native-instruments.co.jp](http://www.native-instruments.co.jp)

**NATIVE INSTRUMENTS UK Limited**

18 Phipp Street

London EC2A 4NU

UK

[www.native-instruments.com](http://www.native-instruments.com)



© NATIVE INSTRUMENTS GmbH, 2014. All rights reserved.

---

---

# 目次

<b>1</b>	<b>KOMplete KONTROL へようこそ .....</b>	<b>12</b>
1.1	各資料紹介 .....	12
1.2	マニュアルの注釈について .....	14
1.3	動作環境 .....	16
<b>2</b>	<b>基本コンセプト .....</b>	<b>17</b>
2.1	KOMplete KONTROL と KOMplete KONTROL S-SERIES .....	17
2.1.1	Browser と Navigate セクション .....	18
2.1.2	Perform Panel と Perform Section .....	19
2.1.3	Light Guide (ライトガイド) .....	21
2.1.4	KOMplete Instrument Parameters の Control Section .....	22
2.1.5	Transport Section とホストアプリケーション .....	24
2.2	KOMplete KONTROL ソフトウェアインターフェイスの設定 .....	25
2.2.1	ブラウザの表示と最小化 .....	25
2.2.2	パフォーマンスパネルの表示と最小化 .....	25
2.2.3	Instrument Views の選択 .....	26
2.3	スタンドアローンとプラグインモード .....	30
2.3.1	スタンドアローンとプラグインモードの違い .....	31
2.3.2	インスタンスの切り替え .....	32
2.3.3	ホストアプリケーションの設定 .....	33
2.4	MIDI モード .....	35
2.5	環境設定 (Preferences) .....	35
2.5.1	Preferences – Library ページ .....	36



---

2.5.2	Preferences – Hardware ページ .....	40
2.6	オーディオと MIDI の設定 .....	43
2.6.1	オーディオと MIDI の設定 – Audio ページ .....	44
2.6.2	オーディオと MIDI の設定 – Routing ページ .....	45
2.6.3	オーディオと MIDI の設定 – MIDI ページ .....	46
2.7	外部 MIDI 機器と KOMPLETE KONTROL S-SERIES を接続する .....	47
2.8	MIDI 入出力 .....	48
2.8.1	入力 MIDI とホストオートメーション .....	48
2.8.2	MIDI 出力とホストコントロール .....	49
2.8.3	MIDI モード .....	49
2.9	Native Map .....	49
2.9.1	Native Map による自動アサインコントロール .....	50
2.10	MIDI とホストオートメーションによるパラメーターのコントロール .....	50
2.10.1	オートメーションの録音 .....	51
2.10.2	オートメーション ID .....	53
2.11	KOMPLETE KONTROL S-SERIES とペダルを使用する .....	54
<b>3</b>	<b>クイックスタート .....</b>	<b>56</b>
3.1	最初のステップ .....	56
3.1.1	ブラウザを開く .....	57
3.1.2	インストゥルメントプリセットの検索とロード .....	58
3.2	KOMPLETE インストゥルメントのコントロール .....	67
3.2.1	インストゥルメントパラメーターの操作 .....	67
3.2.2	8 以上のパラメーター: パラメーターページの切り替え .....	67

---

---

3.3	パフォーム機能の使用: Scale、Arp、Light Guide .....	68
3.3.1	スケールの設定 .....	68
3.3.2	コードの演奏 .....	69
3.3.3	アルペジオコードの演奏 .....	70
3.4	次は? .....	71
<b>4</b>	<b>KOMLETE KONTROL ソフトウェア概要 .....</b>	<b>73</b>
4.1	ソフトウェアインターフェイス概観 .....	74
4.2	ヘッダ (Header) .....	75
4.3	ブラウザ .....	76
4.4	インストゥルメントエリア .....	77
4.4.1	Default View .....	79
4.4.2	Additional View .....	79
4.4.3	Edit View .....	81
<b>5</b>	<b>KOMLETE KONTROL ソフトウェアブラウザ .....</b>	<b>83</b>
5.1	ブラウザの基本 .....	83
5.1.1	ライブラリ .....	84
5.1.2	ライブラリの閲覧とハードディスクの閲覧 .....	84
5.2	ライブラリからファイルを検索、ロードする .....	85
5.2.1	Library ペインの概観 .....	85
5.2.2	ファクトリー、ユーザーコンテンツの選択 .....	88
5.2.3	Product Category、Product、Bank の選択 .....	88
5.2.4	Type と Mode タグの選択 .....	94
5.2.5	テキスト検索の方法 .....	100

---

---

5.2.6	リザルトリストの使用 .....	100
5.3	追加ブラウズツール .....	102
5.3.1	ファイル情報の表示 .....	104
5.4	ファイルタグとプロパティの編集 .....	104
5.4.1	アトリビュートエディターの基本的な使用方法 .....	104
5.4.2	BANK ページ .....	106
5.4.3	TYPES と MODES ページ .....	107
5.4.4	PROPERTIES ページ .....	109
5.5	ファイルシステムからファイルをロード、インポートする .....	110
5.5.1	Files ペインの概観 .....	110
5.5.2	Favorites (お気に入り) の使用 .....	112
5.5.3	ロケーションバーの使用 .....	113
5.5.4	最近使った場所への移動 .....	114
5.5.5	リザルトリストの使用 .....	115
5.5.6	KOMplete ライブラリにファイルをインポートする .....	117
<b>6</b>	<b>KOMplete KONTROL ソフトウェアパフォームパネル .....</b>	<b>119</b>
6.1	パフォームパネル概観 .....	120
6.2	音楽理論について .....	125
6.2.1	スケール .....	125
6.2.2	コード .....	125
6.2.3	アルペジオ .....	126
6.3	スケールエンジン .....	126
6.4	スケールパラメーター .....	127

---

---

6.4.1	Root Note .....	127
6.4.2	Scale Type .....	128
6.4.3	Key Mode .....	132
6.4.4	Chord Mode .....	135
6.4.5	Chord Type .....	137
6.5	アルペジエーター .....	139
6.6	Arp パラメーター .....	140
6.6.1	Mode .....	141
6.6.2	Type .....	142
6.6.3	Rate .....	143
6.6.4	Sequence .....	144
6.6.5	Swing .....	145
6.6.6	Octaves .....	146
6.6.7	Dynamic .....	146
6.6.8	Gate .....	147
<b>7</b>	<b>KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボード .....</b>	<b>148</b>
7.1	キーボード概観 .....	148
7.2	MIDI モード .....	150
7.2.1	コントローラーモードの切り替え .....	151
7.2.2	MIDI モードによるホストコントロール .....	151
7.3	ホストコントロールとトランスポートセクション .....	152
7.3.1	トランスポートコントロール .....	153
7.3.2	自動トラックフォーカスとナビゲートセクション .....	155

---

---

7.3.3	KOMplete KONTROL インスタンスの切り替え .....	158
7.4	ブラウズとナビゲートセクション .....	160
7.4.1	BROWSE ボタンとブラウザ .....	162
7.4.2	プロダクトとバンクの選択 .....	166
7.4.3	Type と Mode タグの選択 .....	171
7.4.4	リザルトリストの使用 .....	179
7.5	コントロールセクション .....	180
7.5.1	コントロールセクションの各コントロール部 .....	181
7.5.2	Native Map .....	182
7.5.3	コントロールセクションによるインストールパラメーターのコントロール方法 .....	183
7.5.4	コントロールセクションでパフォーマンス機能をコントロールする .....	187
7.6	タッチストリップ .....	187
7.6.1	ピッチストリップ .....	189
7.6.2	モジュレーションストリップ .....	192
7.7	Light Guide (ライトガイド) .....	195
7.7.1	KOMplete インストールメントマッピング .....	195
7.7.2	パフォーマンス機能のマッピング .....	197
<b>8</b>	<b>KOMplete KONTROL S-SERIES のパフォーマンス機能 .....</b>	<b>198</b>
8.1	PERFORM セクション概要 .....	199
8.1.1	SCALE ボタンの機能 .....	199
8.1.2	ARP ボタンの機能 .....	200
8.2	SCALE .....	201

---

---

8.3	SCALE パラメーター .....	201
8.3.1	SCALE と Root Note .....	201
8.3.2	Scale Type .....	203
8.3.3	KEY MODE .....	206
8.3.4	CHORD .....	210
8.3.5	Chord Type .....	211
8.4	ARP .....	214
8.5	サステインペダルによる ARP の使用 .....	214
8.6	ARP パラメーター .....	215
8.6.1	MAIN .....	216
8.6.2	Type .....	217
8.6.3	RHYTHM .....	218
8.6.4	SEQUENCE .....	219
8.6.5	SWING .....	220
8.6.6	OCTAVES / OTHER .....	221
8.6.7	DYNAMIC .....	222
8.6.8	GATE .....	222
<b>9</b>	<b>トラブルシューティング-ヘルプ .....</b>	<b>224</b>
9.1	トラブルシューティング .....	224
9.1.1	KOMPLETE KONTROL ソフトウェアが起動しない .....	224
9.1.2	KOMPLETE インストゥルメントが発音しない .....	224
9.1.3	レイテンシーの問題 .....	224
9.1.4	KOMPLETE KONTROL ソフトウェアがクラッシュする .....	225

---

---

9.1.5	アップデート .....	225
9.2	ヘルプ .....	226
9.3	サポートチャンネルビデオ .....	226
9.3.1	Knowledge Base .....	226
9.3.2	テクニカルサポート .....	226
9.3.3	レジストレーションサポート .....	227
9.3.4	ユーザーフォーラム .....	227
<b>索引</b>	<b>.....</b>	<b>228</b>



# 1 COMPLETE KONTROL へようこそ

COMPLETE KONTROL をお選びいただき、ありがとうございます。

COMPLETE KONTROL と専用キーボードの COMPLETE KONTROL S-SERIES は音楽スタジオでその連動力を発揮、COMPLETE ライブラリのインストゥルメントを完全に制御します。

COMPLETE KONTROL で直感的に COMPLETE インストゥルメントをブラウズすることができ、またスケールやコードを用いた演奏ができます。またホストソフトウェアを COMPLETE KONTROL S-SERIES コントローラーで制御することが可能で、タッチストリップやノブ、ボタンの機能をコントローラーエディタアプリケーションを用いて任意の設定にカスタマイズ可能です。この製品を思う存分楽しんでいただけることを願います。それでは早速はじめましょう！

NATIVE INSTRUMENTS チームより

## 1.1 各資料紹介

COMPLETE KONTROL では多くの情報源を用意しています。各資料は以下の順番で読み進めると効率がいいでしょう。

1. **COMPLETE KONTROL Setup Guide**
2. **COMPLETE KONTROL マニュアル** (本資料です)



全資料はハードディスク内の COMPLETE KONTROL インストールフォルダ内に PDF 形式で保管してあります。Application Menu Bar の [Help](#) から、または COMPLETE KONTROL メニューの *Help* サブメニューからこれらの資料にアクセスすることが可能です。



Service Center または Native Instruments ウェブサイトを定期的に確認し、これらの資料が最新のものであるか確かめてください。Application Menu Bar の [Help](#) メニューで *Launch Service Center* を選択、あるいは COMPLETE KONTROL S-SERIES メニューの *Help* サブメニューから Service Center を起動することができます。



Service Center または Native Instruments ウェブサイトを定期的に確認し、これらの資料が最新のものであるか確かめてください。Application Menu Bar の [Help](#) メニューで *Launch Service Center* を選択、あるいは COMPLETE KONTROL S-SERIES メニューの *Help* サブメニューから Service Center を起動することができます。

追加資料では各項目の詳細を提供しています。

- **COMPLETE KONTROL S-SERIES Ableton Live Setup 資料**

## ▪ Controller Editor マニュアル

ここからは各資料について手短かに紹介します。

## 最初にーセットアップガイド

セットアップガイドは KOMplete KONTROL と KOMplete KONTROL S-SERIES ハードウェア/ソフトウェアをインストールする為のガイドとなり、初歩設定からスピーカーから音が出るまでの手助けとなります。

まずセットアップガイド (Setup Guide) を参照してください。セットアップガイド を読み、設定手順に従えば、KOMplete KONTROL と KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードを起動することが可能となるはずです。その後この KOMplete KONTROL マニュアルを手にとって KOMplete KONTROL に関する知識を深めてください。

## KOMplete KONTROL マニュアル

KOMplete KONTROL マニュアルでは KOMplete KONTROL ソフトウェアと KOMplete KONTROL S-SERIES ハードウェアの全機能内容について包括的に紹介しています。

## KOMplete KONTROL S-SERIES Ableton Live セットアップ

KOMplete KONTROL S-SERIES をホストソフトウェアと共に問題なく使用する際には、まずホストを互換性のあるバージョンにアップデートしてください。Ableton Live と KOMplete KONTROL S-SERIES を使用する場合、互換性のあるバージョンは Ableton Live 9.1.4 以降となります。更に、追加設定を行ってから使用してください。Ableton Live と KOMplete KONTROL S-SERIES を使用する際の設定内容詳細に関しては、ハードディスク内の KOMplete KONTROL インストールフォルダ内にある Host Integration Files サブフォルダ内の PDF ファイルを参照してください。このファイルはここにもあります。 <http://www.native-instruments.com/en/support/knowledge-base/show/2643/>

## Controller Editor マニュアル

KOMplete KONTROL S-SERIES ハードウェアコントローラーで専用 KOMplete KONTROL ソフトウェアを使用する他にも、本ハードウェアを非常に強力で万能な MIDI コントローラーとして使用し、MIDI の使用が可能なアプリケーション、機器を操作することが可能です。この操作を可能にする為にはコントローラーエディター (Controller Editor) ソフトウェアを使用して、KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードの正確な MIDI アサインを行うことが必要です。コントローラーエディタは KOMplete KONTROL のイ

インストール過程でインストールされます。詳細を確認するには、ハードディスク内のコントローラーエディターインストールフォルダ内のサブフォルダ、Documentation にある Controller Editor Manual (PDF) を参照してください。

## その他のオンライン情報

NATIVE INSTRUMENTS 製品に問題が生じ、既存の資料で問題が解決できない場合は、次のヘルプを有効利用してください。

- ナレッジベース
- ユーザーフォーラム
- テクニカルサポート
- レジストレーションサポート

これらの詳細に関しては [↑9, \*\*トラブルシューティングヘルプ\*\*](#) を参照してください。

## 1.2 マニュアルの注釈について

このセクションでは、本マニュアルで使用しているテキストと表記内容について解説します。本マニュアルでは、特定表記専用フォントを使用して特記事項や、危険事項について解説しています。以下の各アイコンで、特記事項内容の大まかな分類を見分けます。



このアイコンの後に表記してある内容には、必ず従ってください。



この電球アイコンでは有効なヒントとなる内容を記載してあります。ここではしばしば機能をより効率よく使用するための解決策が記載されていますが、必ずこれを実行しなければならないという内容ではありません。作業効率を図るためには一度確認しておくことをお勧めします。

更に、以下の書式を使用する場合があります。

- 各メニューで表示される内容 (*Open…*、*Save as…* 等) 及び、ハードディスク、またはその他の記録媒体のパスはイタリックで表示されます。
- その他の場所で表示されるテキスト (ボタン、コントロール部、チェックボックス脇のテキスト等) は青色で表示されます。この書体が使用されている場合、同じテキストをスクリーン上で確認できるはずで
- ハードウェアコントローラー画面表示内容は薄い灰色で明記しています。この書体が使用されている場合、同じテキストをコントローラー画面上で確認できるはずで
- ハードウェアコントローラーに関する表示内容はオレンジで明記しています。この書体が使用されている場合、同じテキストをコントローラー上で確認できるはずで

- 重要な名称とコンセプトは**ボールド**体で表示しています。
  - コンピュータのキーボード上で操作する場合はそれらのキーワードを括弧で示します (例、[Shift] + [Enter] )。
- ▶ インストラクションの始めには、それぞれ再生ボタンのような矢印マークが添えてあります。
- 操作の結果を示す場合、小さな矢印が添えられます。

## 資料内での各呼称について

本資料では **KOMPLTET KONTROL S-SERIES** はキーボード、**KOMPLTET KONTROL** はコンピュータにインストールしてあるソフトウェアのことを指します。

## キーボードのボタンのコンビネーションとショートカット

殆どの場面で “+” サインは組み合わせて同時に使うボタンを表現するために用いられます。例えば以下の解説で用います。

“**SHIFT** + **PLAY** を押します” は次を意味します。

1. **SHIFT** を押したままにします。
2. **SHIFT** を押したまま、**PLAY** を押して放します。
3. **SHIFT** を放します。

## KOMPLTET KONTROL S-SERIES キーボード上の機能表記がないノブについて

KOMPLTET KONTROL S-SERIES キーボードのディスプレイの上にあるノブには機能の記載がありません。



KOMPLTET KONTROL S-SERIES キーボードの記載がないノブです。

これらはこの資料に頻出するのでその表記法を記載しておきます。これらの部分は、ディスプレイの上のノブはノブ 1 からノブ 8 と表記します。例えば「ノブ 2 を回して値を大きくする」といった解説がある場合、ディスプレイの上の左から 2 番目のノブを回します。

## 1.3 動作環境

KOMPLETE KONTROL と KOMPLETE KONTROL S-SERIES が正常に機能するための動作環境は以下の必要条件を満たすことが必須となります。

- Windows 7 または Windows 8
- Mac OS X 10.8 または 10.9
- KOMPLETE KONTROL S-SERIES の使用には USB 2.0（専用ケーブル同封）またはそれ以上の USB が必要です。
- KOMPLETE KONTROL S-SERIES 用電源ケーブル（パワーサプライ）

## KOMPLETE

KOMPLETE KONTROL は KOMPLETE 10 と KOMPLETE 10 ULTIMATE の使用時に最適な仕様に設計されています。全機能を使用するには、KOMPLETE 9 以上のバージョンが必要です。KOMPLETE 10 と KOMPLETE 10 ULTIMATE の動作環境

- Windows 7 または Windows 8、Intel Core 2 Duo または AMD Athlon 64 X2
- Mac OS X 10.7、10.8、10.9、Intel Core 2 Duo
- 4 GB RAM (大型 KONTAKT インストゥルメントには 6 GB を推奨)

## サポートホストアプリケーション

KOMPLETE KONTROL のホスト統合機能が円滑に機能するためには、ホストアプリケーションに相応の互換性が必要となります。以下のナレッジベースには一般的に使用されている DAW の概要を記載しています。

<http://www.native-instruments.com/en/support/knowledge-base/show/2765/>

第三者製ソフトウェアと KOMPLETE KONTROL の互換性の最新情報を確認するには以下を参照してください。 [www.native-instruments.com/komplete-control-system-requirements](http://www.native-instruments.com/komplete-control-system-requirements)

## 2 基本コンセプト

この章では COMPLETE KONTROL の主な機能と各部の関係について解説します。また、オーディオインターフェイスの設定方法と MIDI 機器の接続方法についても解説します。



この章を読む前にまず COMPLETE KONTROL セットアップガイドを読んでおくことを推奨します。

### 2.1 COMPLETE KONTROL と COMPLETE KONTROL S-SERIES

COMPLETE KONTROL は COMPLETE KONTROL ソフトウェアと共に使用することで素早いブラウズ力と強力な演奏性を発揮、COMPLETE KONTROL S-SERIES 鍵盤の操作性も抜群です。各製品は Native Instruments の COMPLETE インストゥルメント使用に完全対応します。

COMPLETE KONTROL とソフトウェアインターフェイスの各エリアは、COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードのハードウェアセクションと直結しています。キーボードのノブでインストゥルメントの各パラメーターを制御することで、ソフトウェアの対応するコントロール部が反応します。ハードウェアのノブを回す、タッチストリップをスワイプ、ボタンを押す動作で、ソフトウェアの対応する各コントロール部が連動します。

COMPLETE KONTROL のブラウザで “soundscapes” や “percussion ” といった特定の COMPLETE インストゥルメントをロードすることができます。

COMPLETE KONTROL 内で COMPLETE インストゥルメントをロードすると、即座に COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードでインストゥルメントの各コントロールにアクセスできるようになります。キーボードのノブとタッチストリップ、ボタンはロードした COMPLETE インストゥルメントの内容に従って (Native Instruments 独自の Native Map プロトコルにより) 各パラメーターの自動マッピングが施されます。

COMPLETE KONTROL のパフォーマンスパネルで各スケール、コード、アルペジオにより、COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードによる演奏内容に変化をつけることができます。キーボードの鍵盤にスケールをマッピングすることにより、斬新な表現力を手に入れることができます。

Light Guide の LED により、リアルタイムでどのキーを演奏しているか視認することもできます。ホストで MIDI ノートパターンを再生している状態でも Light Guide を使用することができます。

- COMPLETE KONTROL と COMPLETE KONTROL S-SERIES の連動性の概要を知るには以下の概観を参照してください。

- COMPLETE KONTROL S-SERIES にまず触れるのであれば [↑3, クイックスタート](#) のクイックスタートを参照してください。
- COMPLETE KONTROL ソフトウェアの詳細は [↑4, COMPLETE KONTROL ソフトウェア概要](#) 以降を読み進めてください。
- COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの詳細は [↑7, COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボード](#) 以降を読み進めてください。

## 各機能

以下のセクションでは COMPLETE KONTROL ソフトウェアと COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの概要に触れ、各部の関係性、COMPLETE ライブラリのインストールへの影響について大きく紹介していきます。

### 2.1.1 Browser と Navigate セクション

ブラウザから COMPLETE ライブラリと、その内部の全インストールにアクセスします。COMPLETE KONTROL ソフトウェアからファイルの検索、編集、タグ付け、アレンジ、ロードができ、また COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの **NAVIGATE** セクションからブラウザを使用することも可能です。この方法でハードウェアから COMPLETE インストールメントの検索、絞り込み検索、ロードができ、ライブ演奏時等でその効力を発揮します。





KOMPLETE KONTROL ソフトウェアインターフェイスの左側にあるブラウザと、  
 KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの NAVIGATE セクションのブラウザです (S25 を  
 表示しています)。

## 2.1.2 Perform Panel と Perform Section

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアインターフェイスの上部近くにあるパフォーマンスパネル  
 (Perform Panel) でスケールとコードを生成、KOMPLETE インストゥルメントのサウンドを用いたアルペ  
 ジオ演奏を行います。KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの左上の **PERFORM** セクションから

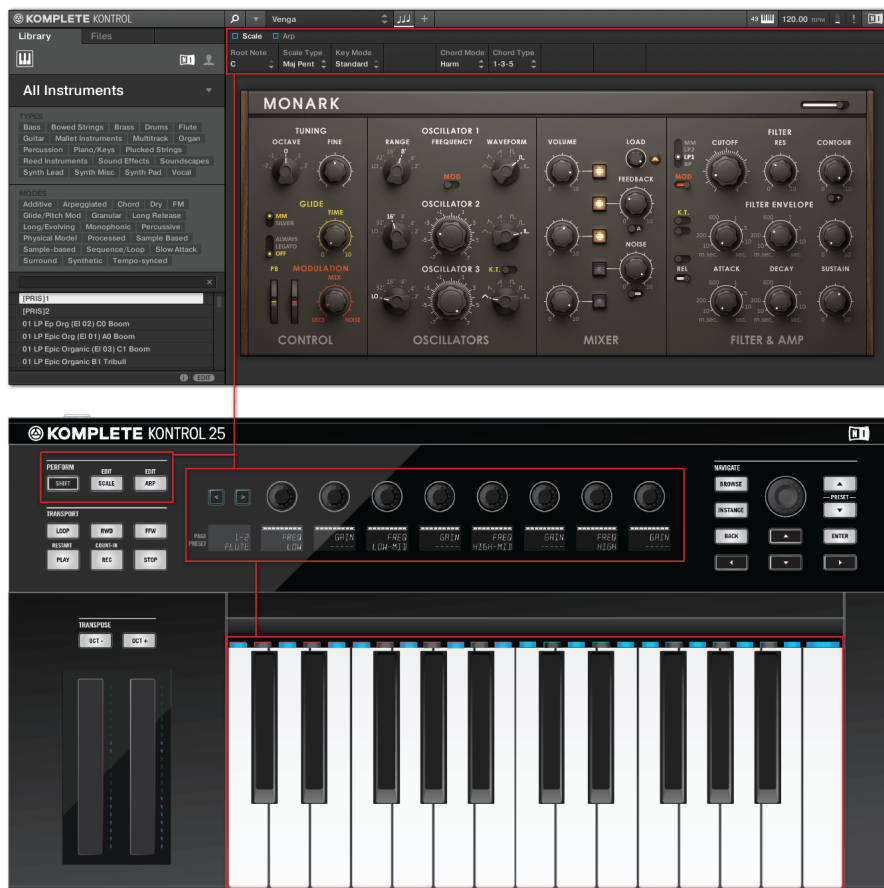
これらのパラメーターにアクセスすることもできます。パフォーマンスパラメーターはキーボードのノブとディスプレイにマッピングされ、ハードウェアコントロール部を用いてスケールとアルペジオの内容を編集することができます。



KOMLETE KONTROL ソフトウェアのパフォーマンスパネルと、COMPLETE KONTROL S-SERIES の PERFORM セクションにマッピングされた対応する各ノブとディスプレイです。

## 2.1.3 Light Guide (ライトガイド)

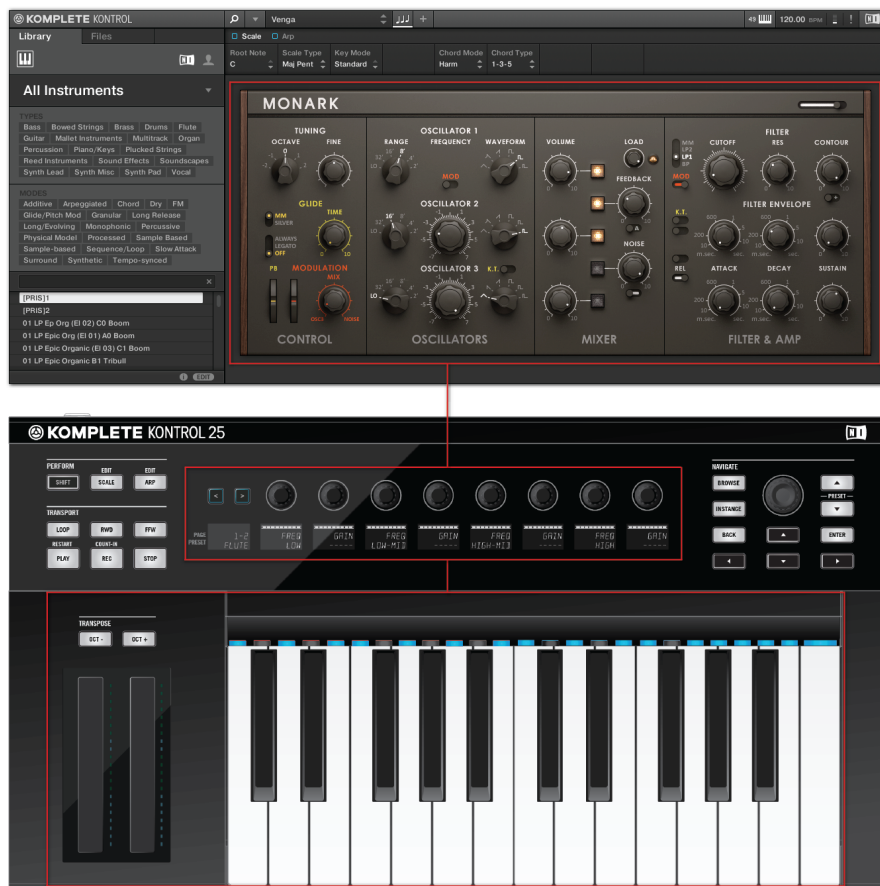
パラメーターの各設定内容は瞬時に Light Guide の LED (鍵盤のすぐ上にあります) に反映されます。この機能で Perform Panel (software) 、または **PERFORM** セクション (keyboard) で選択したスケールに対応する鍵盤を、LED のオンオフ表示で確認することができます。点灯していない鍵盤を押すと、COMPLETE KONTROL はそこから一番近い点灯しているキーを発音し、スケールの設定内容を維持します。Light Guide はホストで MIDI ノートを再生する際も、演奏キーを表示します。



パフォームパラメーターでの設定内容により、Light Guide が対応、LED の点灯で選択したスケールを表示します (C major を選択しています)。

## 2.1.4 KOMPLETE Instrument Parameters の Control Section

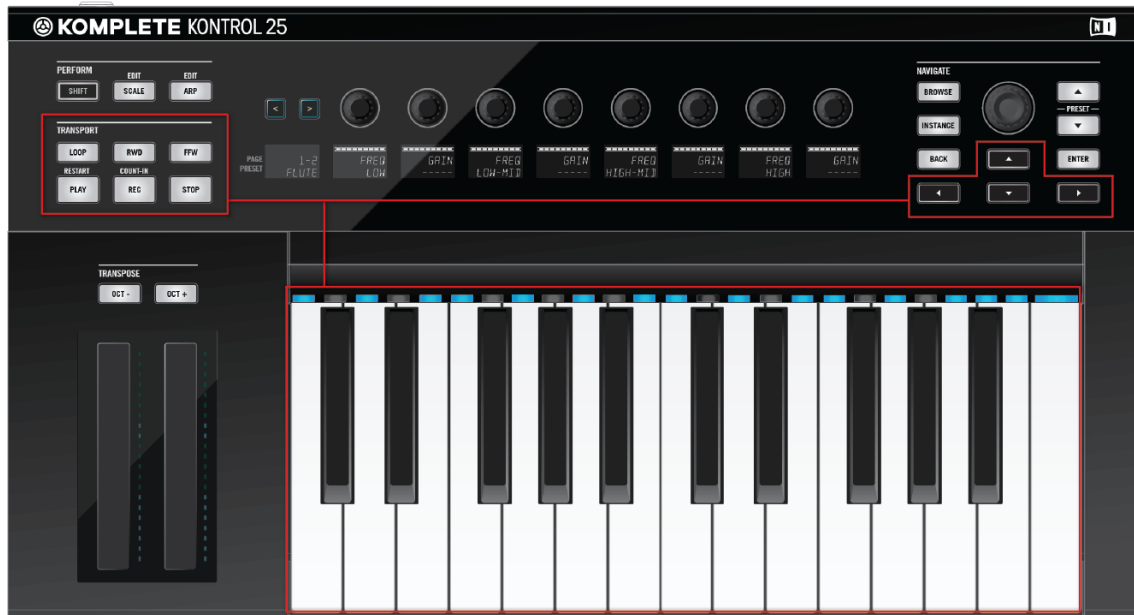
KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードのノブとタッチストリップ、ボタンはロードした KOMPLETE インストゥルメントの内容に従って (Native Instruments 独自の Native Map プロトコルにより) 各コントロール部とパラメーターの自動マッピングが施されます。追加 MIDI アサインは必要ありません。ブラウザからインストゥルメントをロードすることで、直ちに演奏可能な状態となります。



KOMPLETE KONTROL で MONARK をロードし、KOMPLETE KONTROL S-SERIES のタッチストリップとノブ、ディスプレイにインストゥルメントのコントロール部が自動アサインされた状態です。

## 2.1.5 Transport Section とホストアプリケーション

KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードでホストアプリケーションを直接制御することで、ライブ演奏時等でのコンピューターのマウス操作から解放されます。左端にある **TRANSPORT** セクションと右の **NAVIGATE** セクションの左右矢印ボタンは各自 DAW での録音トラックを選択する際に使用します。その流れでキーボードによる録音を開始します。KOMPLETE KONTROL S-SERIES からホストを制御する際の詳細はセクション [↑7.3, ホストコントロールとトランスポートセクション](#) を参照してください。



TRANSPORT セクションと NAVIGATE ボタンで KOMPLETE KONTROL S-SERIES からホストアプリケーションを制御します。



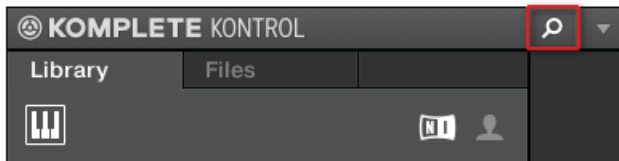
外部 MIDI ハードウェアを用いる際のホストアプリケーションの設定方法は各使用 DAW の資料の関連項目を参照してください。

## 2.2 COMPLETE KONTROL ソフトウェアインターフェイスの設定

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアユーザーインターフェイスは非常に柔軟です。表示する内容を設定することで、作業を効率よく進めることができます。このセクションでは KOMPLETE KONTROL GUI を作業用途に合わせて表示する方法を解説します。

### 2.2.1 ブラウザの表示と最小化

- ▶ ヘッダのブラウザボタン (拡大鏡シンボル) をクリックしてブラウザを表示、または最小化した状態にします。Application Menu Bar の [View](#) メニュー、または KOMPLETE KONTROL メニューの [View](#) サブメニューから *Browser* を選択することができます。



ヘッダのブラウザボタンです。

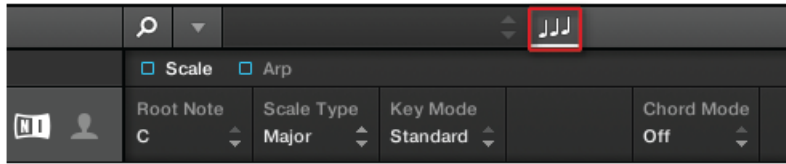


スタンドアローンモードでは、[B] キーを使用して、コンピューターのキーボードからブラウザを表示/非表示することができます。

### 2.2.2 パフォーマンスパネルの表示と最小化

- ▶ ヘッダのパフォーマンスパネルボタン (3つのノートのシンボルです) をクリックしてパフォーマンスパネルを表示、最小化します。Application Menu Bar の [View](#) メニュー、または KOMPLETE KONTROL メニューの [View](#) サブメニューから *Perform Panel* を選択することができます。





ヘッダのパフォーマンスパネルボタンです。

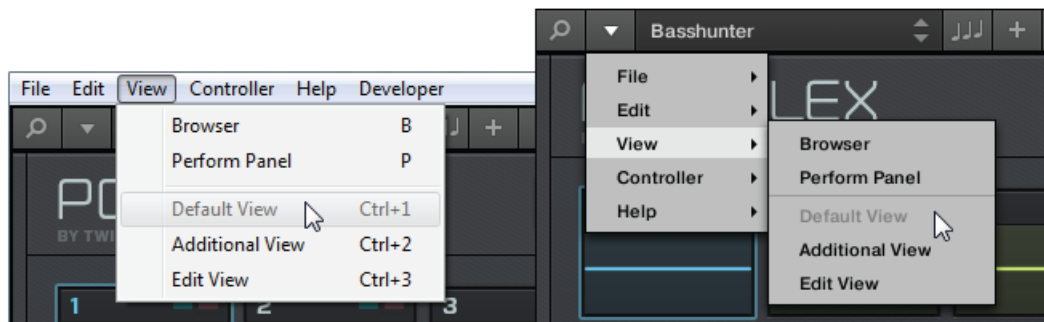


スタンドアローンモードでは、[P] キーを使用して、コンピューターのキーボードからパフォーマンスパネルを表示/非表示することができます。

## 2.2.3 Instrument Views の選択

ブラウザから COMPLETE インストゥルメントをロードすると、COMPLETE KONTROL ソフトウェアのインストゥルメントエリアに表示されます。殆どのインストゥルメントには複数のビューがあり、各コントロールによる詳細設定が可能な状態です。以下は 3 種のインストゥルメントビューの内容です。

- ▶ インストゥルメントビューを切り替えるには、アプリケーションメニューバーの **View**、または submenu of the COMPLETE KONTROL メニューの **View** サブメニューをクリックして *Default View*、*Additional View*、*Edit View* のどれかを選択します。



アプリケーションメニューバーのインストゥルメントビューの **View** メニュー (図は Windows) と、COMPLETE KONTROL メニューの **View** サブメニューです。



ロードしたインストゥルメントによってビューの総数が異なります。



KOMLETE KONTROL ソフトウェアでインストゥルメントビューを選択した状態であっても、KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードでインストゥルメントの全パラメーターを常に制御することができます。

## Default View

デフォルトビューはブラウザからインストゥルメントをロードすると表示されます。ここで各 KOMLETE インストゥルメントの最重要制御部にアクセスします。



POLYPLEX のデフォルトビューです。

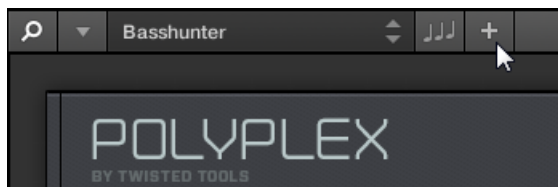
## Additional View

殆どの KOMLETE インストゥルメントには 2 番目のパラメーター表示部となるアディショナルビューがあります。ロードしたインストゥルメントによって、このアディショナルビューでは詳細コントロール部、またはまったく異なる機能用のコントロール部が用意されます。



POLYPLEX のアディショナルビューです。

- ▶ アディショナルビューに切り替えるには、COMPLETE KONTROL ヘッダの + ボタンをクリックします。



もう一度クリックすると、COMPLETE インストゥルメントのデフォルトビューに戻ります。

## Edit View

また、KONTAKT または REAKTOR プレイヤーでロード、演奏することができる COMPLETE インストゥルメントをエディットビューで開くことも可能です。このエディットビューで、通常スタンドアローンモードの KONTAKT または REAKTOR 内で使用できる柔軟な全コントロール部と各機能にアクセスすることができます。

- ▶ エディットビューに切り替えるには、COMPLETE KONTROL メニューの *View* サブメニューの *Edit View* をクリックします。



エディットビューは KONTAKT または REAKTOR インストゥルメントのみで使用可能なビューです。



エディットビューで COMPLETE KONTROL ブラウザではロードできないファイルにアクセスします。例えば KONTAKT multis はエディットビューの KONTAKT ブラウザからロードすることとなります。



POLYPLEX のエディットビューです。

## 2.3 スタンドアローンとプラグインモード

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアをスタンドアローン、または使用している DAW 上でプラグインとして使用することも可能です。KOMPLETE KONTROL ソフトウェアは VST、Audio Unit、AAX プラグインの形式に対応しています。プラグインの互換性に関する詳細とホスト上でのプラグインの取り扱いに関する詳細は、ホストソフトウェアのマニュアルを参照してください。KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのインストールの際にプラグインをインストールしなかった場合は、KOMPLETE KONTROL ソフトウェアインストールフォルダの資料（documentation）フォルダから表示してください。



スタンドアローンモードで MIDI 録音を行うことはできません。オーディオと MIDI ルーティングに関しては [↑2.6, オーディオと MIDI の設定](#) を参照してください。



KOMplete KONTROL VST、AAX、AU 各プラグインのロード方法は各使用 DAW の資料の関連項目を参照してください。

## 2.3.1 スタンドアローンとプラグインモードの違い

### Transport 機能と Navigate コントロール

KOMplete KONTROL をホストシーケンサー (Cubase、Pro Tools 等)、上でプラグインとして使用する場合、KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードのトランスポート機能とナビゲートコントロールでホストを制御することができます。例えば DAW 上のトラックの切り替えや、録音開始、録音内容の再生をキーボードで操作することができます。詳細はセクション [↑ 7.3, ホストコントロールとトランスポートセクション](#) を参照してください。



MIDI モードで KOMplete KONTROL S-SERIES を使用することで、KOMplete KONTROL を起動しなくてもこれらの操作を行うことができます。

KOMplete KONTROL をプラグインとしてホストシーケンサー (Cubase または Logic 等) 上で使用する場合、KOMplete KONTROL はホストアプリケーションの MIDI クロックのみを受信します。KOMplete KONTROL プラグインからプロジェクトのテンポを変更する、といったことはできず、ホストのトランスポート機能とテンポセッティングに同期します。KOMplete KONTROL をプラグインとして使用する場合、KOMplete KONTROL ヘッダのテンポフィールドは灰色表示となり、無効の状態となります。

### オーディオと MIDI のやり取り

KOMplete KONTROL をスタンドアローンモードで使用すると、オーディオ、MIDI インターフェイスと直接信号のやり取りを行います。オーディオインターフェイスで使用する物理オーディオ/MIDI ポートを選択することができ、サンプルレートなどの必要不可欠な設定を行います。これらの設定は Audio と MIDI の設定パネル ([Audio and MIDI Settings ↑ 2.6, オーディオと MIDI の設定参照](#)) で行います。

- KOMplete KONTROL をホストアプリケーション上でプラグインとして使用する場合オーディオ、MIDI インターフェイスとのやり取りはホストを介され、KOMplete KONTROL プラグインはホストのみとやり取りを行います。



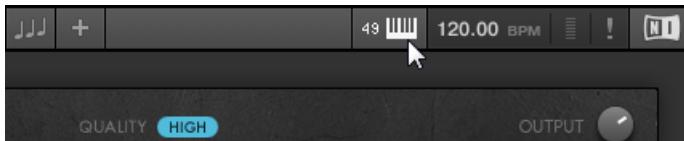
使用しているホストアプリケーションの各資料を参照し、オーディオと MIDI の設定を行ってください。

## 複数のプラグインインスタンス

ホストアプリケーションでプラグインバージョンの KOMPLETE KONTROL を使用している場合、複数の KOMPLETE KONTROL を使用することが可能です。使用しているコンピューターの CPU の許容能力に合わせて際限なく KOMPLETE KONTROL を起動させることが可能です。スタンドアローンバージョンとは違い、常にホストテンポに同期します。プラグインモードで、KOMPLETE KONTROL または KOMPLETE インストゥルメントパラメーターのオートメーションの録音を行うことができます。詳細は [↑ 2.10, MIDI とホストオートメーションによるパラメーターのコントロール](#)と [↑ 7.3.3, KOMPLETE KONTROL インスタンスの切り替え](#)を参照してください。

### 2.3.2 インスタンスの切り替え

複数の KOMPLETE KONTROL ソフトウェアインスタンスを起動している場合（DAW 上の異なるトラックでプラグインとして複数起動している場合）、KOMPLETE KONTROL キーボードで制御するインスタンスをどれかに絞る必要があります。インスタンスの選択はキーボード、またはソフトウェアからの両方で行うことができます。



コネクトボタンをクリックしてインスタンスとキーボードを接続します。

### ソフトウェアでインスタンスを切り替える

- ▶ 特定の KOMPLETE KONTROL インスタンスからキーボードを選択するには、使用するインスタンスの KOMPLETE KONTROL ヘッダで Connect ボタン（キーボードアイコン）をクリックします。

### キーボードでインスタンスを切り替える

キーボードで特定の KOMPLETE KONTROL インスタンスを選択する方法は以下となります。



ホストアプリケーションの互換性とバージョンによって、KOMPLETE KONTROL インスタンスの切り替えが機能しない場合があります。





Ableton Live と KOMplete KONTROL S-SERIES を使用する際の設定内容詳細に関しては、ハードディスク内の KOMplete KONTROL インストールフォルダ内にある資料 KOMplete KONTROL S-SERIES Ableton Live Setup PDF ファイルを参照してください。

- ▶ キーボードで KOMplete KONTROL インスタンスを選択するには、KOMplete KONTROL S-SERIES の上下 **NAVIGATE** ボタンを使用して DAW 内でインスタンスを含んでいるトラックを選択してください。トラックにロードしてある KOMplete KONTROL インスタンスは自動的に選択されます。

トラックの選択方法、キーボードで KOMplete KONTROL インスタンスを選択する方法に関する詳細は [↑ 7.3, ホストコントロールとトランスポートセクション](#)を参照してください。

### 2.3.3 ホストアプリケーションの設定

KOMplete KONTROL をスタンドアローンとして使用できるものの、殆どの場合、ホストアプリケーション上でプラグインとして使用することが多いでしょう。KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードを使用してホストアプリケーションを操作するには、事前の設定が必要です。必要な設定は以下に記載してあります。



DAW と KOMplete KONTROL、KOMplete KONTROL S-SERIES を完全連動させるために、ホストアプリケーションの資料を確認して必要な設定を行ってください。

### KOMplete KONTROL S-SERIES 用にホストを設定する

KOMplete KONTROL のホスト統合機能が円滑に機能するためには、ホストアプリケーションが以下の機能に対応している必要があります。以下のナレッジベースの記事を参照して、各ホストアプリケーションが対応する連動用各機能について確認してください。 <http://www.native-instruments.com/support/knowledge-base/show/2765/>.

本マニュアル作成時点で、KOMplete KONTROL S-SERIES と完全に連動する DAW は以下となります。

- Ableton Live 9.1.4 (追加設定が必要です。以下のナレッジベースを参照してください)
- Apple Logic X 10.0.7
- Steinberg Cubase 7.5.1
- Steinberg Nuendo 6.0.7



外部 MIDI ハードウェアを用いる際のホストアプリケーションの設定方法は各使用 DAW の資料の関連項目を参照してください。

KOMplete KONTROL S-SERIES を使用するためにホストアプリケーションを設定する方法に関しては以下のナレッジベース記事を参照してください。

- KOMplete KONTROL 使用時の Ableton Live の設定  
<http://www.native-instruments.com/support/knowledge-base/show/2643/>
- KOMplete KONTROL 使用時の Apple Logic の設定  
<http://www.native-instruments.com/support/knowledge-base/show/2787/>
- KOMplete KONTROL 使用時の Steinberg Cubase / Nuendo の設定  
<http://www.native-instruments.com/support/knowledge-base/show/2785/>

## 接続した他の MCU 機器との互換性



使用機材の中に MCU (Mackie Control Universal) プロトコルを用いた他の MIDI 機器がある場合は、ホストと KOMplete KONTROL S-SERIES を接続、設定する際に機器間に何らかの干渉が生じる場合があります。

ホストアプリケーションによっては以下の内容を踏まえることで、接続してある他の MCU 機器との干渉を避けることができます。上記した対応するホストを使用している場合

- ▶ **ホスト連動機能**（ホストトランスポートコントロールと自動トラックフォーカス機能）**以外**の KOMplete KONTROL S-SERIES の全機能を使用可能な状態に維持するには、ホストアプリケーションを設定する際に KOMplete KONTROL S-SERIES を MCU コントロールサーフェスとして設定しないようにしてください。設定しないことで同時に他の **MCU 機器** が使用できる状態となります。
- ▶ **ホスト連動機能**（ホストトランスポートコントロールと自動トラックフォーカス機能）**を含んで** KOMplete KONTROL S-SERIES の全機能を使用可能な状態に維持するには、ホストアプリケーションを設定する際に KOMplete KONTROL S-SERIES を MCU コントロールサーフェスとして設定してください。このように設定することで同時に他の MCU 機器が使用できない状態となります。



他の MCU 機器と KOMplete KONTROL S-SERIES を使用する場合はこのナレッジベース記事を参照してください。<http://www.native-instruments.com/support/knowledge-base/show/2895/>

## 2.4 MIDI モード

KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードで専用 KOMplete KONTROL ソフトウェアを使用する他にも、本ハードウェアを USB や他の MIDI 対応する ハードウェアを介してコンピュータに接続し、非常に強力で万能な MIDI コントローラーとして MIDI 使用が可能なソフトウェアアプリケーション、機器を操作することが可能です。



KOMplete KONTROL S-SERIES のリアパネルの MIDI ポートは コンピューターに USB を介してキーボードを接続した場合のみ機能します。

## MIDI モードへの切り替え

キーボードの KOMplete KONTROL モードと MIDI モードを切り替える方法は以下となります。



INSTANCE ボタンを介して MIDI モードに切り替える方法は、スタンドアローンモードの場合のみ可能です。

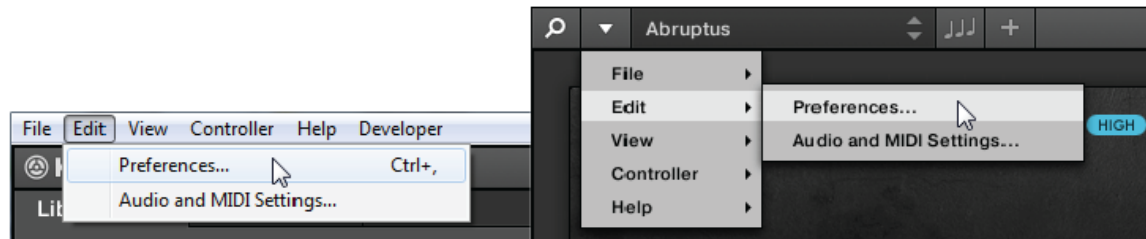
## Controller Editor

MIDI モードの多彩な威力はコントローラーエディター (Controller Editor) ソフトウェアによるものです。このソフトウェアによって KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードの正確な MIDI アサインが設定できます。コントローラーエディターは KOMplete KONTROL インストールの過程でインストールされます。詳細を確認するには、ハードディスク内のコントローラーエディターインストールフォルダ内のサブフォルダ、Documentation にある Controller Editor Manual (PDF) を参照してください。

## 2.5 環境設定 (Preferences)

[Preferences](#) で KOMplete KONTROL の各設定を行います。

- ▶ [Preferences](#) パネルを開くには、[Komplete Kontrol](#) メニュー (Mac OS X) の *Preferences...*、またはアプリケーションメニューバーの [Edit](#) メニュー (Windows) または KOMplete KONTROL メニューの *Edit* サブメニューをクリックします。



アプリケーションメニューバーの **Edit** メニューの *Preferences...* (Windows) と、KOMPLETE KONTROL メニューの *Edit* サブメニューです。

環境設定 (Preferences) パネルには以下のページがあります。

- **Library:** [↑ 2.5.1, Preferences – Library ページ](#) 参照
- **Hardware:** [↑ 2.5.2, Preferences – Hardware ページ](#) 参照

## 2.5.1 Preferences – Library ページ

**Library** ページでブラウザの **Library** ペインで表示する全 KOMPLETE KONTROL ライブラリファイル(ファクトリ、ユーザーの両方) の場所を編集します。



ブラウザの **Library** ペインの詳細は [↑ 5.2, ライブラリからファイルを検索、ロードする](#) にあります。

- ▶ **Library** ページを表示するには **Preferences** パネルの左にある **Library** タブをクリックします。

ページの上にある **Factory** と **User** ボタンで **Factory** ペイン **User** ペインを切り替えます。

## Factory ペイン

- ▶ **Factory** ペインを表示するには **Library** ページ上部の **Factory** ボタンを押します。



Preferences パネル- Library ページの Factory ペインです。

Factory ペインでは有効な全ファクトリーライブラリを表示します。これらのライブラリはブラウザの Library ペインの Factory ビューに表示されます。

要因	内容
Location カラム	各ライブラリのパスを表示します。コンピューターの他の場所にライブラリを移動した場合は、ライブラリの左のフォルダーアイコンをクリックして新規パスを指定します。
Product カラム	各製品名称を表示します。これらの名称は編集できません。
Rescan ボタン	ライブラリの内容を変更した場合 (例、場所の変更)は、リストのこの部分をクリックし、Rescan ボタンをクリックしてライブラリの内容を再スキャンします。

## User ペイン

- ▶ [User](#) ペインを表示するには、[Library](#) ページ上部の [User](#) ボタンをクリックします。



Preferences パネル– Library ページの User ペインです。

[User](#) ペインでは現在使用している全ユーザーライブラリを表示します。ここには KOMplete KONTROL のスタンダードユーザーディレクトリとその他のディレクトリが含まれます。これらのライブラリはブラウザの [Library](#) ペインの User ビューに表示されます。

要因	内容
Location カラム	各ライブラリのパスを表示します。コンピューターの他の場所にライブラリを移動した場合は、ライブラリの左のフォルダーアイコンをクリックして新規パスを指定します。
Alias カラム	各ライブラリ用に保存されたエイリアスを表示します。エイリアスをクリックして編集します。ユーザーフォルダー用にエイリアスを指定する必要はありませんが、異なるコンピューターを使用する際に便利でしょう(以下参照)。ロケーションを追加した後 (以下 Add 参照)、新規項目欄のフィールド部をクリックし、Alias カラムで新規ロケーション用エイリアスを設定します。デフォルトユーザーフォルダーエイリアスである Native Instruments User Directory は編集することができません。ここにデフォルトで全ユーザーファイルが保存されます。
Add ボタン	Add をクリックしてユーザーライブラリにディレクトリを手動で追加します。詳細は以下を参照してください。
Remove ボタン	Remove をクリックして選択したユーザーライブラリを削除します。ファイルは KOMPLETE KONTROL ブラウザから削除されるだけで、ハードディスクから削除されることはありません。
Rescan ボタン	ライブラリの内容を変更した場合 (例、ファイルの追加、削除後)は、リストのこの部分をクリックし、Rescan ボタンをクリックしてライブラリの内容を再スキャンします。



この環境設定パネルのサイズは通常コンピューター上で行う方法と同様の方法で変更することができます。各項目欄の境界線をドラッグして各欄のサイズ変更を行うこともできます。

## ユーザーライブラリにフォルダーを追加する

Library ページの User ペインで KOMPLETE KONTROL ライブラリのユーザーコンテンツに他のフォルダーを追加することができます。その方法は以下となります。

1. ペインの下 Add をクリックします。  
フォルダー選択ダイアログが表示されます。
2. ダイアログでコンピューター上の任意のフォルダーを選択、OK をクリックします (Choose、選択、Mac OS X)。

→ 選択したフォルダ内の全 KOMPLETE KONTROL-互換ファイルが KOMPLETE KONTROL のユーザーコンテンツに追加されます。



KOMPLETE KONTROL-互換ファイルは *ens*、*rkplr*、*nrkt*、*nfm8*、*nabs*、*nki*、*nmsv*、*nbkt* となります。

更にインポートした全てのファイルのアトリビュートセット (product/bank/sub-bank、type/subtype/mode tags、プロパティ) も再現されます。

KOMLETE ライブラリのユーザーコンテンツにフォルダーを追加する場合は、ブラウザの [Library](#) ペインにファイルを作成して検索とロードがスムーズに行えるようにしてください。ブラウザの [Library](#) ペインの使用法詳細はセクション [↑ 5.2, ライブラリからファイルを検索、ロードする](#) を参照してください。



ブラウザの [Files](#) ペインの [IMPORT](#) ボタンを介して追加したフォルダーのパスもここに表示されます。ここで解説する [Preferences](#) パネルで [Add](#) ボタンを使用してフォルダーを追加する方法とブラウザの [Files](#) ペインの [IMPORT](#) ボタンを使用してフォルダーを追加する方法の相違点は、後者ではインポートしたファイルに直接タグをつけることが可能な点にあります。セクション [↑ 5.5.5, リザルトリストの使用](#) を参照して [Files](#) ペインからフォルダーをインポートしてください。

フォルダー選択時に [User](#) または [Factory](#) ペインに既に表示してあるフォルダを選択、またそのフォルダを含んだフォルダを選択することはできません、フォルダーセクションダイアログで [OK](#)、([Choose](#)、選択、Mac OS X)を押した時点で KOMLETE KONTROL が上に該当するようなフォルダを検出した場合は [Duplicate Location](#) メッセージが表示されるので、[OK](#) をクリックしてフォルダーセクションダイアログに戻り、コンピューターで他のフォルダーを選択します。

## ユーザーライブラリからフォルダーを削除する

ライブラリからデフォルトユーザーコンテンツディレクトリである [Native Instruments User Content](#) 以外のユーザーフォルダーを削除することもできます。

### 2.5.2 Preferences – Hardware ページ

[Hardware](#) ページで鍵盤、またはタッチストリップ、Light Guide の性質をカスタマイズすることができます。

- ▶ [Hardware](#) ページを表示するには [Preferences](#) パネル左の [Hardware](#) タブをクリックします。





Preferences パネル – Hardware ページ、Standard モード



Preference パネル- Hardware ページ、Ball モード

セッティング	内容
Keyboard	
Velocity Scaling	Velocity Scaling (ベロシティースケーリング) で演奏情報をどのようなベロシティーで対応するか選択します。選択肢は <i>Soft 3</i> (反応感度が高い) から <i>Linear</i> を介し、 <i>Hard 3</i> (力を入れて鍵盤を叩かないと反応しません) までとなっています。
Light Guide	
Enabled	Light Guide は鍵盤上部にある色付き LED 部で、この部分がオンオフ点灯します。Light Guide はホストアプリケーションが再生する MIDI パターンを視覚化、また Perform Panel で設定したスケールを基準に発音しているキーを表示します。
Pitch Strip	

セッティング	内容
Spring Strength	Spring Strength でピッチストリップがデフォルト値に戻るまでの速さを設定します。
Modulation Strip	
Mode	Mode でモジュレーションストリップの性質を <i>Standard</i> または <i>Ball</i> で選択します。 <i>Standard</i> モードでは、モジュレーションストリップに触れた場合のみ値が変わります。 <i>Ball</i> モードでは、モジュレーションストリップはボールのような反動性を持ちます。さらに追加設定項目 <i>Friction</i> 、 <i>Gravity</i> 、 <i>Walls</i> でこの性質を更に詳細設定できます。
Display	Display でモジュレーションストリップの現状を <i>Bar</i> または <i>Dot</i> のどちらのモードで表示するか選択します。 <i>Bar</i> でストリップ下部から LED が表示を始め、現在の値を表示 (レベルメーターに似ています)、 <i>Dot</i> では現在の値のみを点で表示します。
Friction ( <i>Ball</i> のみ)	Friction でボールを放したときの減速度合いを設定します。左に回しきるとボールは止まらなくなり、右に回しきると即座に止まるようになります。
Gravity ( <i>Ball</i> モードのみ)	Gravity で指を置いたときのボールの指への反応度合いを設定します。
Walls ( <i>Ball</i> モードのみ)	Walls でボールがストリップの最終部分で跳ね返るか、通過するか選択します。



Light Guide の詳細はセクション [↑7.7, Light Guide \(ライトガイド\)](#) を参照してください。



タッチストリップの詳細はセクション [↑7.6, タッチストリップ](#) を参照してください。



MIDI モードの詳細はコントローラーエディターマニュアルを参照してください。

## 2.6 オーディオと MIDI の設定

KOMPLETE KONTROL をスタンドアローンで起動している場合、[Audio and MIDI Settings](#) (オーディオと MIDI の設定) パネルで KOMPLETE KONTROL と使用するオーディオ機器と MIDI ハードウェア機器間のオーディオルーティングを設定することができます。

- ▶ オーディオと MIDI の設定パネルを開くには、アプリケーションメニューバー（または COMPLETE KONTROL メニューの *Edit* サブメニュー）の *Edit* メニューで *Audio and MIDI Settings...* エントリーを選択します。

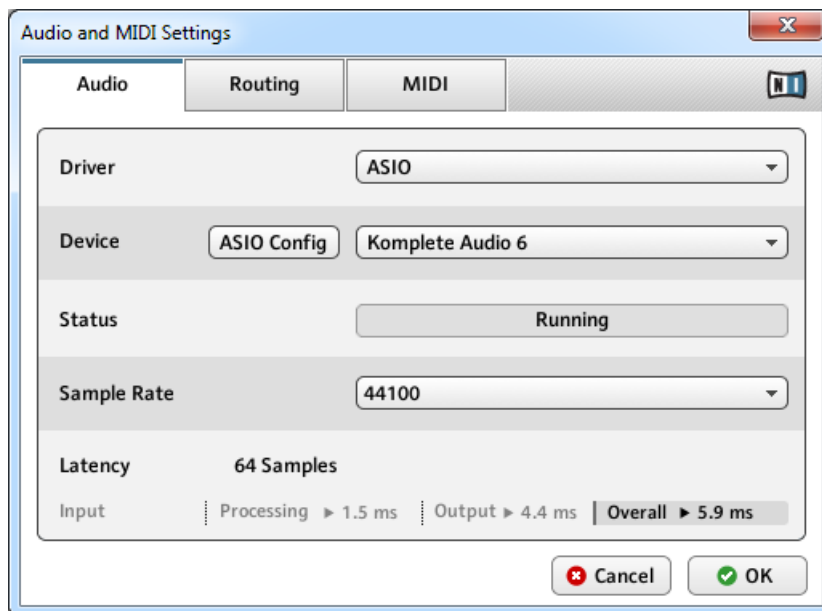


KOMLETE KONTROL をホストアプリケーションでプラグインとして起動している場合は、オーディオと MIDI の設定はホスト上で行うので、[Audio and MIDI Settings](#) パネルは無効の状態となります。ホスト上で KOMLETE KONTROL を使用方法詳細は [↑2.3, スタンドアローンとプラグインモード](#) を参照してください。

[Audio and MIDI セッティング](#) パネルには 3 つのページ [Audio](#)、[Routing](#)、[MIDI](#) があります。各ページは上部のタブをクリックすることで表示します。

## 2.6.1 オーディオと MIDI の設定 – Audio ページ

[Audio](#) ページにはオーディオインターフェイスに関連する設定項目があります。

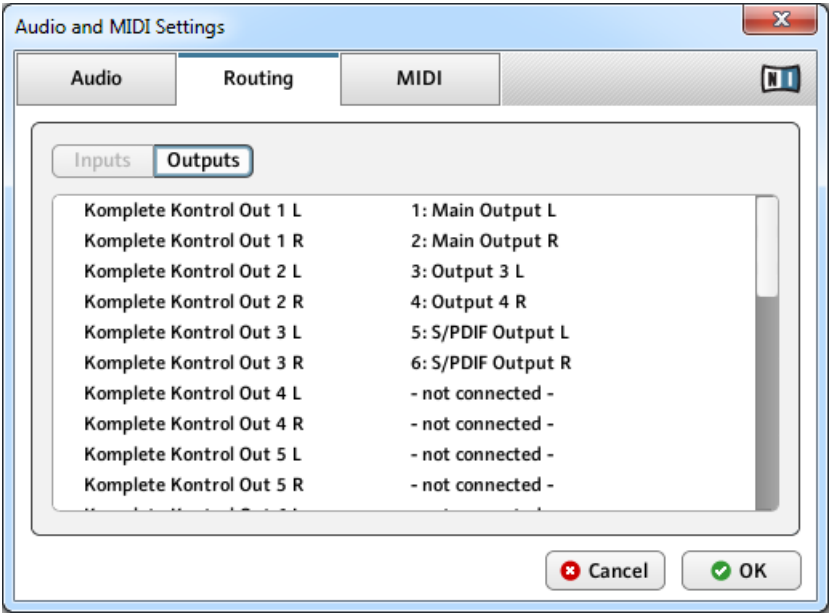


Audio and MIDI Settings パネルの [Audio](#) ページです。

セッティング	内容
Driver	ここで使用しているオーディオドライバを選択します。
Device	複数のオーディオインターフェイスを接続している場合は、ここで使用する機器を指定します。
Status	ここでオーディオインターフェイスが正常に機能しているか確認します。
サンプルレート	ここで使用しているオーディオインターフェイスのサンプルレートを表示します。。サンプリングレートを変更した後は KOMPLETE KONTROL を再起動してください。
Latency	<p><b>Mac OS X:</b> このスライダーでオーディオインターフェイスのレイテンシーをサンプル単位で調節します。低い値で反応速度は高くなりますが、CPU とオーディオドライバへの負担が高くなる為、オーディオにクリックが生じる場合があります。大きな値で CPU への負担は軽減しますが、レイテンシーは大きくなります (例、パッドを叩いても音声が発音するまでに遅れが生じます)。各設定値を試して CPU に負担がかからずノイズが生じない程度の設定を行う必要があります。</p> <p><b>Windows:</b> ASIO ドライバを使用している場合は、<a href="#">Audio and MIDI Settings</a> パネルは <a href="#">Latency</a> スライダの代わりに <a href="#">ASIO Config</a> ボタンを表示します。このボタンをクリックして選択した ASIO ウィンドウの設定ダイアログを表示します。</p>

### 2.6.2      オーディオと MIDI の設定 – Routing ページ

[Routing](#) ページで KOMPLETE KONTROL のバーチャルインプット/アウトプットと、オーディオインターフェイスの物理アウトプットの接続を設定します。

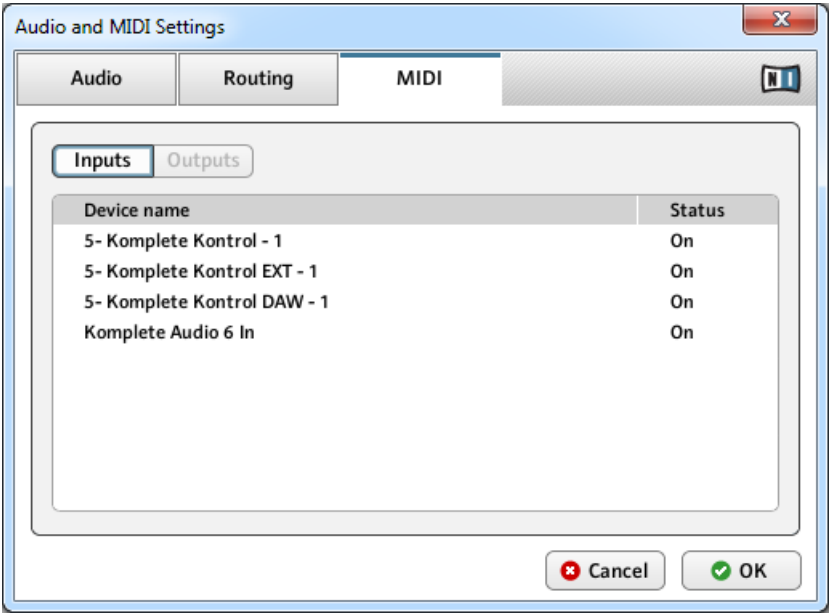


Audio and MIDI Settings パネル (コンピュータによってエントリ内容が異なります) の Routing ページです。

要因	内容
Outputs	Outoputs では KOMplete KONTROL の 16 個のステレオアウトプットをリスト表示します。右の欄で、オーディオインターフェイスのアウトプットにアサインします。右の欄のフィールドをクリックしてドロップダウンメニューで任意のアウトプットを選択します。

### 2.6.3      オーディオと MIDI の設定 – MIDI ページ

MIDI ページで KOMplete KONTROL で使用する MIDI インポートポートを設定します。



Audio and MIDI Settings パネル (コンピュータによってエントリ内容が異なります) の MIDI ページです。

要因	内容
Inputs	Inputs をクリックすると、システムで有効な全ての MIDI インプットを表示します。対応するポートの現在の状態を表示する Status のフィールドをクリックすることで各インプットを有効/無効にします。

## 2.7 外部 MIDI 機器と COMPLETE KONTROL S-SERIES を接続する

使用している MIDI セットアップに COMPLETE KONTROL S-SERIES を組み込むこともできます。



KOMPLETE KONTROL S-SERIES のリアパネルの MIDI 端子です。

以下は外部 MIDI 機器を接続方法です。

1. KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードのリアパネルにある **MIDI IN** または **MIDI OUT** 端子に接続します。
2. KOMPLETE KONTROL をスタンドアローンアプリケーションとして使用している場合は、[Audio and MIDI Settings](#) パネル (↑ 2.6.2, [オーディオと MIDI の設定 - Routing ページ](#)) の **MIDI** ページで KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの対応する MIDI インプット、またはアウトプットを有効にしてください。
3. KOMPLETE KONTROL をホストアプリケーションでプラグインとして起動している場合は、MIDI の設定はホスト上で行います (↑ 2.3, [スタンドアローンとプラグインモード](#)、↑ 2.3.3, [ホストアプリケーションの設定](#) 参照)。MIDI の設定に関してはホストの資料を参照してください。



KOMPLETE KONTROL S-SERIES のリアパネルの 5 ピン MIDI ポートは起動しているコンピューターに USB を介してキーボードを接続した場合のみ機能します。

## 2.8 MIDI 入出力

KOMPLETE KONTROL は多くの状況で活用できる MIDI リモートコントロールとホストオートメーション機能を用意しています。

### 2.8.1 入力 MIDI とホストオートメーション

KOMPLETE KONTROL とロードする KOMPLETE インストゥルメントは MIDI とホスト (KOMPLETE KONTROL をプラグインとして起動している場合) を介して操作できます。

- **MIDI ノートによる KOMPLETE インストゥルメントの発音:** デフォルトで受信 MIDI ノートはロードした KOMPLETE インストゥルメントを発音、Light Guide の対応する鍵盤上部の LED を点灯します。MIDI 設定詳細は ↑ 2.6.2, [オーディオと MIDI の設定 - Routing ページ](#) を参照してください。



- **ホストオートメーションを介したパラメーターのコントロール**: ホストオートメーションで KOMPLETE KONTROL と KOMPLETE インストゥルメントのパラメーターをコントロールすることができます (KOMPLETE KONTROL をプラグインとして起動している場合)。詳細は [セクション ↑ 2.10, MIDI とホストオートメーションによるパラメーターのコントロール](#) を参照してください。

## MIDI クロックの受信

ホストアプリケーションでプラグインとして KOMPLETE KONTROL をロードした場合、テンポは自動的にホストのテンポと同期します。The tempo display in KOMPLETE KONTROL ヘッダのテンポ表示部は灰色表示となり、テンポはホストテンポと同期していることを示します。

## 2.8.2 MIDI 出力とホストコントロール

KOMPLETE KONTROL S-SERIES から MIDI データを送信することもできます。

- **MIDI ノートの録音**: ホスト環境でプラグインとして KOMPLETE KONTROL を起動している場合、KOMPLETE KONTROL S-SERIES の鍵盤で演奏した内容を MIDI パターンとしてホストアプリケーションに録音することができます。
- **ホストアプリケーションのコントロール**: KOMPLETE KONTROL S-SERIES の **TRANSPORT** と **NAVIGATE** セクションを使用してホストアプリケーションをコントロールすることも可能です。詳細は [セクション ↑ 7.3, ホストコントロールとトランスポートセクション](#) を参照してください。

## 2.8.3 MIDI モード

KOMPLETE KONTROL のコントロールの他、KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードを MIDI モードで使用し、MIDI CC ([↑ 7.2, MIDI モード](#)、[Error! Reference source not found.参照](#)) を用いてパラメーターをアサイン、コントロールすることが可能です。



MIDI によるアサインのコントロール詳細を確認するには、ハードディスク内のコントローラーエディターインストールフォルダ内のサブフォルダ、Documentation にある Controller Editor Manual (PDF) を参照してください。

## 2.9 Native Map

MIDI を介してパラメーターの MIDI メッセージをコントロール、オートメーション処理する場合、KOMPLETE KONTROL のパラメーターを MIDI メッセージにアサインする必要はありません。かわりに KOMPLETE KONTROL には Native Map と呼ばれる独自のプロパティーマッピングシステムを装備して

おり、このシステムが鍵盤をオン、KOMplete KONTROL 内で KOMplete インストゥルメントをロード、KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードのノブ、ディスプレイ、ボタン、タッチストリップを介して各パラメーターにアクセスします。

### 2.9.1 Native Map による自動アサインコントロール

ブラウザから KOMplete インストゥルメントをロードすると、直ちにインストゥルメントのパラメーターが KOMplete KONTROL S-SERIES キーボード中央部の 8 個のノブと、その左側の 2 つのタッチストリップに自動的にマッピングされます。これにより、ソフトウェアとハードウェアをコントロールするための複雑な設定を行う必要がなくなります。

マッピングされた各ノブの機能内容はディスプレイに表示されます。ロードした KOMplete インストゥルメントの全パラメーターは 8 つの各ノブに対して自動マッピングされ、2 つの矢印型ページボタンでパラメーター間を移動します。マッピングを移動するとディスプレイが切り替わり、現在のマッピング内容を示します。詳細はセクション [↑ 7.5, コントロールセクション](#) を参照してください。

## 2.10 MIDI とホストオートメーションによるパラメーターのコントロール

ホストアプリケーション内で KOMplete KONTROL をプラグインとして起動すると、ロードした KOMplete インストゥルメントのパラメーターが KOMplete KONTROL S-SERIES のノブとディスプレイにマッピングされ、ホストでのオートメーション録音に対応するようになります。

### オートメーション可能な KOMplete KONTROL パラメーターについて

オートメーション可能なパラメーターは Perform Panel、またはロードした KOMplete インストゥルメントに表示されます。ブラウザにあるコントロール部が MIDI を送信することはないので、ホストアプリケーションに表示されることはありません。これは KOMplete KONTROL S-SERIES のノブとディスプレイに Native Map または MIDI CC を介してアサインされたパラメーターのみをオートメーションすることが可能であることを意味します。



MIDI によるアサインのコントロール詳細を確認するには、ハードディスク内のソフトウェアインストールフォルダ内の Controller Editor の資料を参照してください。

KOMplete KONTROL S-SERIES を用いてホストアプリケーションをコントロールすることも可能です。詳細はセクション [↑ 7.3, ホストコントロールとトランスポートセクション](#) を参照してください。

## 2.10.1 オートメーションの録音

多くの DAW ではオートメーション録音を行うために録音用トランスポートを起動する必要があります (↑ 7.3.1, [トランスポートコントロール](#)) ます。



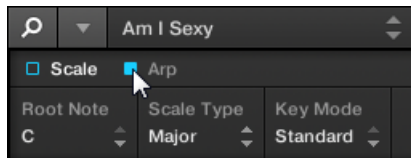
DAW によるオートメーション録音の詳細は使用しているホストソフトウェアの資料を参照してください。

KOMplete KONTROL を使用してホストでオートメーション録音を行う場合は、以下の段階を踏まえてください。

### オン/オフスイッチ

オンオフスイッチの状態を変更するには

- ▶ コンピューターのマウスで該当ボタンをクリックしてください。



または

- ▶ 対応しているパラメーターがある KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードのノブを回してください。

### ドロップダウンメニュー

ドロップダウンメニューで他のエントリーを選択するには

- ▶ コンピューターのマウスで該当するメニューをクリックし、エントリーを選択してください。



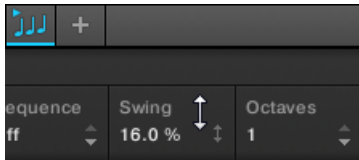
または

- ▶ 対応しているパラメーターがある KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードのノブを回してください。

## ドラッグコントロール

ドラッグコントロールの値を変更するには、

- ▶ 該当するドラッグコントロールをコンピューターのマウスでクリックしてからドラッグしてください。



または

- ▶ 対応しているパラメーターがある KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードのノブを回してください。

## 2.10.2 オートメーション ID

DAW によってはプラグインの特定のパラメーターにマッピングされたオートメーション ID を用いてオートメーションを扱う場合もあります。KOMplete KONTROL にはあらかじめ設定が施されたオートメーション ID のリストを備えており、ホストアプリケーションはこれらを自動的に検知します。



DAW によるオートメーション録音の詳細は使用しているホストソフトウェアの資料を参照してください。

## Perform Panel 用オートメーション ID

以下のオートメーション ID は KOMplete KONTROL のパフォーマンスパラメーター用のものです。

Automation ID	パラメーター
000	インスタンス認識と自動フォーカスフォロー用のものです。
001	Scale On / Off
002	Scale Root Note
003	Scale Type
004	Scale Key Mode
006	Chord Mode

Automation ID	パラメーター
007	Chord Type
008	Chord Position
009	Chord Voicing
026	Arp On / Off
027	Arp Mode
028	Arp Type
029	Arp Rate
030	Arp Sequence
031	Arp Swing
032	Arp Octaves
033	Arp Dynamic
034	Arp Gate



自身でオートメーション ID を設定する際、NIKB00 ID を上書きしないように注意してください。この ID はホストが COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードを認識する際に必要なものです。

## KOMPLETE インストゥルメント用オートメーション ID

オートメーション ID **101-1194** は KOMPLETE インストゥルメントのオートメーションパラメーター用です。これにより、以前 KONTAKT または REAKTOR で設定された ID の再マッピングが施されます。

- すなわち、KONTAKT または REAKTOR オートメーション ID **000** は KOMPLETE KONTROL オートメーション ID **100** に再マッピングされます。
- すなわち、KONTAKT または REAKTOR オートメーション ID **100** は KOMPLETE KONTROL オートメーション ID **200** に再マッピングされます。

## 2.11 KOMPLETE KONTROL S-SERIES とペダルを使用する

KOMPLETE KONTROL S-SERIES のリアパネルにはペダル用 1/4" 端子 **SUSTAIN** と **EXPRESSION** が装備してあります。



キーボードのリアパネルのペダルインプットです。

これらの端子を用いることで、演奏に表現力を与えるサステインペダルとエクスプレッションペダルを接続できます。

- **SUSTAIN**: ステレオフットスイッチを接続することで演奏ノートのサステインを調整できます。これはオンオフスイッチです。
- **EXPRESSION**: エクスプレッションペダルを接続することでベロシティーを調節できるようになります。これは連続値コントロールペダルとなります。

MIDI を介してペダルをアサインするにはコントローラーエディターのマニュアルを参照してください。

## 3 クイックスタート

Setup Guide の各ステップを進めば、インストールが完了し、KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードをコンピューターと電源に接続、DAW と KOMplete KONTROL での各環境設定の設定が済んでいる事になり、KOMplete KONTROL による演奏が可能な状態となっているはずです。このセクションでは、基本的なワークフローを紹介しながら各使用例を挙げていきます。



このセクションでは KOMplete KONTROL と KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードの連動に関する詳細と使用例について触れていきます。KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードを使用しない場合は、[↑4, KOMplete KONTROL ソフトウェア概要](#)に進んでください。

### KOMplete KONTROL S-SERIES と MIDI モード

KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードのスイッチを入れると、KOMplete KONTROL モードであれば、画面に **PRESS BROWSE**、また MIDI モードであれば各 MIDI CC ナンバーが表示されます。

- コンピューターでまず **KOMplete KONTROL ソフトウェア**を起動し、KOMplete KONTROL S-SERIES のスイッチを入れると、キーボードは **KOMplete KONTROL モード**で起動します。KOMplete KONTROL モードに関しては [↑3.1, 最初のステップ](#) を参照してください。MIDI モードを起動したい場合は、キーボードの **INSTANCE** ボタンを押し、画面で **MIDI MODE** を選択します。
- **KOMplete KONTROL ソフトウェア**を起動していない状態で、KOMplete KONTROL S-SERIES のスイッチを入れると、キーボードは **MIDI モード**で起動します。KOMplete KONTROL モードに切り替えるには、コンピューターでソフトウェアを起動します。モードの切り替え詳細は [↑2.4, MIDI モード](#) を参照してください。
- KOMplete KONTROL S-SERIES を **MIDI コントローラー**として使用し、**KOMplete KONTROL ソフトウェア**を使用することなく DAW をコントロールする場合は、キーボードは **MIDI モード**となります。MIDI モードの詳細は [Error! Reference source not found.](#)を確認してください。

### 3.1 最初のステップ

KOMplete KONTROL ソフトウェアと KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードを起動したら、まずブラウザに目を向けてみましょう。KOMplete KONTROL のブラウザ詳細は [↑5, KOMplete KONTROL ソフトウェアブラウザ](#)を参照してください。

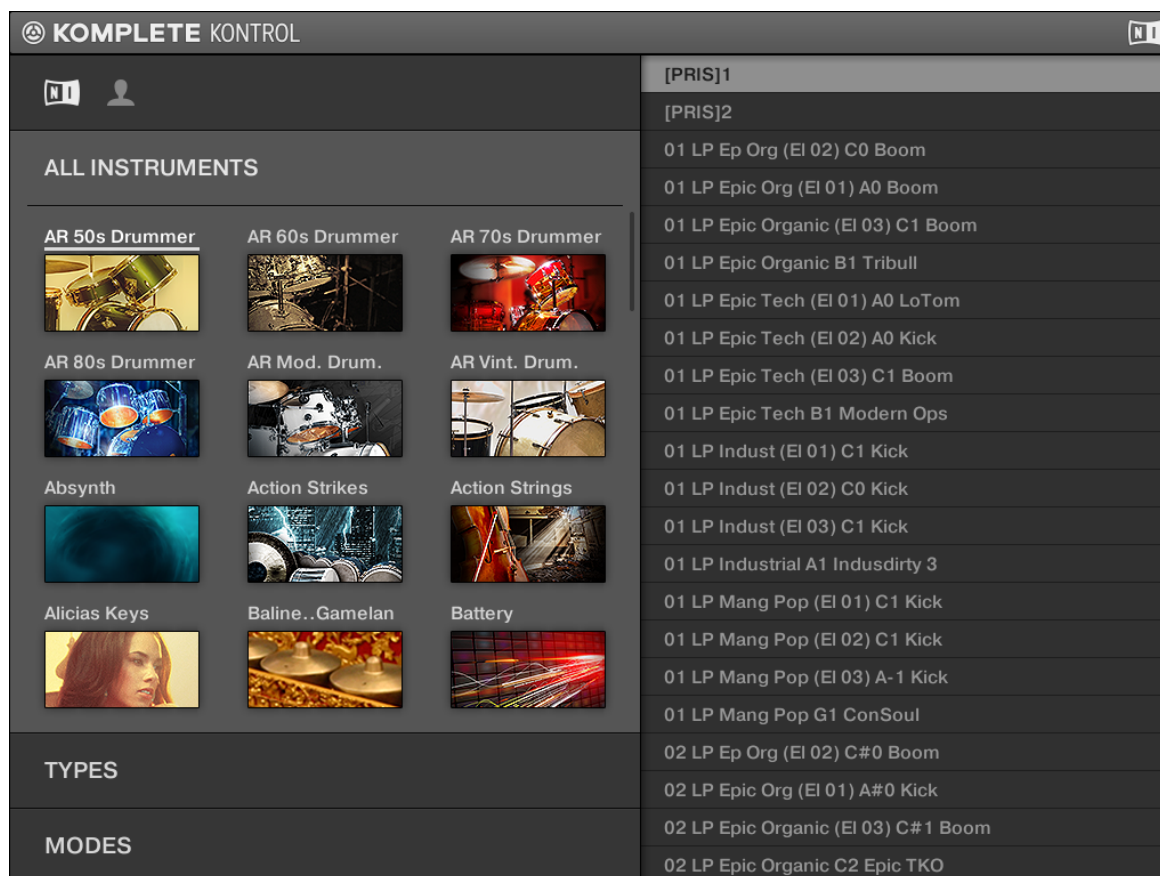


このセクションではスタンドアローンモード、またはホストアプリケーション内でプラグインとして KOMplete KONTROL を起動している前提で解説を進めます。



### 3.1.1 ブラウザを開く

- ▶ ブラウザを開いて KOMPLETE ライブラリにアクセスするには KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの **BROWSE** ボタンを押します。画面の右には **NAVIGATE** セクションがあります。



ディスプレイでブラウザを表示しています。



KOMplete ライブラリの内容によってブラウザの見た目は異なります。

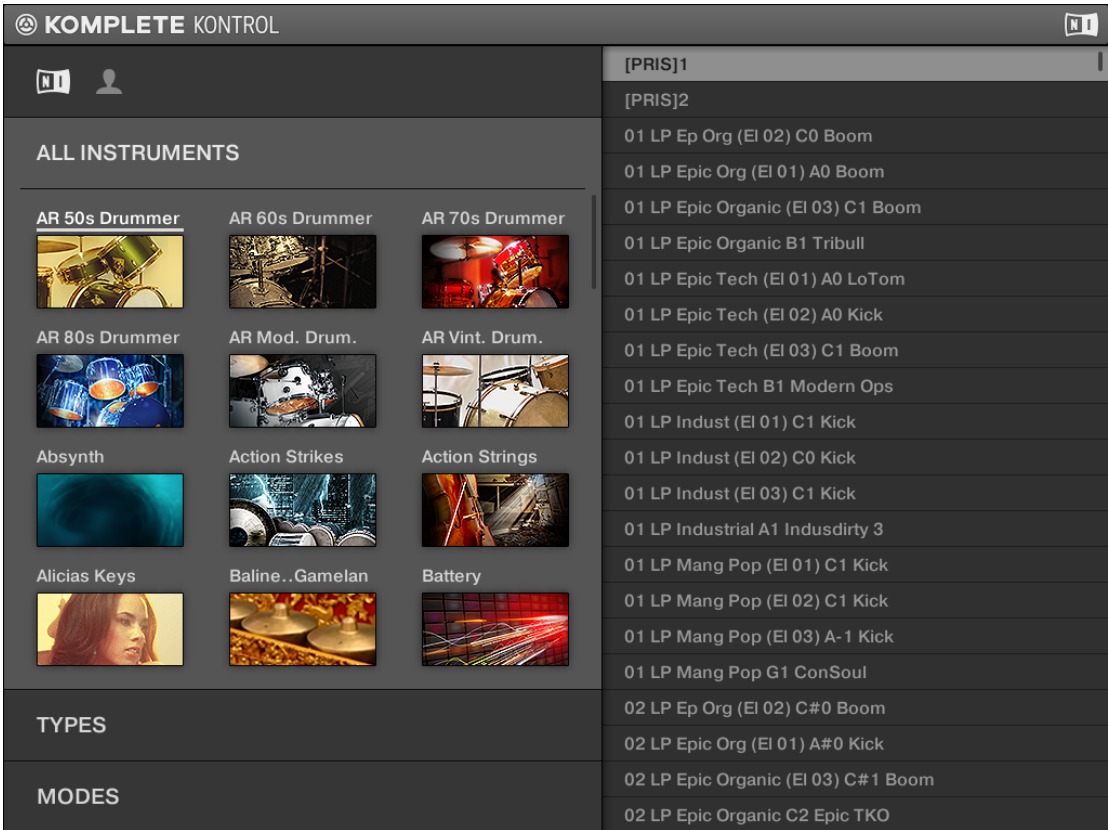
インストール時に正しくプラグインフォルダを設定していれば、KOMplete ライブラリの全インストールメントがコンピューター画面に表示されます。KOMplete インストールメントが表示されない場合は [↑ 2.5.1, Preferences – Library ページ](#)を参照してください。

### 3.1.2 インストールメントプリセットの検索とロード

KOMplete KONTROL ライブラリ全体を検索するには時間がかかります。特にライブ環境下ではこの方法は大変不便です。ですから、ブラウザでは **TYPES** と **MODES** フィルター機能を使った素早い検索を可能にしています。このチュートリアルでは以下の内容を解説します。

- キーボードでブラウザを**ナビゲート**する
- **TYPES** と **MODES** フィルターを使ってライブラリ内の**絞り込み検索**を行う
- 検索結果からインストールメントプリセットを**選択**、**ロード**する

1. ブラウザを開くには、**BROWSE** ボタンを押します。

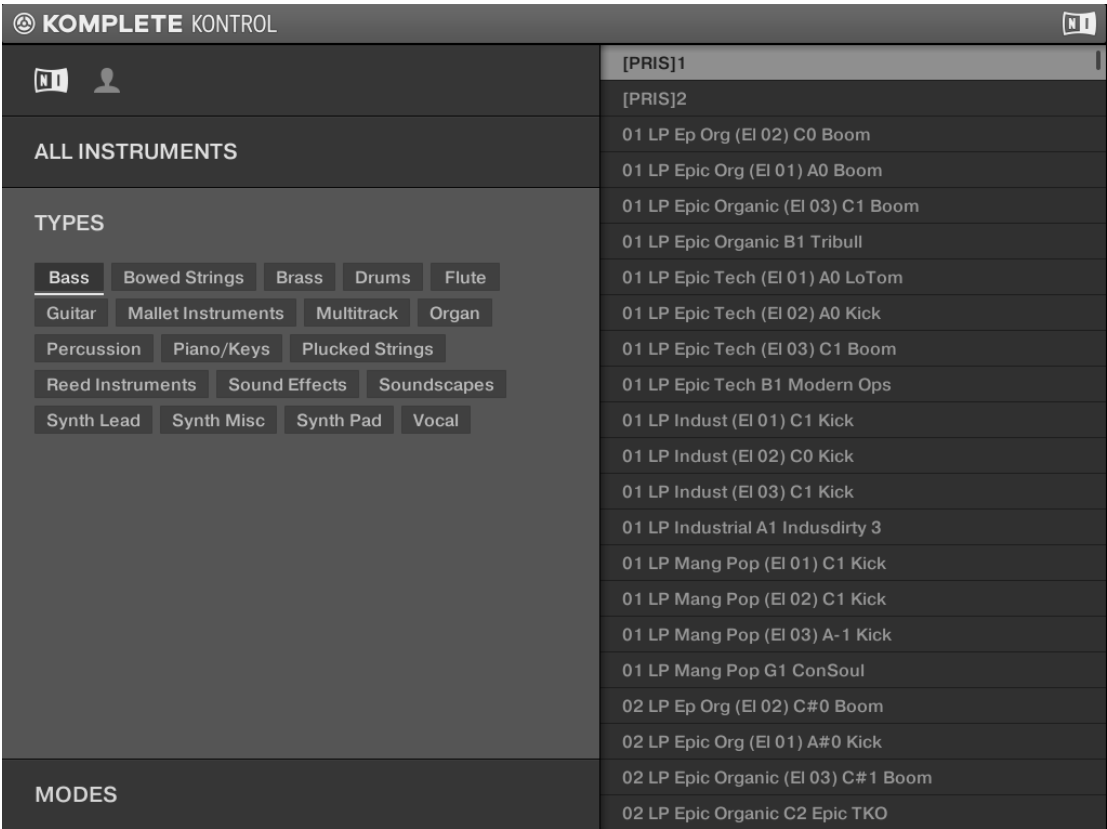


デフォルトではファクトリーコンテンツが選択されます。ユーザーコンテンツの詳細は[セクション 5.2.2, ファクトリー、ユーザーコンテンツの選択](#)を参照してください。

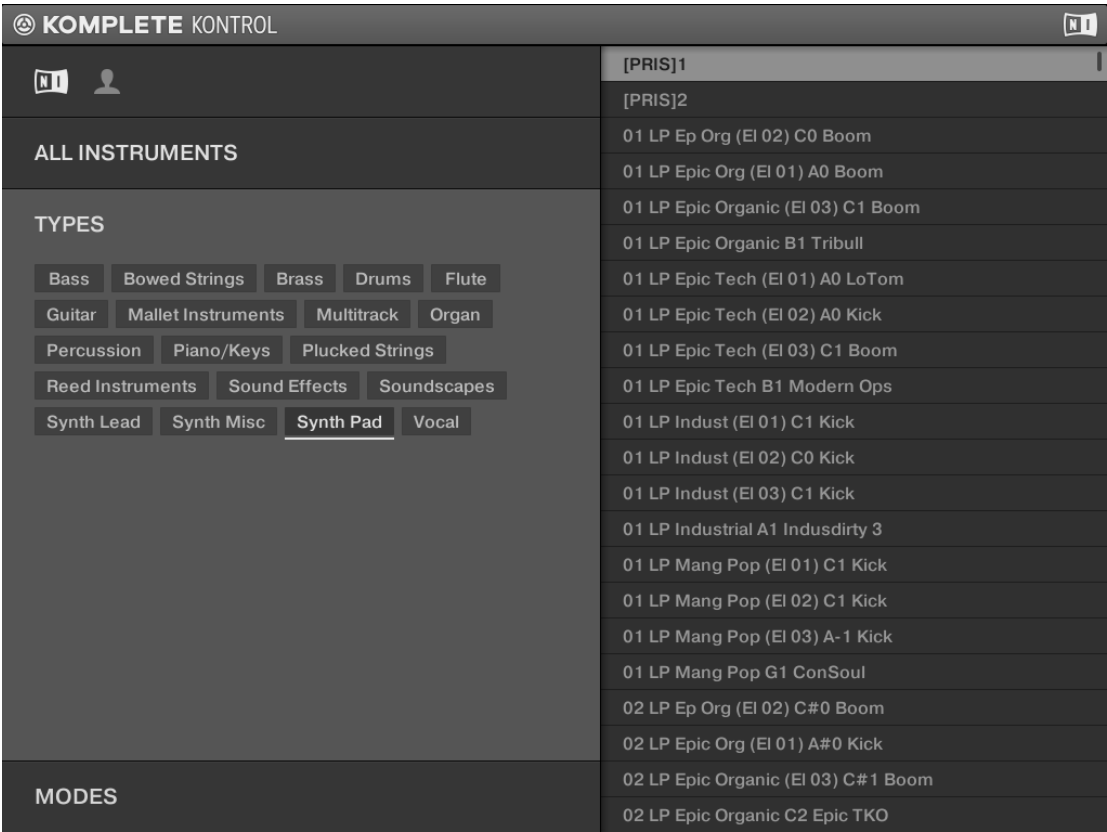


ロードしたいインストゥルメントを把握している場合は、コントロールエンコーダーを使用して製品アイコンをスクロールしてください。

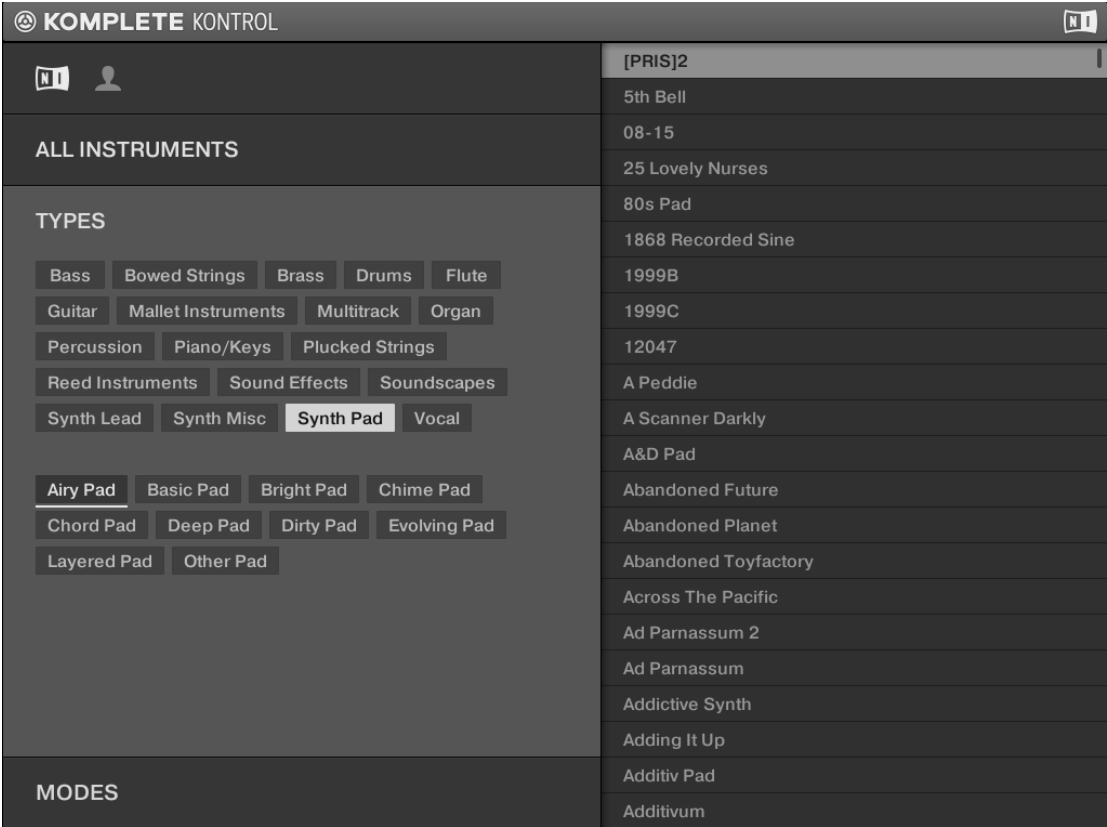
2. TYPES フィルターにフォーカスするには、下向き **NAVIGATE** ボタンを押します。



3.    コントロールエンコーダーを回し、使用したいタイプまでスクロールします。

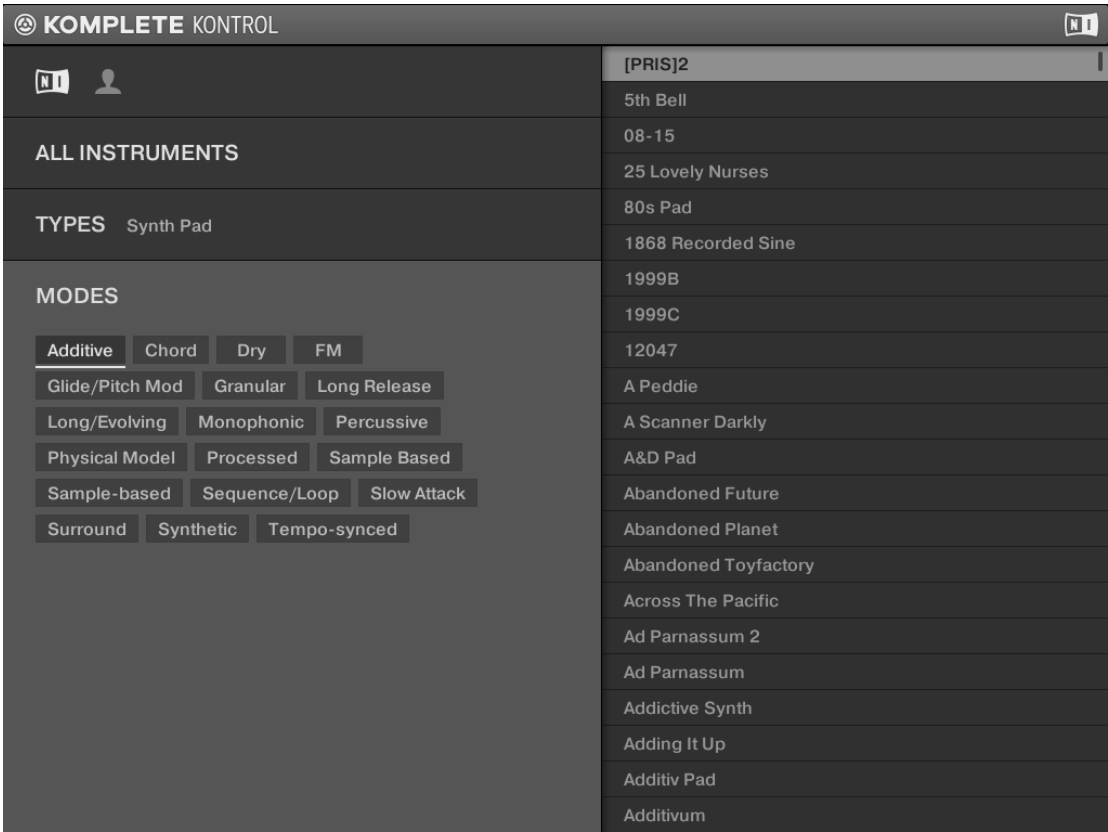


4. タイプを選択するには、コントロールエンコーダーを押す、または **ENTER** ボタンを押します。

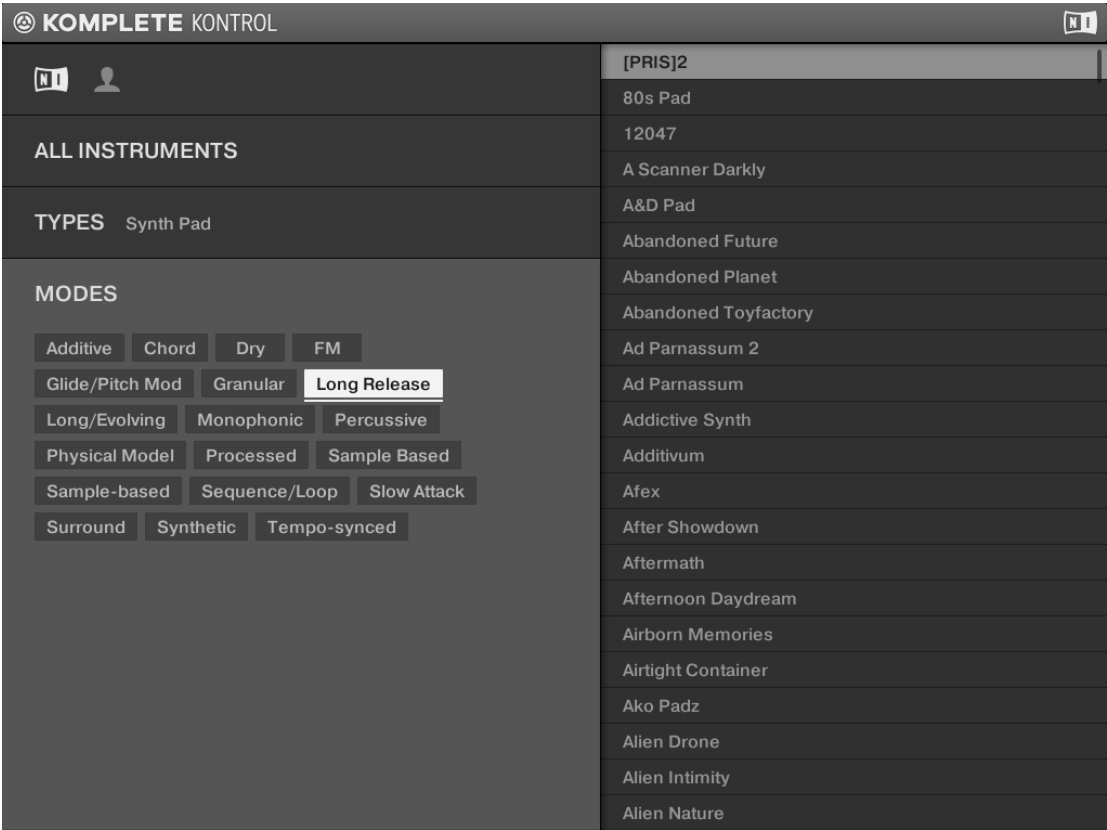


右の検索結果が絞り込まれ、タイプの下にサブタイプが表示されます。サブタイプを選択することで更に検索結果を絞り込みます。

5. **MODES** フィルターにフォーカスするには、下向き **NAVIGATE** ボタンを押します。



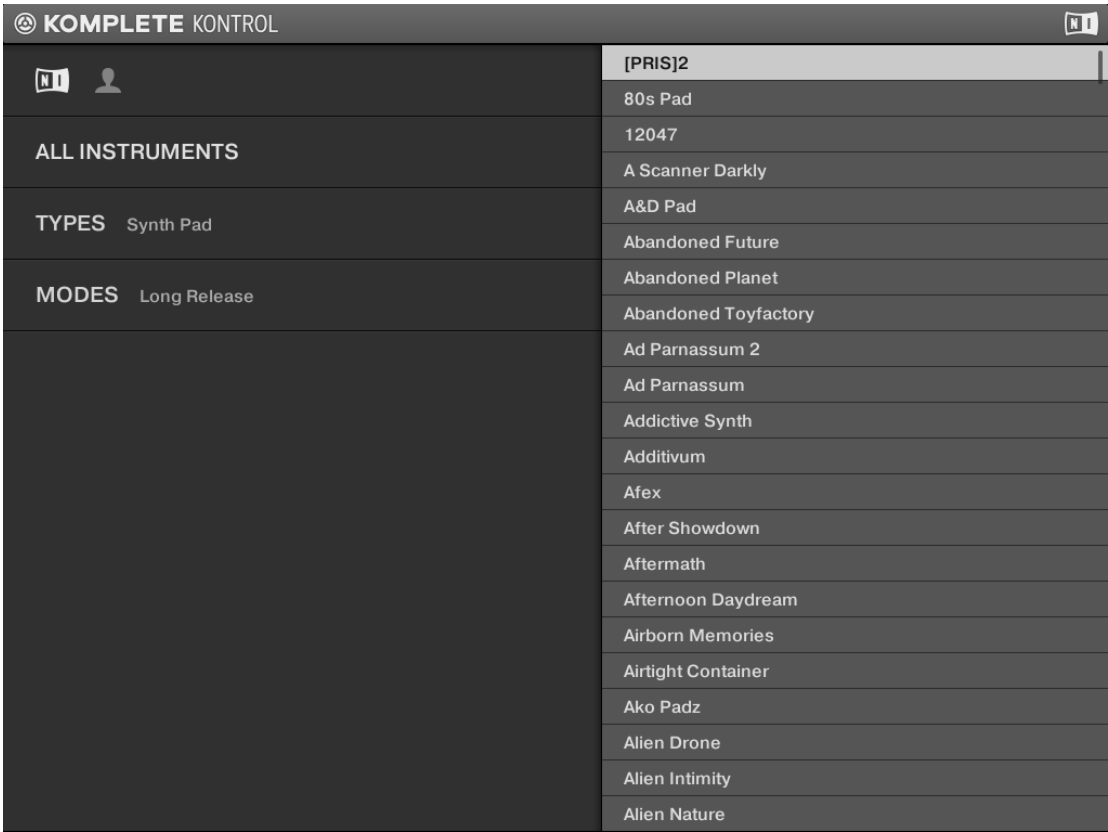
6. コントロールエンコーダーを回し、使用したいモードまでスクロールし、エンコーダーを押すことでモードを選択します。



右側の検索結果が絞り込まれます。

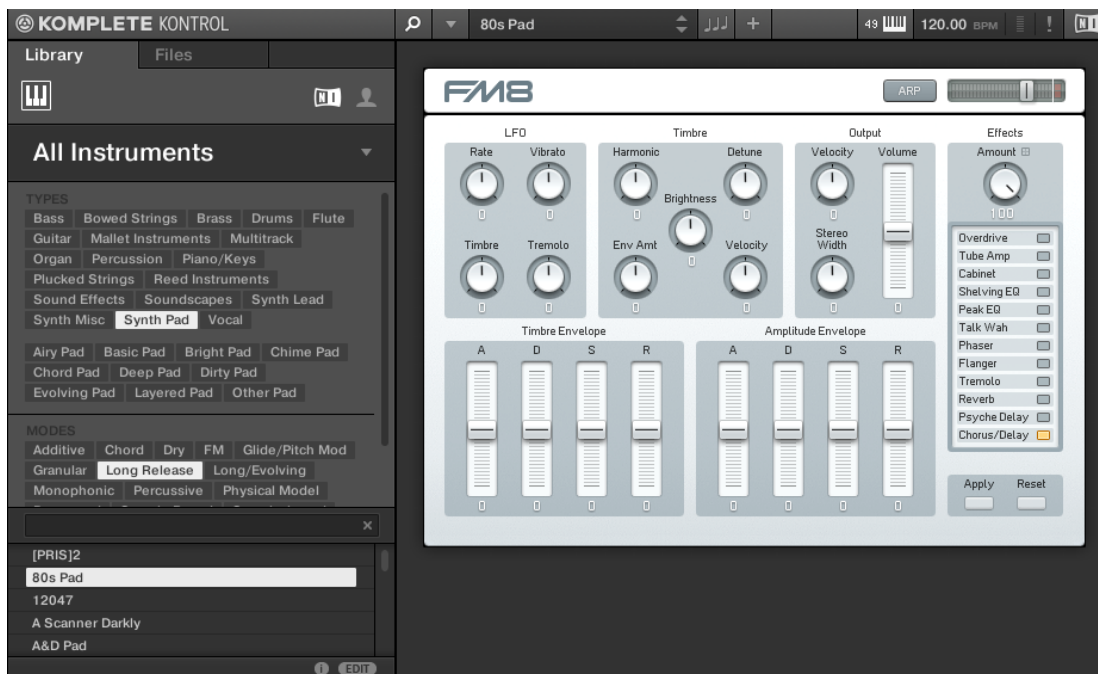


7. 右の検索結果リストにフォーカスする場合は右向き **NAVIGATE** ボタンを押します。



8. コントロールエンコーダーを回し、ロードしたいインストゥルメントプリセットまでスクロールします。

9. インストゥルメントプリセットをロードするには、コントロールエンコーダーを押す、または **ENTER** ボタンを押します。



選択したプリセットがある COMPLETE インストゥルメントが COMPLETE KONTROL ソフトウェアにロードされ、COMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードのノブ、ディスプレイ、タッチストリップにパラメーターが自動マッピングされます。これでインストゥルメントの各パラメーターをダイレクトに操作できるようになります。



自動アサインコントロールに関する詳細は [↑ 2.9, Native Map](#) を参照してください。

- これでロードした COMPLETE インストゥルメントを COMPLETE KONTROL S-SERIES の鍵盤で演奏、またはノブで操作できるようになります。またホストアプリケーションの MIDI ノートによって演奏できるようになります。思う存分演奏を楽しんでください。

## 3.2 COMPLETE インストゥルメントのコントロール

このセクションではキーボードで COMPLETE インストゥルメントをコントロールする方法について解説します。

### 3.2.1 インストゥルメントパラメーターの操作

KOMPLETE インストゥルメントをロードしたら、MIDI ラーンによるマッピング設定をすることなく KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードを用いて各パラメーターをコントロールすることができます。キーボードの 8 個のノブと対応するディスプレイは、自動的にインストゥルメントの 8 個の主要パラメーターと連動するようになります。キーボードのノブを回すと、マッピングされたパラメーターが反応し、KOMPLETE KONTROL ソフトウェアでもその動きが確認できます。

- ▶ インストゥルメントのパラメーターを調節するには、KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの対応するノブを回してください。マッピングされた各ノブのパラメーター名はディスプレイに表示されます。



KOMPLETE KONTROL S-SERIES の画面がマッピングされ、MONARK のコントロール (プリセット At The Parade (ATTHPRD) を選択しています) を表示している状態です。

### 3.2.2 8 以上のパラメーター: パラメーターページの切り替え

KOMPLETE インストゥルメントの多くが、8 個以上のパラメーターを装備しています。KOMPLETE KONTROL ではこれらの多くのパラメーターを **PAGE** ボタン (左右矢印ボタンです) を使用することで行き来することができます。これでページ間を素早く移動し、ノブのマッピングも移動にあわせて変化、異なるインストゥルメントパラメーターのセットを表示します。現在のパラメーターページ数は左の **PAGE** ディスプレイ部に常に表示されます。表示される値はロードしたインストゥルメントと設定値によって表示内容が異なります。



左の PAGE ディスプレイは現在のページを示します (1/8)。

- ▶ 他のパラメーターページに移動し、新しいコントロールパラメーターページを表示するには左右 **PAGE** 矢印ボタンのどちらかを押します。PAGE ディスプレイは移動したパラメーターページを表示し、8 個のノブの対応するディスプレイも新しいマッピング内容を表示します。



ソフトウェア内で全インストールパラメーターを確認するには、*Additional View* と *Edit View* を使用します (↑2.2.3, *Instrument Views* の選択参照)。

## 3.3 パフォーマンス機能の使用: Scale、Arp、Light Guide

画面上からブラウザを表示する方法を把握し、インストールのロード方法についても理解したので、COMPLETE KONTROL 独自の **SCALE**、**ARP**、Light Guide について解説します。

### PERFORM セクションとパフォーマンスパネル

KOMLETE インストゥルメントのブラウザとしての機能だけではなく、COMPLETE KONTROL には強力な **PERFORM** セクションが備わっています。この機能でスケール、コード、シーケンスの選択、演奏が可能で、更に COMPLETE KONTROL S-SERIES の Light Guide 機能で、LED により演奏内容を視覚的に把握することが可能となります。パフォーマンスパネルと各パラメーターの詳細は ↑6, **KOMLETE KONTROL ソフトウェアパフォーマンスパネル**と ↑8, **KOMLETE KONTROL S-SERIES のパフォーマンス機能** を参照してください。チュートリアルでは以下の内容について触れます。

- **scale** と **arp** パラメーターの編集
- **keys** を **scale** にマッピング、演奏
- **Light Guide** の表示内容の把握
- ハーモナイズコードの自動演奏
- アルペジオコードシーケンスの自動演奏

#### 3.3.1 スケールの設定

キーボードのノブとディスプレイを介してスケールパラメーターを開き、編集する方法は以下となります。

1. スケールパラメーターをノブとディスプレイにマッピングするには、**SHIFT + SCALE** を押します。



左の **PAGE** ディスプレイが **SCALE** と表示され、スケール用パラメーターが表示されます。

2. スケールを選択するには、ノブ 2 (デフォルトは **MAJOR** です) を回して任意のスケールに設定します。
3. 選択したスケールを起動するには、**SCALE** ボタンを押します。

KOMPLETE KONTROL S-SERIES の鍵盤が選択したスケールに対応してマッピングされます。マッピング内容は Light Guide でも反映されます。

→ 点灯していないキーを押した場合でも、スケールにあった一番近い鍵盤が点灯していないキーに変わって対応します。

- ▶ インストゥルメントパラメーターをノブとディスプレイに表示するには、もう一度 **SHIFT + SCALE** を押します。**NAVIGATE** セクションの **BACK** ボタンを押しても良いでしょう。スケールエンジン自体は起動したままとなります。



**CHROM** を選択すると、全権版が点灯します。クロマチックスケールの詳細は [↑ 6.4.2, Scale Type](#) を参照してください。



Light Guide が **SCALE** パラメーターの内容と合わない場合は、**SCALE** が起動しているか確認してください。

### 3.3.2 コードの演奏

同時にいくつかの鍵盤を押さえる（またはホストアプリケーションから複数の MIDI ノートを同時に送信する）事でコードを演奏することは当然できますが、KOMPLETE KONTROL では **PERFORM** セクションを用いた独自のコード演奏機能があります。



複数のノートコードとして演奏するには、KOMPLETE インストゥルメントがポリフォニックのものである必要があります。

コードとして複数のノートを同時に発音する方法は以下となります。

1. まず **SHIFT + SCALE** を押して **PAGE** ディスプレイを **SCALE** と表示させ、ノブとディスプレイに対してスケール用パラメーターマッピングを行います。

2. **Chord Mode** を起動するには、ノブ 5 を回して CHORD を HARM にします (デフォルトは OFF です)。



ノブ 6 の下に **Chord Type** パラメーターが表示されます (デフォルトは 1-3-5 です)。

3. コード機能を用いて演奏するには、**SCALE** ボタンが点灯しているか確認します。
- **Chord Mode** が起動し、*Harmonizer* に設定されます。キーを押すことで自動的に (スケール設定による) 点灯しているキーの音程を発音します。同時に **3 度**、**5 度** のノートも選択したスケール基準にあわせて発音します。ノブ 6 の設定によって何度のノートを発音するかが変化します (1-3-5、では 1 度、3 度、5 度のノートを発音します)。再生中のノートは Light Guide でも表示されます。



**Chord Mode** と **Chord Type** の詳細は ↑ 6.4.3, **Key Mode** と ↑ 6.4.5, **Chord Type** を参照してください。

- ▶ インストゥルメントパラメーターをノブとディスプレイに表示するには、もう一度 **SHIFT** + **SCALE** を押します。**NAVIGATE** セクションの **BACK** ボタンを押しても良いでしょう。スケールエンジン自体は起動したままとなります。



Light Guide が **SCALE** パラメーターの内容と合わない場合は、**SCALE** が起動しているか確認してください。

### 3.3.3 アルペジオコードの演奏

上のチュートリアルではスケールの選択とスケールによるコードの演奏方法について解説しました。コードをアルペジオ演奏する方法は以下となります。

1. アルペジオを起動するには **ARP** ボタンを押して点灯させてください。
- 鍵盤を押す(または MIDI ノートを受信する) とアルペジエーターが起動し、**SCALE** 設定によるコードをアルペジオ演奏します。

**ARP** パラメーターを編集して演奏内容に変化をつけることも可能です。

1. アルペジオパラ미터をノブとディスプレイにマッピングするには、**SHIFT + ARP** を押します。



左の **PAGE** ディスプレイが **ARP** と表示され、アルペジオパラ미터が表示されます。

2. シーケンス内容 **UP-DOWN** を変更するには、ノブ 2 を回します (デフォルトは **UP** です)。
3. アルペジオ演奏範囲を決める **OCTAVES** を変更するには、ノブ 6 (デフォルトは 1 です) を例えば 4 にします。

→ ここまでの設定で、アルペジオコード演奏内容は 4 オクターブの範囲をノートアップ、ダウンで繰り返すシーケンスとなります。

- ▶ インストゥルメントパラ미터をノブとディスプレイに表示するには、もう一度 **SHIFT + ARP** を押します。**NAVIGATE** セクションの **BACK** ボタンを押しても良いでしょう。アルペジオエンジン自体は起動したままとなります。



変化がない場合は、**ARP** ボタンが起動しているか確認してください。



ロードした **KOMPLETE** インストゥルメントの設定内容によって、**ADSR** エンベロープ、またはゲート設定を調整する必要がある場合があります。詳細はロードしているインストゥルメントの資料を参照してください。



アルペジエーターの各パラ미터についてはセクション [↑ 6.4.5, Chord Type](#) を参照してください。

## 3.4 次は?

ここまでの解説で、**KOMPLETE KONTROL** の最も重要な機能について習得しました。躊躇することなく、ここまでのチュートリアルでは記載していないその外のコントロール部を試したり、または他のインストゥルメントをロードし、各設定を試して自身で各内容を確認してください。**KOMPLETE KONTROL** の詳細は、以下のセクションで解説しています。

- **KOMPLETE KONTROL** ソフトウェアの概要は、セクション [↑ 4, KOMPLETE KONTROL ソフトウェア概要](#) を参照してください。

- ソフトウェアの**ブラウザ**と **KOMplete ライブラリ**でのファイルの編集、ファイルの追加に関しては、セクション [↑5](#), **KOMplete KONTROL ソフトウェアブラウザ**を参照してください。
- **パフォーマンス機能**の詳細と、**スケール**、**アルペジエーター**の全パラメーター及び設定内容に関してはセクション [↑6](#), **KOMplete KONTROL ソフトウェアパフォーマンスパネル**と [↑8](#), **KOMplete KONTROL S-SERIES のパフォーマンス機能** を参照してください。
- **KOMplete KONTROL S-SERIES キーボード**の概要は、セクション [↑7](#), **KOMplete KONTROL S-SERIES キーボード**を参照してください。
- **ホストアプリケーションの制御**方法に関しては、セクション [↑7.3](#), **ホストコントロールとトランスポートセクション**を参照してください。
- タッチストリップの使用法に関してはセクション [↑7.6](#), **タッチストリップ**を参照してください。
- Light Guide の**マルチカラー LED** に関しては、セクション [↑7.7](#), **Light Guide (ライトガイド)** を参照してください。
- **MIDI モード**の詳細は [↑7.2](#), **MIDI モード**を確認してください。
- **トラブルシューティングとヘルプ**は、セクション [↑9](#), **トラブルシューティング-ヘルプ**にあります。



## 4 KOMLETE KONTROL ソフトウェア概要

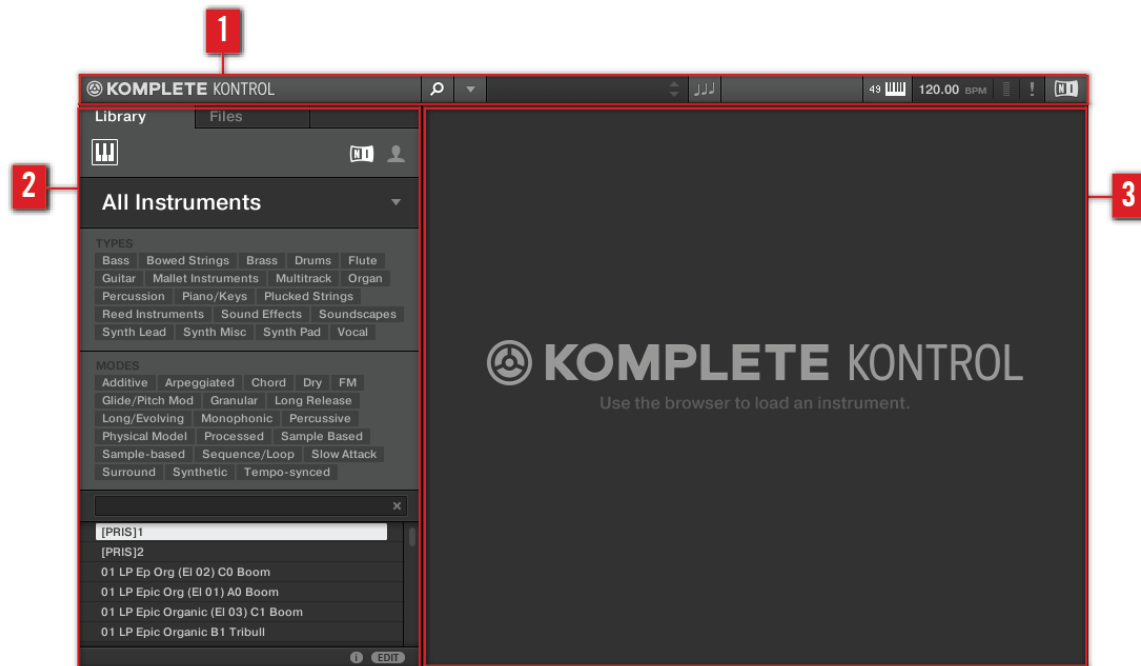
KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードと KOMLETE KONTROL ソフトウェアが完全に連動することで KOMLETE KONTROL がその威力を発揮、操作性も非常に簡単です。ソフトウェア単体の使用も可能です。このセクションではソフトウェアインターフェイスの概要を紹介、セクション [↑ 5, KOMLETE KONTROL ソフトウェアブラウザ](#) と [↑ 6, KOMLETE KONTROL ソフトウェアパフォーマンスパネル](#) で KOMLETE KONTROL ソフトウェアの各機能詳細を解説していきます。



KOMLETE KONTROL ソフトウェアインターフェイスです。

## 4.1 ソフトウェアインターフェイス概観

KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードのコントロール部、または KOMLETE KONTROL ソフトウェア上でのマウス操作によって、殆どの KOMLETE KONTROL のパラメーターにアクセスすることができます。このセクションでは、KOMLETE KONTROL ソフトウェアの各エリアと各コントロール部について紹介します。



KOMLETE KONTROL ソフトウェアの概観です。

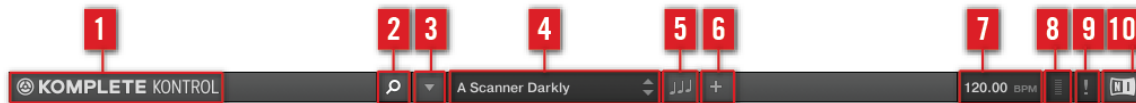
(1) **ヘッダ:** KOMLETE KONTROL メニュー等の基本コントロールにアクセスします。また、最小化しているブラウザ、パフォーマンスパネル等の GUI をここを介して表示します。セクション [↑ 4.2, ヘッダ \(Header\)](#) で詳細を確認してください。

(2) **ブラウザ:** ここで全 KOMLETE インストゥルメントファイルの検索、編集、ロード操作を行います。セクション [↑ 5, KOMLETE KONTROL ソフトウェアブラウザ](#) で詳細を確認してください。

(3) **インストゥルメントエリア**: ロードした KOMPLETE インストゥルメントが表示される部分で、KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードによる操作内容はこの部分にも反映され、視覚的に制御時の値を確認することができます。詳細は、[↑ 2.2.3, Instrument Views の選択](#)と[↑ 4.4, インストゥルメントエリア](#)を参照してください。

## 4.2 ヘッダ (Header)

ヘッダで KOMPLETE KONTROL のグローバル設定を行い、また KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの見た目もここで設定します (セクション [↑ 2.2, KOMPLETE KONTROL ソフトウェアインターフェイスの設定](#)参照)。



ヘッダです。

(1) **KOMPLETE ロゴ**: NI ロゴと KOMPLETE ロゴからアバウトスクリーンを表示、表示内容は KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのバージョンナンバーとエディションとなります。

(2) **Browser ボタン**: ブラウザを表示、最小化します。ブラウザの詳細はセクション [↑ 5, KOMPLETE KONTROL ソフトウェアブラウザ](#)を参照してください。

(3) **KOMPLETE KONTROL メニュー**: KOMPLETE KONTROL メニューを開き、ここでインストゥルメントビューやプリファレンスパネルにアクセス、各基本設定を行います ([↑ 2.5, 環境設定 \(Preferences\)](#)参照)。

(4) **プリセットディスプレイ**: ロードしたプリセット名称が表示される部分です。右の矢印ボタンでブラウザの検索結果リスト内の次のプリセットをロードします。全 KOMPLETE インストゥルメントのプリセットはブラウザ、または KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの **BROWSE** ボタンを介して閲覧することができます ([↑ 5, KOMPLETE KONTROL ソフトウェアブラウザ](#)、[↑ 7.4, ブラウズとナビゲートセクション](#)参照)。

(5) **パフォーマンスパネルボタン**: **Scale** と **Arp** パラメーターがあるパフォーマンスパネルを表示、最小化します。**Scale**、**Arp** の各機能が起動すると、パフォーマンスパネルボタンが青く点灯します。パフォーマンスパネルとスケール、コード機能の解説はセクション [↑ 6, KOMPLETE KONTROL ソフトウェアパフォーマンスパネル](#)を参照してください。

(6) **+ ボタン**: ロードした KOMPLETE インストゥルメントの見た目 (デフォルトビューと追加ビューがあります)。エディットビューを表示するには、KOMPLETE KONTROL メニュー (3) を使用します。セクション [↑ 2.2.3, Instrument Views の選択](#)で詳細を確認してください。

(7) **Tempo**: BPM (beats per minute) でテンポを表示します。テンポを変更するには数値をマウスで上下にドラッグ、またはダブルクリックした後コンピューターのキーボードで新規数値を入力します。ホストアプリケーションでプラグインとして KOMPLETE KONTROL をロードした場合、テンポは自動的にホストのテンポと同期するのでこの機能は灰色表示となり、無効の状態となります。

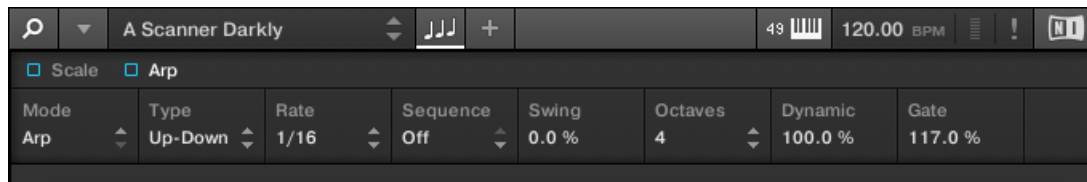
(8) **CPU メーター**: コンピューターのプロセッサの現在の使用率をリアルタイムに随時表示します。この値は 70% に到達しない様に制御するのが理想的です。

(9) **! ボタン**: ! ボタンをクリックすることで KOMPLETE KONTROL 全体の音声生成を停止します。

(10) **NI ロゴ**: NI ロゴと KOMPLETE ロゴからアバウトスクリーンを表示、表示内容は KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのバージョンナンバーとエディションとなります。

## パフォーマンスパネルを開く

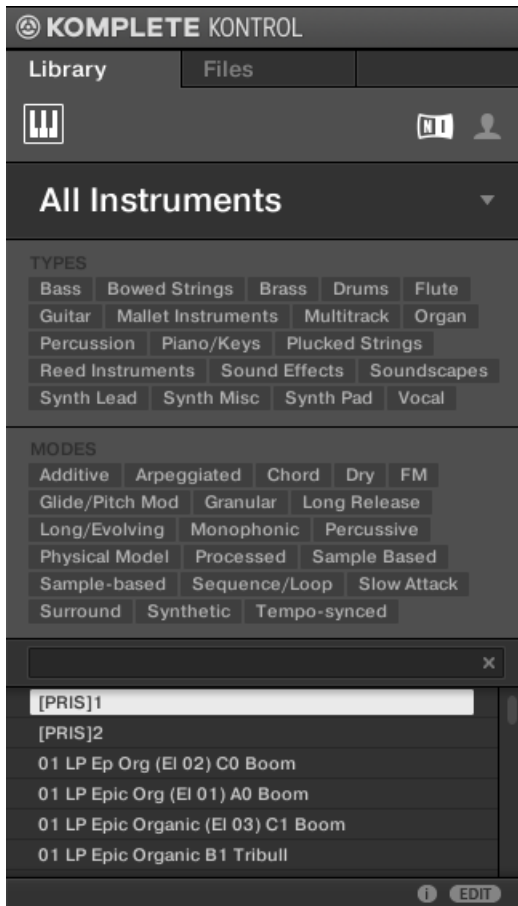
上記したように、ヘッダのパフォーマンスパネルボタン (5) をクリックすることでパフォーマンスパネルが開き、ここで KOMPLETE KONTROL の表現力の中核となる部分を操作することができます。ここでスケールやハーモニーを設定することで、自動コード演奏や、アルペジオ演奏ができるようになります。詳細はセクション [↑ 6, KOMPLETE KONTROL ソフトウェアパフォーマンスパネル](#)を参照してください。



パフォーマンスパネルで Scale と Arp パラメーターを表示します (図は Arp です)。

## 4.3 ブラウザ

ブラウザで KOMPLETE 全ライブラリ内の全ファイルの検索、編集、管理を行います。ブラウザの詳細はセクション [↑ 5, KOMPLETE KONTROL ソフトウェアブラウザ](#)で解説しています。KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの ([↑ 7.4, ブラウズとナビゲートセクション](#)参照) **BROWSE** ボタンを押すことでブラウザを表示することもできます。ブラウザの詳細設定は KOMPLETE KONTROL ソフトウェアで行います。



ソフトウェアのブラウザです。

## 4.4 インストールメントエリア

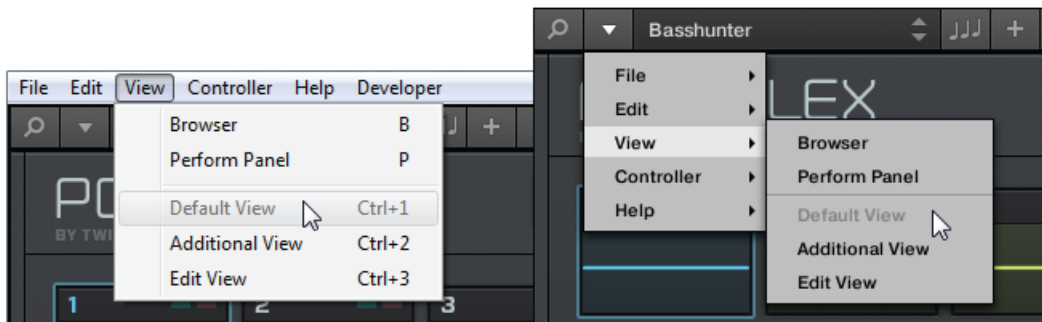
KOMLETE KONTROL ソフトウェアのインストールメントエリアには、ブラウザからロードした KOMLETE インストゥルメントが表示されます。各 KOMLETE インストゥルメントは異なるコントロール部とパラメーターを装備していますが、コンピューターのマウスや KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードで簡単に操作することができます。鍵盤を演奏することでコードやメロディーが演奏でき、ノブやタ

タッチストリップを使用できる分キーボードを使用する方が演奏上便利でしょう。どちらの方法でコントロールする場合でも、ロードした KOMLETE インストゥルメントは KOMLETE KONTROL S-SERIES と、ソフトウェアインターフェイスのインストゥルメントエリアの各ディスプレイに表示されます。

## Instrument Views の選択

ブラウザから KOMLETE インストゥルメントをロードすると、KOMLETE KONTROL ソフトウェアのインストゥルメントエリアに表示されます。殆どのインストゥルメントには複数のビューがあり、各コントロールによる詳細設定が可能な状態です。以下は 3 種のインストゥルメントビューの内容です。

- ▶ インストゥルメントビューを切り替えるには、アプリケーションメニューバーの **View**、または submenu of the KOMLETE KONTROL メニューの **View** サブメニューをクリックして *Default View*、*Additional View*、*Edit View* のどれかを選択します。



アプリケーションメニューバーのインストゥルメントビューの **View** メニュー (図は Windows)

と、KOMLETE KONTROL メニューの **View** サブメニューです。



ロードしたインストゥルメントによってビューの総数が異なります。



KOMLETE KONTROL ソフトウェアでインストゥルメントビューを選択した状態であっても、KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードでインストゥルメントの全パラメーターを常に制御することができます。

### 4.4.1 Default View

デフォルトビューはブラウザからインストゥルメントをロードすると表示されます。ここで各 KOMplete インストゥルメントの最重要制御部にアクセスします。



POLYPLEX のデフォルトビューです

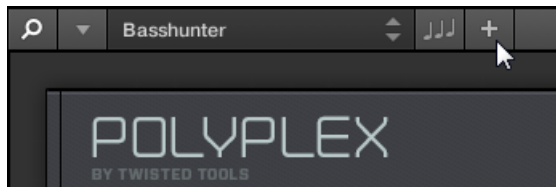
### 4.4.2 Additional View

殆どの KOMplete インストゥルメントには 2 番目のパラメーター表示部となるアディショナルビュー（追加ビュー）があります。ロードしたインストゥルメントによって、このアディショナルビューでは詳細コントロール部、またはまったく異なる機能用のコントロール部が用意されます。



POLYPLEX のアディショナルビューです。

- ▶ アディショナルビューに切り替えるには、KOMPLETE KONTROL ヘッダの + ボタンをクリックします。



もう一度クリックすると、KOMPLETE インストゥルメントのデフォルトビューに戻ります。



### 4.4.3 Edit View

また、KONTAKT または REAKTOR プレイヤーでロード、演奏することができる KOMLETE インストゥルメントをエディットビューで開くことも可能です。このエディットビューで、通常スタンドアローンモードの KONTAKT または REAKTOR 内で使用できる柔軟な全コントロール部と各機能にアクセスすることができます。

- ▶ エディットビューに切り替えるには、KOMLETE KONTROL メニューの *View* サブメニューの *Edit View* をクリックします。



エディットビューは KONTAKT または REAKTOR インストゥルメントのみで使用可能なビューです。



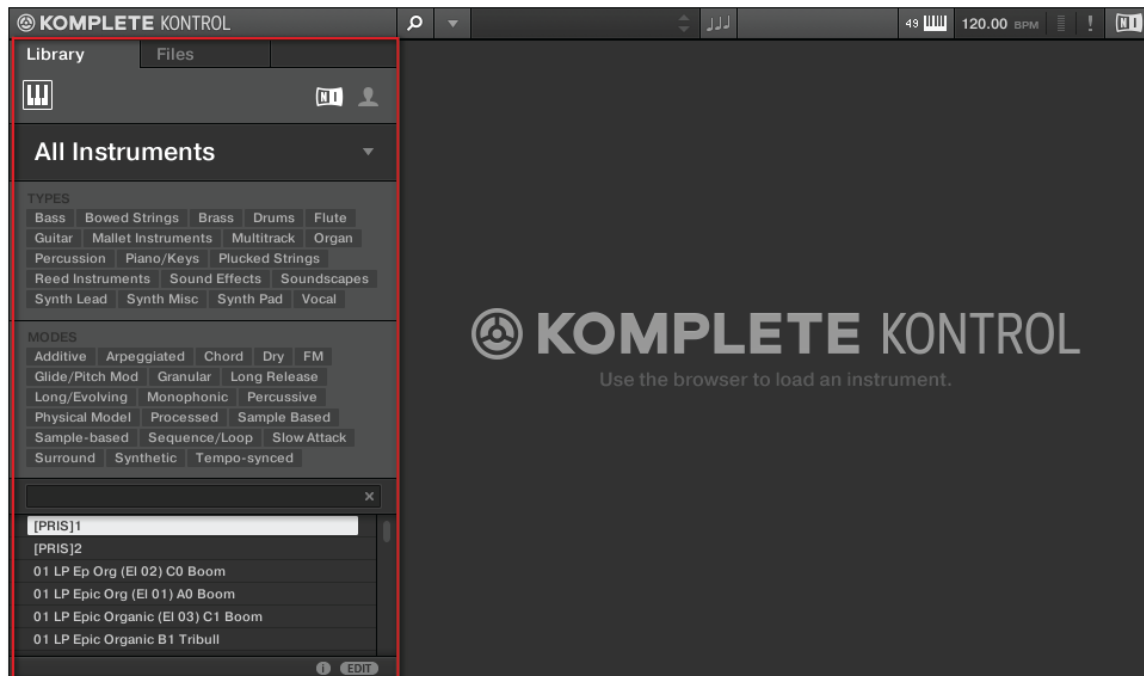
エディットビューで KOMLETE KONTROL ブラウザではロードできないファイルにアクセスします。例えば KONTAKT multis はエディットビューの KONTAKT ブラウザからロードすることとなります。



POLYPLEX のエディットビューです。

## 5 KOMPLETE KONTROL ソフトウェアブラウザ

ブラウザで全インストゥルメントとプラグインプリセットを管理、カテゴライズします。ここでそれぞれのタグ化を行い、キーワード付けされカテゴリー分類されます。KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのブラウザに関しては、大きな表示画面や QWERTY-キーボードを使用できる点で、キーボードより優位でしょう。タグの追加と編集はソフトウェアのみで使用できる機能となっています。



ブラウザ

### 5.1 ブラウザの基本

マニュアルのこのセクションでは、ブラウザの基本的な内容を解説します。

## 5.1.1 ライブラリ

ファイルの管理、検索、場所の特定、ロード等の KOMPLETE KONTROL ファイルに関する項目を**ライブラリ**でこなします。ライブラリには KOMPLETE と KOMPLETE ULTIMATE に含まれるインストールメントのファクトリーコンテンツと、自身のユーザーコンテンツを含んでいます。



KOMPLETE インストールメントと KOMPLETE KONTROL をフル活用するにはこれらを最新の状態にアップデートしてください。KOMPLETE インストールメントの最新バージョンをダウンロードするには、デスクトップから Service Center アプリケーションを起動してください。

迅速、かつ効率よく正確にファイル検索を行うには、通常のオペレーションシステムのフォルダ構造の上を行くライブラリを駆使する必要があります。例えば、ライブラリの各ファイルには以下の指標によって分類されます。

- ファイルの**コンテンツタイプ**、プロダクトのファクトリーライブラリ内にあるのか、ユーザーによって作成されたものか、といった内容による分類です。
- ファイルが含まれている**製品** — この分類では製品カテゴリー、特定の製品、製品のバンクによって分類されます。
- 各ファイルの特徴で分類するには**タグ**が用いられ、例えばエフェクトの種類、音声の特徴、使用コンテンツ等でファイルを分類します。



ライブラリはファイルを表示、アクセスするための手段の一つに過ぎません。ファイルシステムで同様のファイルを検索することも可能です。ライブラリの特徴はそのファイルの音楽的性質の関連性によってファイルを検索できる点にあります。

## ライブラリに含まれるファイルの種類

ライブラリに含まれるファイルは、[Preferences](#) パネルの [Library](#) ページにリスト表示されるフォルダ内の全 KOMPLETE KONTROL 関連ファイルとなります。ライブラリフォルダ詳細はセクション [↑ 2.5.1, Preferences – Library ページ](#)を確認してください。

## 5.1.2 ライブラリの閲覧とハードディスクの閲覧

**ブラウザ**は KOMPLETE ライブラリ用インターフェイスです。ここには任意のファイルを検索するための各ツールを装備しており、予想外のファイルを提示することで楽曲作成のヒントとなる場合もあります。更にブラウザでは一般的な方法でファイルシステム内を閲覧することもできます。これらは次のセクションで解説します。

ブラウザには 2 つの操作モードがあり、それぞれ専用ツールを使用することができます。

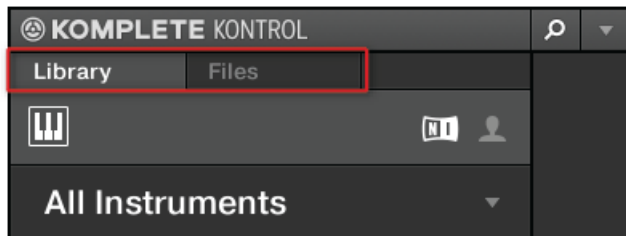
- **Library** ペインで KOMLETE ライブラリ内をブラウズします。この検索方法で、音楽の用途に合わせてファイルを検索することができます。このペインでファイルに自由にタグ付けすることができます。
- **files** ペインでオペレーションシステムの階層構造を用いてハードディスク内をブラウズすることができます。例えばこのブラウズ方法で KOMLETE ライブラリにインポートしていない KOMLETE KONTROL 関連ファイルを検索し、インポートすることができます。



ソフトウェア上とは異なり、KOMLETE KONTROL キーボードのブラウザではライブラリに追加したファイルのみをロードすることが可能です。キーボードのブラウザから直接ハードディスクのディレクトリにアクセスすることは出来ません。ソフトウェアのブラウザを使ってライブラリに事前にタグ化したファイルをインポートしておくことがここで重要になってきます。

## Library と Files ペインの切り替え

- ▶ ブラウザの **Library** ペイン、または **Files** ペインを表示するには、ブラウザ上部の該当するタブをクリックします。



任意のタブをクリックしてブラウザの対応するペインを表示します。

**Library** ペインはセクション ↑5.2, [ライブラリからファイルを検索、ロードする](#) で解説、**Files** タブはセクション ↑5.5, [ファイルシステムからファイルをロード、インポートする](#) で解説しています。

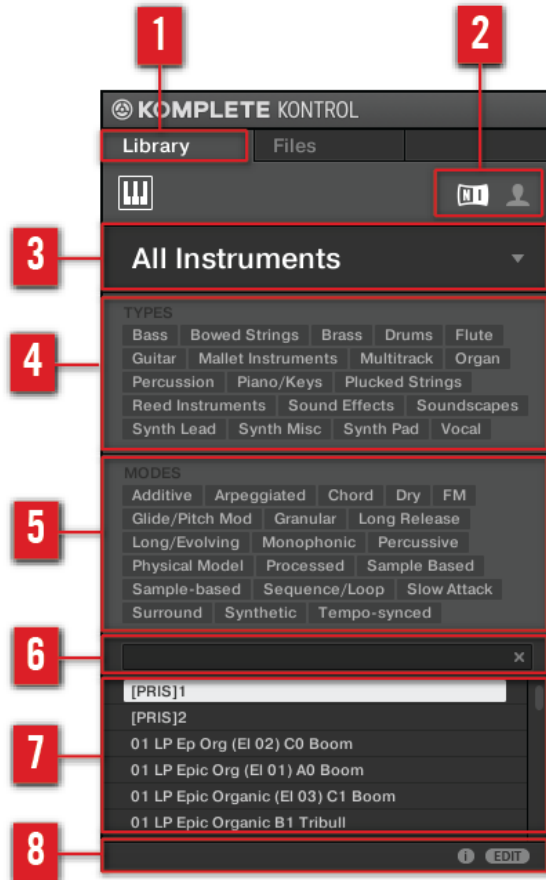
## 5.2 ライブラリからファイルを検索、ロードする

ブラウザの **Library** ペインで KOMLETE ライブラリ内の各ファイルを検索します。

- ▶ **Library** ペインを表示するには、ブラウザの左上隅にある **Library** タブをクリックします。

### 5.2.1 Library ペインの概観

**Library** ペインは以下の内容を含んでいます。



Library ペインの各部です。

- (1) **Library タブ**: Library タブをクリックし、ここで解説するように Library ペインを開きます。
- (2) **Content セレクター**: NI アイコン (左側) をクリックしてファクトリーコンテンツを選択、またはユーザーアイコン (右側) をクリックしてユーザーコンテンツを選択します。ここで選択したコンテンツに関するファイルのみがリザルトリスト (7) に表示されます。セクション [↑5.2.2, ファクトリー、ユーザーコンテンツの選択](#) を参照してください。

- (3) **Product セレクター**: ドロップダウンメニューをクリックして特定の製品、製品のカテゴリ、状況によって選択した製品のバンクを選択します。選択した内容に関連するファイルのみがリザルトリスト (7) に表示されます。セクション [↑ 5.2.3, Product Category、Product、Bank の選択](#) を参照してください。
- (4) **TYPES フィルター**: Type と Sub-Type タグに関連したファイルを検索します。セクション [↑ 5.2.4, Type と Mode タグの選択](#) を参照してください。
- (5) **MODES フィルター** (Instrument/Effect プリセットのみ): で Mode タグに関連したファイルのみを選択します。セクション [↑ 5.2.4, Type と Mode タグの選択](#) を参照してください。
- (6) **サーチフィールド**: この検索フィールドに文字を入力することで、入力文字列に該当するファイルを検索します。セクション [↑ 5.2.5, テキスト検索の方法](#) を参照してください。
- (7) **Result リスト**: Result リスト (検索結果リスト) で 上記のツールを用いた検索内容に見合うファイルを表示します。セクション [↑ 5.2.6, リザルトリストの使用](#) を参照してください。
- (8) **コントロールバー**: ブラウザ下部のコントロールバーでは、KOMLETE ライブラリをブラウズ、編集する際に便利なツールを装備しています。
- **EDIT** ボタン近くの**インフォボタン**(小さな“i”です) をクリックすることで選択したファイルの各情報を表示します。セクション [↑ 5.3.1, ファイル情報の表示](#) を参照してください。
  - バーの右端の **EDIT** ボタンをクリックすることで **Attribute Editor** (アトリビュートエディター) を開き、選択したファイルにアサインしたタグとプロパティを編集します。セクション [↑ 5.4, ファイルタグとプロパティの編集](#) を参照してください。

## Library ペインの検索ワークフロー

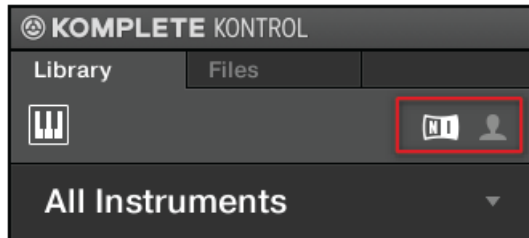
Library ペインでファイルを検索するには典型的な検索方法で絞り込み検索を行うことができます。

最初のステップは必ず行う必要があります。

1. コンテンツセレクター (2) で Factory または User コンテンツのどちらかを選択します。  
ここからのステップは必要に応じて行ってください。これらの機能を用いて検索結果を絞り込み検索することでファイルの選択を効率よく行うことができます。
  1. 製品カテゴリ、または製品を Product セレクターで選択します (3)。製品選択後、各バンクがある場合は、製品の特定のバンク、またはサブバンクを指定します。
  2. **TYPES** フィルター (4) と **MODES** フィルター (5) でタグを選択してください。
- 以上の方法を行う際は、Search フィールド (6) を用いて文字検索を同時進行で行い、Result リスト (7) の内容を絞り込むことができます。
- 上記のステップの詳細は以下のセクションで更に解説しています。

## 5.2.2 ファクトリー、ユーザーコンテンツの選択

コンテンツセクターには 2 つのアイコンがあり、左がファクトリーコンテンツ、右がユーザーコンテンツとなります。

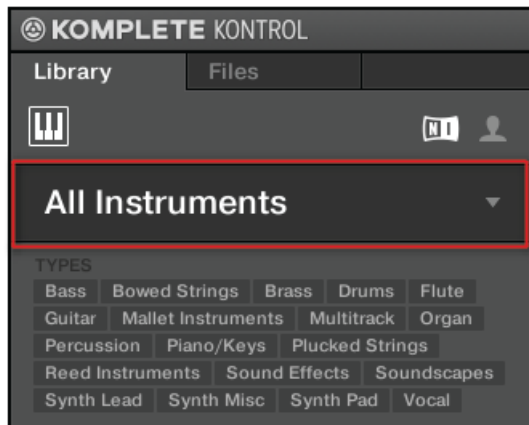


コンテンツセクター

- ▶ NI アイコンをクリックしてファクトリーコンテンツ、ユーザーアイコンをクリックしてユーザーコンテンツを検索します。

## 5.2.3 Product Category、Product、Bank の選択

Product セクターで製品カテゴリー、特定の製品、製品の特定バンクの選択、検索を行います。デフォルトでは Product セクターには特定のセクションがないので、[All Instruments](#) と表示されます。

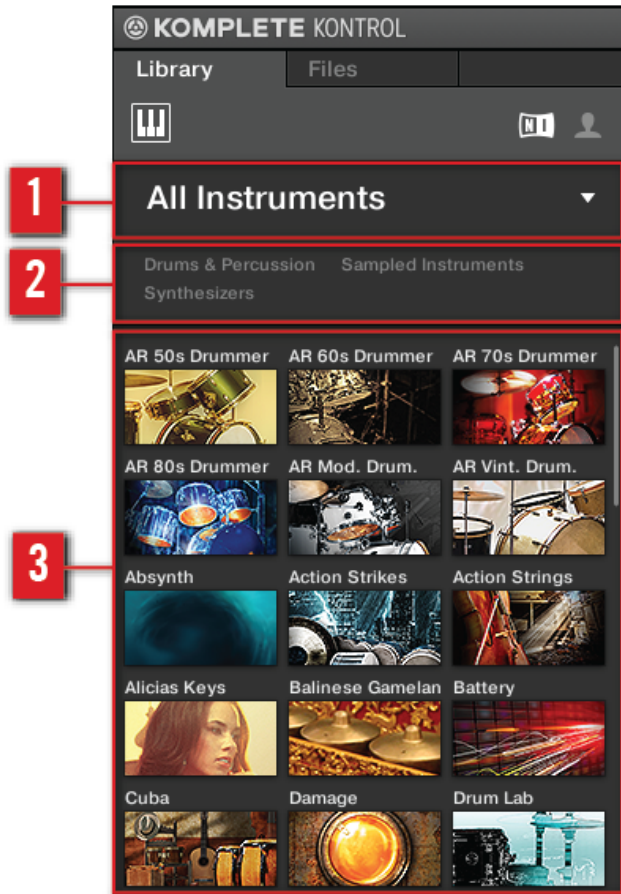


インストールメントを何も選択していない状態の Product セクターです。



## Product、Product Category の選択

- ▶ プロダクトセクターをクリックして開きます。
- プロダクトセクターが開き、以下の内容を表示します。

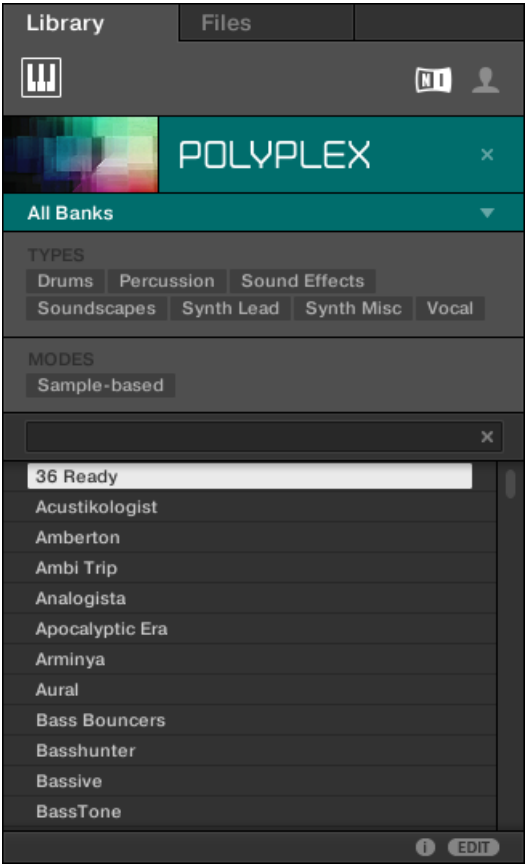


プロダクトセクターが開き、KOMPLETE インストゥルメントを表示しています。


(1) **Product セレクターヘッダ**: ヘッダでは選択しているプロダクト、またはプロダクトカテゴリーを表示します。なにも選択していない場合は対応するラベルを表示します(上図では [All Instruments](#) となっています)。ヘッダをクリックしてプロダクトセレクターを閉じます。

(2) **Product Category フィルター**: KOMplete ライブラリ内にファイルがあるプロダクトのカテゴリーを表示します。プロダクトのカテゴリーをクリックして選択、選択解除します。カテゴリーを選択することで以下のプロダクトリスト (3) に表示される製品数が制限されます。カテゴリーの複数選択はできません。カテゴリーを選択し、ヘッダ (1) をクリックすることでプロダクトセレクターを閉じます、ヘッダ (1) は選択したカテゴリーと [TYPES](#) と [MODES](#) フィルターを表示、検索結果リストはその内容によって絞り込みした結果を表示します。

(3) **Product リスト**: KOMplete ライブラリ内にあるプロダクトファイルを表示します。リストの任意のプロダクトをクリックします。Product セレクターは選択によって自動的に閉じ、ヘッダにプロダクト名称とアイコンが表示され、タグフィルターと Result リスト内容が絞り込まれます。



インストールメント選択後の閉じた状態の Product セレクターです。

 プロダクトカテゴリーとプロダクトセレクターは KOMPLETE ライブラリ内に関連ファイルがある場合に表示されます。特定の Native Instruments インストールメントをアップデートしていない状態でコンテンツセレクターでファクトリーコンテンツを選択してもプロダクトセレクターにプロダクトアイコンが表示されない場合があります。全 Native Instruments プロダクトをアップデートしてこのような事態を回避してください。

## プロダクトセレクションのリセット

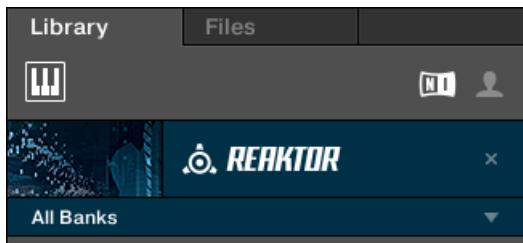
- ▶ Product セレクターでの選択内容をリセットするには、プロダクト名称の右にある小さな x をクリックしてください。



→ プロダクトセレクションがキャンセルされます。プロダクトセレクターは [All Instruments](#) と表示されます。この段階ではプロダクトセレクターの下タグフィルターとリザルトリストでは全製品用ファイルを含みます。

## バンクの選択

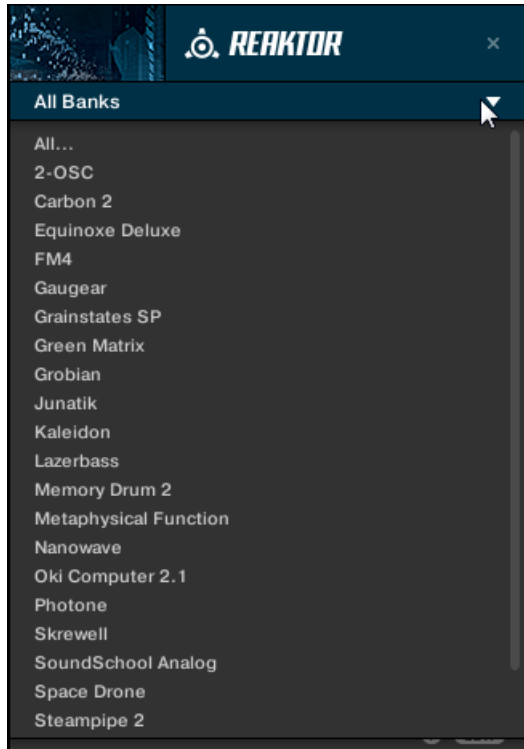
Product リスト (上参照) で特定のプロダクトを選択すると、閉じられたプロダクトセレクターの下に **Bank メニュー**が表示されます。



Bank メニューで REAKTOR インストゥルメント用 All Banks を表示しています。

このバンクメニューで選択した製品のファイルの特定バンクを選択します(上図は REAKTOR 用です)。

- ▶ 選択した製品の特定のバンクを選択するには製品アイコン下のバンクメニューをクリックし、エントリーにあるバンクを選択します。



- 選択するとバンクメニューが閉じ、選択したバンクが表示されます。下のタグフィルターと Result リストで更に内容を絞り込みます。



Banks には追加ライブラリ (MASSIVE EXPANSIONS 等)、オリジナルファクトリーライブラリの異なるバージョン (eFM7 Legacy と FM8 Factory Library 等)、または特定の製品のその他のコンテンツ等が含まれます。

上のプロダクトのように、閉じたメニューのバンクの右の小さな x をクリックして選択したバンクを削除することができます。

## ユーザーコンテンツ用プロダクトとバンク

自身の KONTAKT または REAKTOR スナップショットを保存する際、使用している KOMPLETE インストゥルメントの特徴に沿って各プロダクトとバンクに自動アサインされます。



保存した KOMPLETE インストゥルメントプリセットはプリファレンスパネルの [Library](#) ページの [User](#) ページで *Native Instruments User Content* として指定した場所に保管されます。詳細はセクション [↑ 2.5.1, Preferences – Library](#) ページを参照してください。



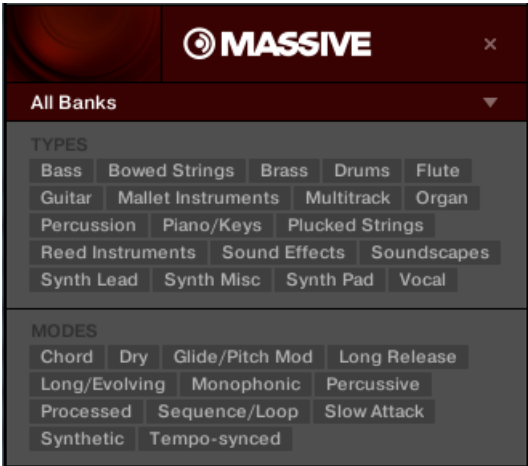
保存した BATTERY 4 の monolith ファイルが KOMPLETE KONTROL ブラウザに表示されることはありません。これらにアクセスするには BATTERY 4 を開き、エディットビューで BATTERY ブラウザを開く必要があります。



保存した KONTAKT 5 の multi ファイルが KOMPLETE KONTROL ブラウザに表示されることはありません。これらにアクセスするには KONTAKT 5 を開き、エディットビューで BATTERY ブラウザを開く必要があります。

### 5.2.4 Type と Mode タグの選択

Product セレクター下のタグフィルターで特定の性質、エフェクトタイプ、音声の特徴によるファイル検索を行います。タグの種類は Type または Mode となります。[TYPES](#) と [MODES](#) フィルターを介してそれぞれ選択します。



MASSIVE 用 TYPES と MODES フィルターです。

- ▶ タグフィルターの任意のタグをクリックして選択し、絞り込んだファイルの検索を行います。  
選択したタグをもう一度クリックして選択解除することで、選択範囲を広げます。

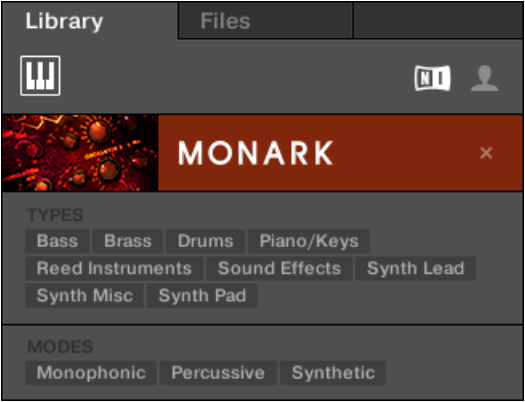
## Types

Type タグには 2 つの階層があります。TYPES フィルターでこれらを選択します。

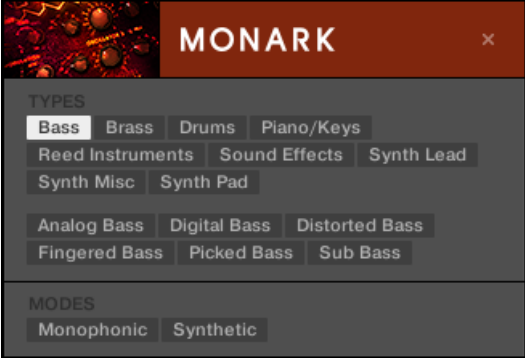
- まず TYPES フィルターでは上層のタグのみを表示します。
- 上層部でタグを選択すると、選択したタグの下にサブタグが表示されます。
- 階層構造とは各タグに含まれる各サブタグによる構造となっています。

例: では MONARK インストゥルメントでベースを探す場合を例にします。

- プロダクトセクターで既に **Monark** を選択しています（詳細は [↑ 5.2.3, Product Category、Product、Bank の選択](#) を参照してください）。現時点で **TYPES** フィルターは上層タグのみを表示しているはずです。

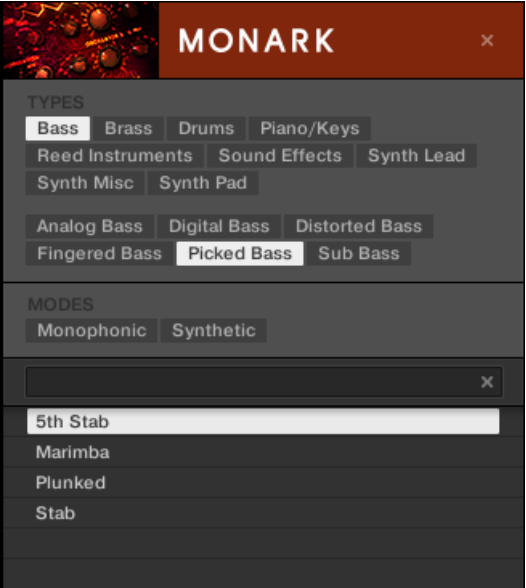


- ベースを検索するには、**TYPES** フィルターで **Bass** タグを選択します。  
選択すると、次の階層に **Analog Bass**、**Fingered Bass**、等があるサブタイプが表示されます。





この 2 番目の階層で、探しているベースがありそうなサブタイプを選択します。  
ここでは [Picked Bass](#) を選択することにし、これでベースの絞り込み検索ができます。



- ではこのベースサウンドをロードしたとして、このサウンドが気に入らず、更に際立った音が必要だと感じたとしましょう。TYPES フィルターの [Bass](#) タグはそのままにしておき、次の階層で [Picked Bass](#) の代わりに [Distorted Bass](#) を選択します。[Distorted Bass](#) を選択すると、検索結果の内容が更新されます。



これで似たような特徴を持つ各プリセットを（異なるインストゥルメントであっても）、ここでは歪んだベースサウンドを、素早く検索することが可能となります。

- **Distorted Bass** サブタイプを使用して気に入ったサウンドが見つかり、同じタグの KOMplete インストゥルメントのその他のプリセットを閲覧したくなった場合は、x をクリックしてプロダクトセクターをリセットします。



- プロダクトセクターがリセットされ、**TYPES** と **MODES** フィルターは全 KOMplete インストゥルメントプリセットが含む **Bass** と **Distorted Bass** が関連するプリセットを表示します。



## モード

- **MODES** フィルターには Type レベルとは独立した追加レベルを備えています。
  - 基本的に Mode タグは技術的な内容によって分類されています (例、**Arpeggiated**、**Percussive**、**Synthetic** 等)。
  - **MODES** フィルターは常に表示されます。**TYPES** フィルターを使用する前に **MODES** フィルター (あるいは **MODES** フィルターのみを用いて) を用いて検索を開始することができます。
  - **MODES** フィルター内の有効なタグのリストは **TYPES** フィルターで選択した内容によって異なります。選択した Type と Mode タグの両方にファイルが何もない場合は、Type タグが Mode タグの代わりに表示されます。



**TYPES** または **MODES** フィルターでタグを何も選択しないと、Result リストでは全タグに関連する全ファイルが表示されます。

## 同じレベルで複数のタグを選択する

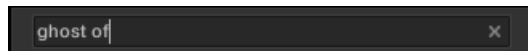
**TYPES** と **MODES** フィルターの両方の同じレベルで**複数のタグ**を選択することが可能です。

- ▶ コンピューターキーボードの [Shift] を押したままクリックすることで同一階層で隣り合う、または連続する複数のタグを選択します。
- ▶ コンピューターキーボードの [Ctrl] ([Cmd]、Mac OS X) を押しながら同一レベルのタグをクリックすることで各タグを選択することができます。

→ Result リストにはタグ選択内容に関連する全ファイルが表示されます。

## 5.2.5 テキスト検索の方法

サーチフィールドに検索文字を入力して検索を行うこともできます。



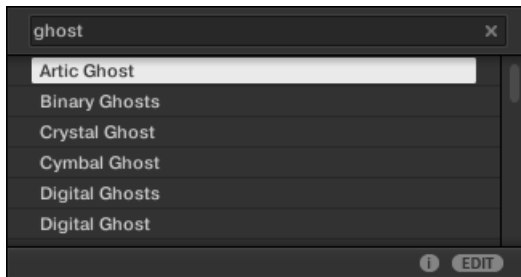
サーチフィールドです。

- ▶ サーチフィールドをクリックして任意のテキストを入力することでこのテキストを含んだファイルが絞り込み検索されます。

検索はファイルパスファイル名称、products/banks/sub-banks、タグ、プロパティディレクトリで扱われる文字に対して使用できます。入力を始めるとすぐに、下のリザルトリストで絞り込み表示が始まります。サーチフィールドの右の**リセットボタン**（小さな x）で文字検索とタグ検索をリセットすることができます。リセットによるプロダクトの選択内容はありません。

## 5.2.6 リザルトリストの使用

リザルトリストでは検索内容に合う全てのファイルを表示します。



リザルトリストで検索ワード “ghost” にマッチするインストールメントプリセットを表示しています。

リストが膨大すぎて一度に表示しきれていない場合はマウス、またはスクロールバーを使用してリスト内を移動します。

リザルトリストでは以下のことが行えます。

- 任意のファイルの選択
- 選択したファイルのロード
- ハードディスクとライブラリからの選択したファイルの削除
- オペレーションシステムの選択したファイルのナビゲート
- ブラウザーの右下にある [EDIT](#) ボタンのクリックによる選択したファイルのアトリビュートの閲覧と編集 詳細はセクション [↑ 5.4, ファイルタグとプロパティの編集](#)を参照してください。

## リザルトリストでファイルを選択する

- ▶ リザルトリストで単一のファイルを選択するにはエントリーをクリックします。

リザルトリストで複数のファイルを選択し、一挙に編集することも可能です。

連続するファイルを複数選択するには以下を行います。

- ▶ コンピューターキーボードの [Shift] を押したままリザルトリスト内の 2 つのファイルを選択することで同一階層で隣り合う、または連続する複数のタグを選択します。

離れあったファイルを複数選択するには以下を行います。

- ▶ [Ctrl] ([Cmd]、Mac OS X) を押したまま、選択したい全ファイルをそれぞれクリックします。

## ファイルのロード

このリストにあるファイルをダブルクリックするとロードします。



インストールメントプリセットロード時に既にプリセットがロードしてある場合は、そのプリセットと交換されます。

## リザルトリストでファイルを削除する

リザルトリストから直接ユーザーファイルを削除することも可能です。

1. 任意のユーザーファイルを右クリック (Mac OS X では [Ctrl]-クリック) し、コンテキストメニューで *Delete* を選択します。複数のファイルを同時に削除する場合は、上記したように選択してから右クリック ([Ctrl]-クリック、Mac OS X) します。  
警告ダイアログが表示され、この削除によって KOMPLETE ライブラリのみではなくハードウェアからも選択しているファイルを削除する、といった趣旨のメッセージが表示されます。
2. **OK** をクリックして削除します(または **Cancel** をクリックして削除をキャンセルします)。

→ ファイルは KOMPLETE ライブラリとハードディスクから削除されます。



ファクトリーコンテンツを使用する場合は、コンテキストメニューに *Delete* エントリーは表示されません。

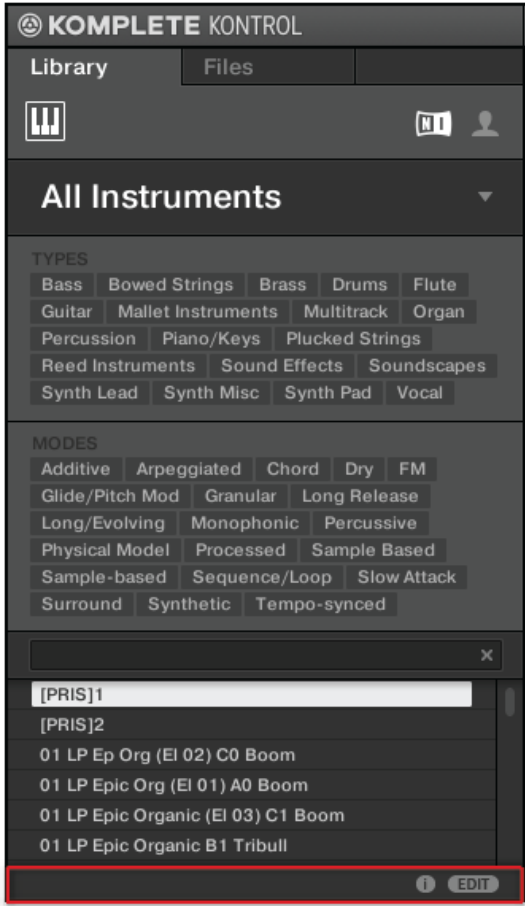
## オペレーションシステムでファイルをナビゲートする

リザルトリストで表示されている特定のファイルの場所を知るには以下を行います。

- ▶ リザルトリストの任意のファイルを右クリック ([Ctrl]-クリック、Mac OS X) し、コンテキストメニューで *Find in Explorer* (*Find in Finder*、Mac OS X) を選択すると、Explorer/Finder ウィンドウを表示、オペレーションシステム内のファイルの位置を確認することができます。

## 5.3 追加ブラウズツール

ブラウザの下部のコントロールバーにはファイルを素早く確認できる便利な各ツールを用意しています。

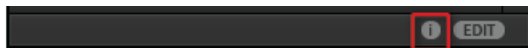


ブラウザーの下のコントロールバーです。



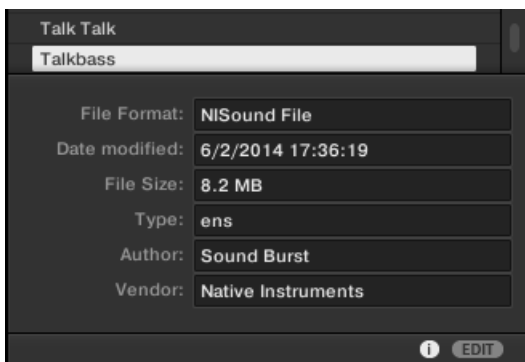
コントロールバーの右端の **EDIT** ボタン (**Library** ペイン) または **IMPORT** ボタン (**Files** ペイン) で上のリザルトリストで選択したファイルのアトリビュートを編集します(**Files** ペインにはライブラリにインポートしたファイルが、**Library** ペインには既にライブラリにあるファイルが表示されます)。詳細はセクション [↑5.4, ファイルタグとプロパティの編集](#) を参照してください。

### 5.3.1 ファイル情報の表示



情報ボタンです。

- ▶ コントロールバーの右の **EDIT** ボタンの隣にあるインフォボタン (小さな“i”です) を押してリザルトリストで選択したファイルの情報を表示します。
- 選択したファイルの各情報を示すボックスが表示されます。その内容は [File Format](#)、[Date modified](#)、[File Size](#)、[Type](#)、[Author](#)、[Vendor](#) プロパティーとなります (↑[5.4](#), [ファイルタグとプロパティーの編集](#)参照)。



情報ボックスには選択したファイルの各情報が表示されます。

選択したファイルに異なる特徴がある場合は、情報ボックスの該当表示部分が **multi** と表記されます。

## 5.4 ファイルタグとプロパティーの編集

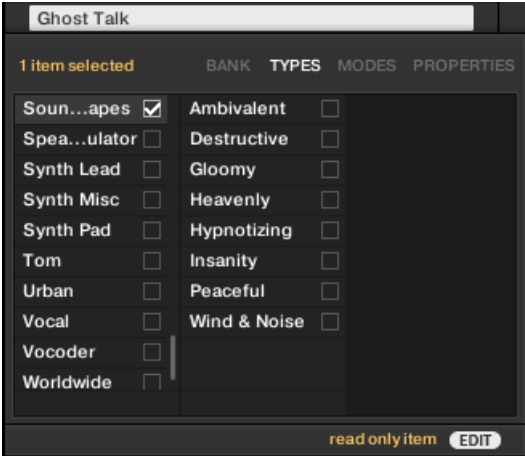
アトリビュートエディター (Attribute Editor) で [Library](#) ペインで (↑[5.2](#), [ライブラリからファイルを検索、ロードする](#)参照) KOMLETE ライブラリをブラウズするときに簡単に検索できるようファイルにタグとプロパティーをアサイン、編集しておきます。

### 5.4.1 アトリビュートエディターの基本的な使用方法

アトリビュートエディターは以下の状況で使用できます。



- **Library** のリザルトリストでライブラリにすでにあるユーザーファイルを選択し、ブラウザの右下にある **EDIT** ボタンをクリックすることでタグとプロパティを編集することができます。編集を終えたら **APPLY** をクリックして選択したファイルの編集内容を適用、または **EDIT** ボタンをもう一度押すことで Attribute Editor を閉じ、編集内容をキャンセルします。**Library** ペイン詳細はセクション ↑ 5.2, **ライブラリからファイルを検索、ロードする**を参照してください。
- ブラウザの **Files** ペインから KOMPLETE ライブラリにフォルダーをインポートするには、ブラウザの右下の **IMPORT** をクリックすることで Attribute Editor が自動的に表示され、そこでインポートしたファイルにタグをつけます。タグ付けを終えたら **OK** をクリックしてライブラリにファイルをインポートし、選択したタグを適用、または **CANCEL** をクリックしてインポートをキャンセルします。**Files** ペイン詳細はセクション ↑ 5.5, **ファイルシステムからファイルをロード、インポートする**を参照してください。



Attribute Editor (TYPES ページを表示しています)です。

Attribute Editor は **Library** ペイン (↑ 5.2.6, **リザルトリストの使用参照**) のリザルトリストで選択している内容、または **Files** ペインにインポートするために選択したフォルダ内のファイルに対して影響します (↑ 5.5.5, **リザルトリストの使用参照**)。

Attribute Editor は各ページで管理します。

- ブラウザの **Library** ペインでは前ページ **BANK**、**TYPES**、**MODES** と **PROPERTIES** が有効となります。
  - ブラウザの **Files** ペインでは **TYPES** と **MODES** ページのみが有効となります。
- ▶ Attribute Editor の右上の任意のタブをクリックして対応するページを表示します。

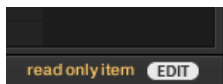


Attribute Editor 上部をドラッグして表示サイズを変更することができます。

Attribute Editor の左上隅に黄色で選択したアイテム総数が表示されます。

## ファクトリーファイルのアトリビュートの表示

**Library** ペインのブラウズ時に、リザルトリストで選択したファイルがファクトリーファイルの場合 (ファクトリーコンテンツのファイル) はブラウザの下の **EDIT** ボタンの隣の **read only item** ラベルが黄色く表示されます。

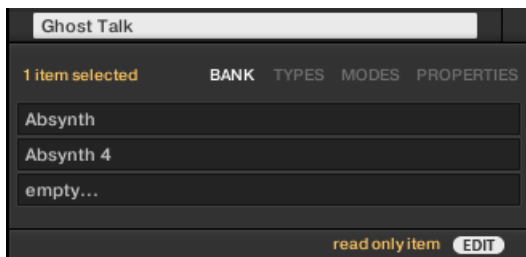


Attribute Editor にファクトリーファイルがロードされます。

Attribute Editor はこれらのファイルの各アトリビュート (属性) を表示しますが、この内容を編集することはできません。

## 5.4.2 BANK ページ

**BANK** ページは **Library** ペインで Attribute Editor を開く場合に有効なページとなります。




Attribute Editor の **BANK** ページです。

**BANK** ページでは上からプロダクト、バンク、選択したファイルのサブバンクを表示します。対応するフィールドでアトリビュートが設定されていない場合は **empty...** と表示されます。

**BANK** ページのアトリビュートは編集することができません。これらは KOMLETE KONTROL によって自動的にアサインされたものです。

### 5.4.3 TYPES と MODES ページ

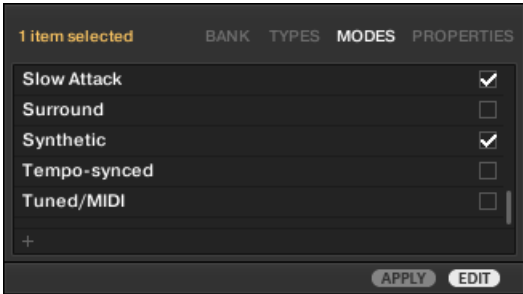
TYPES と MODES ページで上のリザルトリストで選択しているファイルのタグを編集することができます。

 Attribute Editor の他のページと同様に、TYPES と MODES ページのフィールドはリザルトリストでユーザーファイルを選択した場合（またはコンテンツセクターをユーザーコンテンツにした場合）のみ編集することができます。ファクトリーファイルのタグを編集することはできません。

- TYPES には Type タグの階層に 2 つのカラムが設けられます (セクション [↑ 5.2.4, Type と Mode タグの選択参照](#))。



- MODES ページのカラムは一つです。

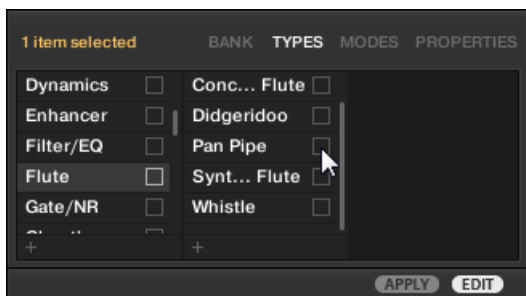


## タグの表示

- **TYPES** と **MODES** ページの両方で、選択したファイルにタグがアサインされると名称の右にチェックマークが付きます。



- **TYPES** ページでタグの名称をクリックすると、右のカラムにサブタイプが表示されます。タグで同時に表示されるサブタイプは一つのみとなります。選択したタグはハイライト表示されます。



## タグのアサイン

1. 任意のタグ名称の右にある空のチェックボックスをクリックして選択したファイルにタグをアサインします。

チェックボックスにチェックマークが付きます。

2. コントロールバーで **APPLY** ボタンを押し、選択したタグをアサインします。

→ タグがアサイン、保存されます。

更に、**TYPES** ページのタグをチェックします。

- タグに次のカラムがある場合は自動的にチェックされ、次のカラムにサブタイプが表示されます。このカラムの各サブタイプをチェックすることで更に情報を追加することができます。
- サブタイプにチェックを入れる時点でその上層階層にチェックが入っていない場合はそれらのタグにもチェックが自動的に付きます。



タグ付けは正確に行うことで、その後の検索がしやすくなります。

## タグのアサインの解除

- ▶ 任意のタグの右のチェックマークをクリックして選択したファイルタグのアサインを取り除きます。

→ チェックマークが無効の状態となります。



**TYPES** ページでサブタグのアサインがある場合、その上の層のタグを解除することでサブタグのチェックが外れます。

## 新規タグの作成

**TYPES** と **MODES** ページで自身のタグを作成することも可能です。

- ▶ 各カラムで新規タグを作成するにはカラム下部の“+” シンボルをクリックし、コンピューターキーボードで任意のタグ名称を入力し、[Enter] を押して適用します。



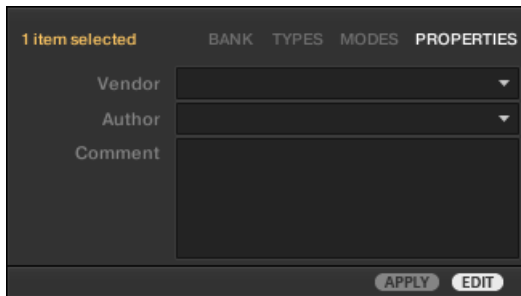
新規サブタイプを追加しています。

## タグの削除

**TYPES** と **MODES** ページのタグは手動で削除することはできません。ファイルにアサインされているタグがなくなった場合はカラムから自動的に削除されます。

### 5.4.4 PROPERTIES ページ

**PROPERTIES** ページは **Library** ペインで Attribute Editor を開く場合に有効なページとなります。



Attribute Editor の PROPERTIES ページです。

PROPERTIES ページで選択したファイルの 3 つの追加アトリビュートを表示します。

- **Vendor:** このフィールドで選択したファイルの製造者を表示します。右の下向きの矢印をクリックし、ライブラリ内で他のファイルに対して使用されている Vendor アトリビュートを素早く選択します。
- **Author:** このフィールドで選択したファイルの作成者名を表示します。右の下向きの矢印をクリックし、ライブラリ内で他のファイルに対して使用されている Author アトリビュートを素早く選択します。
- **Comment:** このフィールドを使用して選択したファイルに他の情報を追加します。



Attribute Editor の他のページと同様に、PROPERTIES ページのフィールドはリザルトリストでユーザーファイルを選択した場合のみ編集することができます。ファクトリーファイルのアトリビュートを編集することはできません。

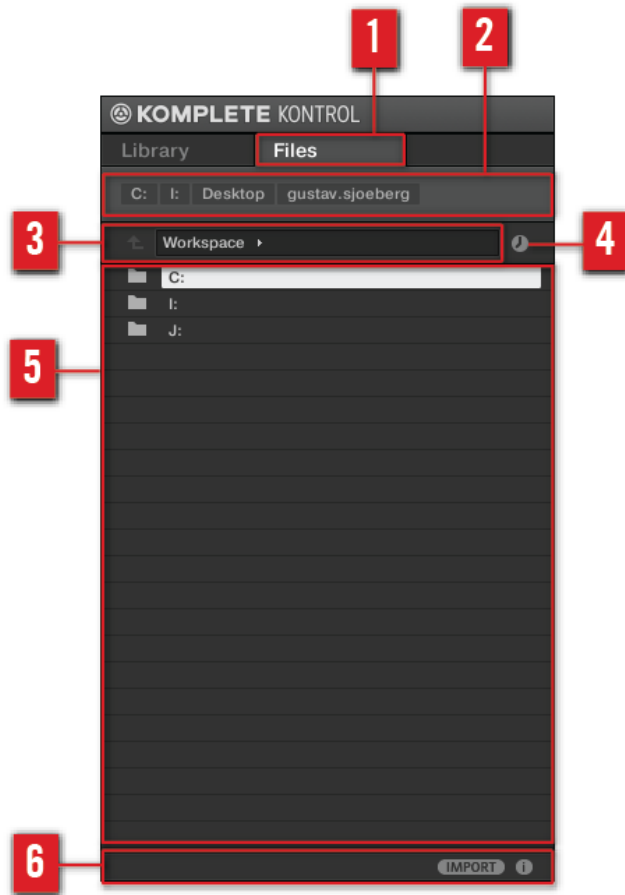
## 5.5 ファイルシステムからファイルをロード、インポートする

ブラウザの FILES でファイルシステムをブラウズし、任意のフォルダを KOMLETE ライブラリにインポートします。

- ▶ Files ペインを表示するには、ブラウザの上にある Files タブをクリックします。

### 5.5.1 Files ペインの概観

Files ペインは以下の内容を含んでいます。



Files ペインの各部です。

- (1) **Files タブ:** [Files](#) タブをクリックしてここで解説するように [Files](#) ペインを開きます。
- (2) **Favorite バー:** 全 Favorites を表示します。各 Favorite をクリックして特定のパスに直接移動し、リザルトリスト (5) にその内容を表示します。セクション [↑ 5.5.2, Favorites \(お気に入り\) の使用](#) を参照してください。
- (3) **Location バー:** 現在選択しているパスを表示します。このロケーションバーにはファイルシステムを素早く制御するための各ツールを用意しています。セクション [↑ 5.5.3, ロケーションバーの使用](#) を参照してください。

(4) **Recent Locations ボタン**: このボタンをクリックして最後に閲覧した場所のリストを表示するので、任意の場所に素早く移動することができます。セクション [↑ 5.5.4, 最近使った場所への移動](#) を参照してください。

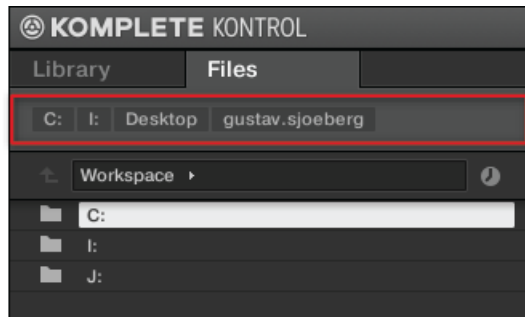
(5) **Result リスト**: Result リストでロケーションバー(3)にロードしてあるフォルダの内容（ファイル、またはフォルダ）を表示します。KOMLETE KONTROL に互換性のあるファイルのみが表示されます。セクション [↑ 5.5.5, リザルトリストの使用](#) を参照してください。

(6) **Control バー**: ブラウザの下部にある Control バーにはファイルシステムのブラウズ時に便利なツールがあり、これらはリザルトリスト内で選択したファイルの内容によって異なります。

- 右下隅の**インフォボタン**(小さな“i”です) をクリックすることで選択したファイルの各情報を表示します。セクション [↑ 5.3.1, ファイル情報の表示](#) を参照してください。
- フォルダ選択時にバーの右にある **IMPORT** ボタンを押すと、選択したフォルダが KOMLETE ライブラリにインポートされます。**IMPORT** ボタンをクリックすると **Attribute Editor** が開くのでそこでインポートしようとしているファイルにタグをアサインします。セクション [↑ 5.4, ファイルタグとプロパティの編集](#) を参照してください。

## 5.5.2 Favorites (お気に入り) の使用

Files ペインの上部には Favorite バーがあり、ここに全 Favorite を表示します。



Files ペイン上部の Favorite バーです。

**Favorites** はファイルシステム内の特定の場所へのショートカットとして機能します。

▶ Favorite バーで任意の Favorite をクリックして各場所に移動します。

→ 選択した場所はロケーションバーにロードされ、リザルトリストにその内容が表示されます。



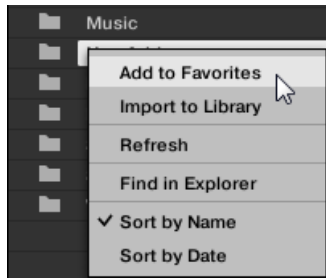
**Files** ペイン内でファイルシステムをブラウズする際、同じ場所を頻繁に使用する場合は Favorites 機能は非常に便利です。頻繁に使う場所を Favorite として保存することで、常にこの場所に素早く移動することが可能となります。

デフォルト Favorites はハードディスクのルートフォルダ、デスクトップフォルダ、ユーザーフォルダとなります。

## Favorites の追加と削除

Favorites バーに任意の Favorite を追加することもできます。この操作はリザルトリストで行います。

1. Favorite として使用したいフォルダを含む親フォルダに進み、このフォルダがリザルトリストで表示されるようにします。
2. リザルトリストで任意のフォルダを右クリック (Mac OS X では [Ctrl]-クリック) し、コンテキストメニューで *Add to Favorites* を選択します。

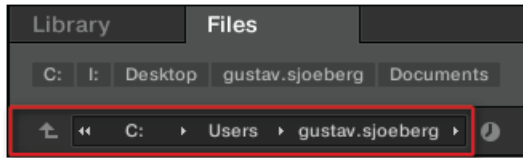


Favorite バーから各 Favorite を削除することも可能です。

- ▶ Favorite を削除するには、Favorite バーで右クリック ([Ctrl]-クリック、Mac OS X) し、*Remove from Favorites* を選択します。

### 5.5.3 ロケーションバーの使用

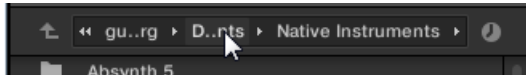
ロケーションバーで使用しているパスの表示と編集を行います。リザルトリストではここに表示しているパスの内容を表示します。



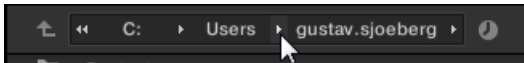
ロケーションバーです。

ロケーションバーには以下のツールがあります。

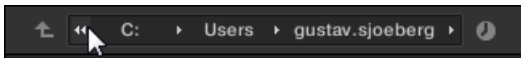
- **上矢印:** 左の上矢印をクリックしてファイルシステム階層を上に移動します。
- **選択したパス:** パスを表示した状態で以下のことが行えます。
  - **フォルダ名称**をクリックしてそのファイルに移動します。



- **右矢印**をクリックしてサブフォルダを表示、その中のエントリーをクリックして各フォルダに移動します。

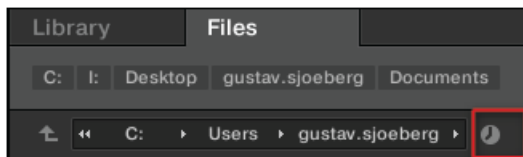


- パスで全レベルを表示しきれない場合は、パスの**二つの左向き矢印**をクリックして残りの上部レベルを表示し (Workspace がファイルシステム内の最上部となります)、リストの各エントリーをクリックすることでその場所に移動します。



## 5.5.4 最近使った場所への移動

ロケーションバーの右の時計アイコンはリセントロケーション (Recent Locations) ボタンです。



リセントロケーションボタンです。

KOMLETE KONTROL は最後に使用した 10 の場所を記憶し、保存します。

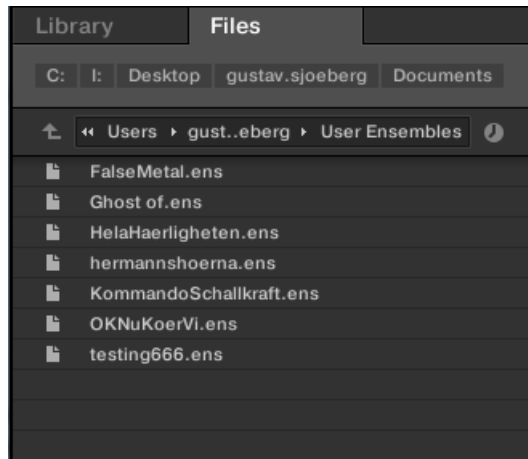
- ▶ リセントロケーションボタンを押し、リスト表示される最近使用した場所に移動します。
- 場所はロケーションバーにロードされ、リザルトリストにはその内容が表示されます。

### 5.5.5 リザルトリストの使用

**Files** ペインのリザルトリストはロケーションバーにロードしてあるパス内のフォルダとファイルを表示します。(↑5.5.3, [ロケーションバーの使用](#)参照)。



KOMplete KONTROL に互換性のあるファイルのみがリザルトリストに表示されます。



Files ペインのリザルトリストです。

リストが膨大すぎて一度に表示しきれていない場合はマウス、またはスクロールバーを使用してリスト内を移動します。

### リザルトリスト内でファイルをナビゲートする

表示しているフォルダを開くことでリザルトリスト内のファイルシステムを更にブラウズします。

- ▶ フォルダをダブルクリックして内容を表示します。

前のフォルダに戻る、または現在表示しているフォルダ以外の他のフォルダに移動するには、リザルトリストにある各ツールを使用します。

- Favorites（お気に入り）：[↑ 5.5.2, Favorites（お気に入り）の使用](#)
- Location（ロケーション）バー：[↑ 5.5.3, ロケーションバーの使用](#)
- Recent Locations（リザルトロケーション）ボタン：[↑ 5.5.4, 最近使った場所への移動](#)

## リザルトリストでファイルとフォルダを選択する

- ▶ リザルトリストで単一のファイルとフォルダを選択するにはエントリーをクリックします。

リザルトリストで複数のファイルとフォルダを選択し、一挙に編集することも可能です。

連続するファイルを複数選択するには以下を行います。

- ▶ コンピューターキーボードの [Shift] を押したままリザルトリスト内の 2 つのファイルを選択することで同一階層で隣り合う、または連続する複数のタグを選択します。

離れあったファイルを複数選択するには以下を行います。

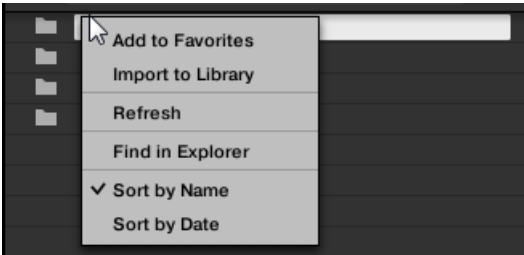
- ▶ [Ctrl] ([Cmd]、Mac OS X) を押したまま、選択したい全ファイルをそれぞれクリックします。

## リザルトリストからファイルをロードする

[Library](#) ペインのリザルトリストの使用方法と同様に、ダブルクリックでリザルトリストからファイルをロードすることができます。詳細は [↑ 5.2.6, リザルトリストの使用](#) を参照してください。

## リザルトリストの追加機能

- ▶ リザルトリストの各エントリーを右クリック ([Ctrl]-クリック、Mac OS X) することで追加コマンドを含んだコンテキストメニューを開きます。



Files ペインのリザルトリストのコンテキストメニューです (図は Windows の内容です)。

コマンドは以下となります。

コマンド	内容
<i>Add to Favorites</i> (フォルダのみ)	Favorites に選択したフォルダを追加します。詳細は <a href="#">↑ 5.5.2, Favorites (お気に入り) の使用</a> で確認してください。
<i>Import to Library</i> (フォルダのみ)	ライブラリに選択したフォルダをインポートします。詳細は <a href="#">↑ 5.5.5, リザルトリストの使用</a> で確認してください。
<i>Refresh</i>	フォルダの内容を編集した場合にリスト内容をリフレッシュします。
<i>Find in Explorer / Find in Finder</i>	選択したフォルダがある Explorer/Finder ウィンドウを表示します。
<i>Sort by Name</i>	アイテムの名称によってリザルトリスト順を並び替えます。
<i>Sort by Date</i>	アイテムの日付によってリザルトリスト順を並び替えます。

### 5.5.6 KOMLETE ライブラリにファイルをインポートする

膨大な KOMLETE ファクトリーライブラリの他に、自身のサンプル、または他のユーザーからの REAKTOR アンサンプル、または KONTAKT インストゥルメントファイルを使用する場合もあるでしょう。解説したように [Files](#) ペインからファイルを直接ロードすることもできますが、キーボードのブラウザ、または [Library](#) ペインでこれらのファイルを検索、ロードすることはできません ([↑ 5.2, ライブラリからファイルを検索、ロードする](#)参照)。

まずはライブラリにファイルをインポートしてください。ファイルをインポートするといっても現在サンプルを保管しているファイルディレクトリを移動するというわけではなく、ブラウザにファイルディレクトリを認識させる方式を採用しています。そのため、ファイルを移動する度に、[Preferences](#) パネルの [Library](#) ページでファイルパスを認識させる必要があります。詳細には [↑ 2.5.1, Preferences – Library ページ](#)を参照してください。

**Files** ペインでは全フォルダをインポートすることができます。選択したフォルダ内の KOMLETE KONTROL に互換性のある全ファイルがインポートされます。

フォルダのインポート方法は以下となります。

1. ブラウザ上部の **Files** タブをクリックして **Files** ペインを開きます。
2. **Files** ペインでインポートするフォルダがあるフォルダまでナビゲートします。これを行うには上記のセクションで解説した各ツールを使用します。
3. 上記のように任意のフォルダを選択します。
4. ファイル・ブラウザの右下にある **IMPORT** ボタンをクリックしてください。  
Attribute Editor が表示されます。
5. Attribute Editor でライブラリにインポートするファイルにタグ付けを行います ([↑5.4, ファイルタグとプロパティの編集](#)参照)。
6. タグ付けを終えたらブラウザ右下の **OK** をクリックしてライブラリにファイルをインポートします。

→ 選択したフォルダ内の KOMLETE KONTROL に互換性のある全ファイルがライブラリにインポートされます。これらはユーザーコンテンツとして追加されます ([Library](#) ペインのコンテンツセクターでユーザーアイコンを選択します。セクション [↑5.2.2, ファクトリー、ユーザーコンテンツの選択](#)参照)。更にインポートしたフォルダのパスが [Preferences](#) パネルの [Library](#) ページにある [User](#) ペインのユーザーライブラリリストに追加されます。セクション [↑2.5.1, Preferences – Library ページ](#)を参照してください。

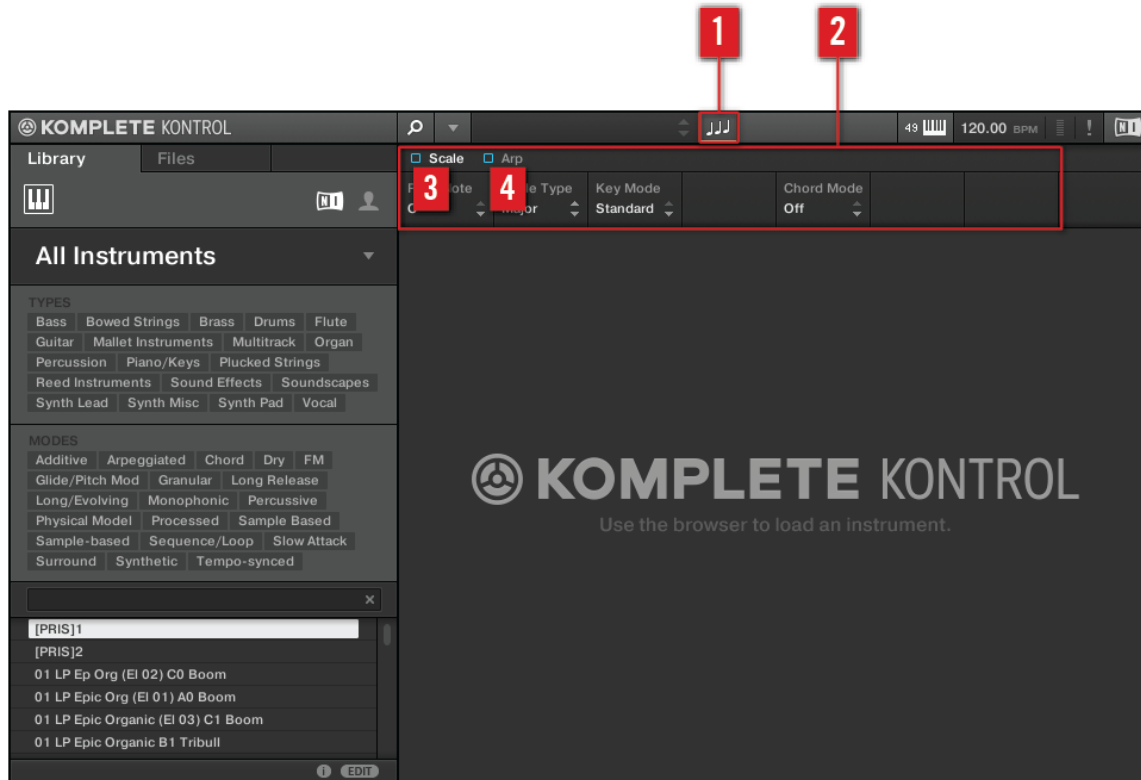


タグの追加、削除はインポート後いつでも行うことが可能です。しかしその後の手間を考えると、インポート時にタグをつけておくことが懸命でしょう。

## 6 KOMplete KONTROL ソフトウェアパフォーマンス パネル

KOMplete KONTROL のもっとも強力な機能のひとつが、専用パフォーマンスパネルです。ここで幅広いスケールと他のパラメーターによる設定を行い、コードとアルペジオ演奏を行います。演奏ノートにハーモニーを設定し、鍵盤一つで効果的にコードを生成することもできます。KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードでパフォーマンスパネルの機能は Light Guide の LED によって視覚的に表示され (詳細はセクション [↑7.7, Light Guide \(ライトガイド\)](#) 参照)、左側にある **PERFORM** セクションでこれらの機能にアクセス、編集することができます ([↑8, KOMplete KONTROL S-SERIES のパフォーマンス機能](#) 参照)。

## 6.1 パフォーマンスパネル概観



パフォーマンスパネルのデフォルトビューで Scale パラメーターを表示しています。

- (1) **パフォーマンスパネルボタン**: 全パラメーターを備えたパフォーマンスパネルを表示、最小化します。Scale または Arp の各機能が起動すると、パフォーマンスパネルボタンが青く点灯します。
- (2) **パフォーマンスパネル**: 全パフォーマンス機能とパラメーターを含んでいます。パフォーマンスメニューで Scale と Arp の各メニューにアクセス、編集します。Scale をクリックすると、スケール用全パラメーターを表示します。Arp をクリックするとアルペジオ用パラメーターが表示されます。

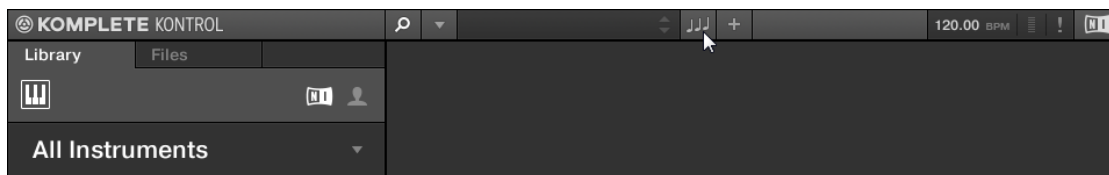


(3) **Scale:** **Scale** スイッチの左のチェックボックスをクリックすることで、スケール用エンジンが有効、無効の状態となります。**Scale** ラベルをクリックするとスケールパラメーターが表示されます。**Scale** と各パラメーターの詳細はセクション [↑ 6.3, スケールエンジン](#) と [↑ 6.4, スケールパラメーター](#) を参照してください。

(4) **Arp:** **Arp** スイッチの左のチェックボックスをクリックすることで、アルペジエーター用エンジンが有効、無効の状態となります。**Arp** ラベルをクリックするとアルペジオ用パラメーターが表示されます。**Arp** と各パラメーターの詳細はセクション [↑ 6.4.5, Chord Type](#) と [↑ 6.6, Arp パラメーター](#) を参照してください。

## パフォーマンスパネルの表示と最小化

- ▶ パフォーマンスパネルを開き、**Scale** と **Arp** パラメーターを表示するには、ヘッダのパフォーマンスパネルボタンをクリックします。

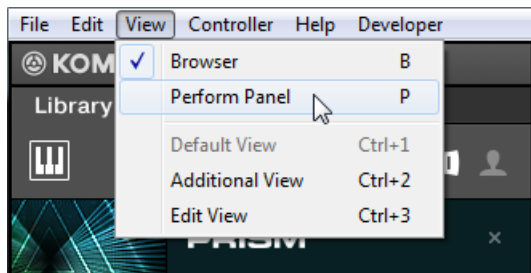


もう一度クリックするとパフォーマンスパネルが最小化します。

- ▶ KOMplete KONTROL メニューでパフォーマンスパネルを表示、非表示するには、下向きの矢印をクリックし、表示されるドロップダウンメニューの **View** サブメニューで *Perform Panel* を選択します。



- アプリケーションメニューバーでパフォーマンスパネルを表示、非表示するには、**View** をクリックし、表示されるドロップダウンメニューで *Perform Panel* を選択します。

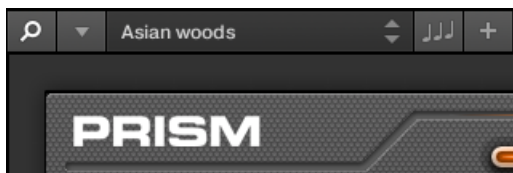


スタンドアロンモードでは、[P] キーを使用して、コンピューターのキーボードからパフォーマンスパネルを表示/非表示することができます。

## パフォーマンスパネルボタンの状態

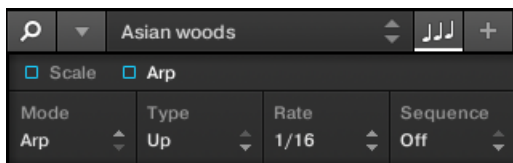
パフォーマンスパネルボタンの 4 つの状態でご各エンジンが有効、無効であるか、あるいはパフォーマンスパネルが開いた状態か、そうでないか確認することができます。

- パフォーマンスパネルが表示されておらず、無効の場合、パネルは灰色表示となります。



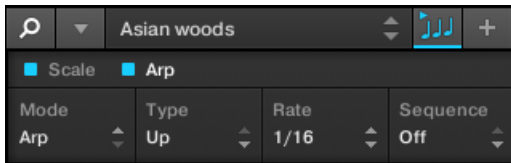
パフォーマンスパネルが開いておらず、無効の状態です。

- パフォーマンスパネルが開いているが無効の場合は、パフォーマンスパネルが白く点灯し、ボタンの下に白いパネルが表示されます。



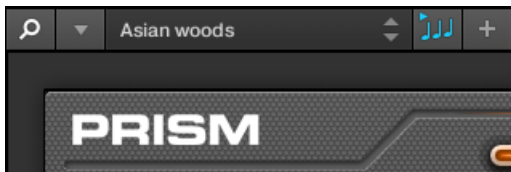
パフォーマンスパネルが開いているが、無効の状態です。

- パフォーマンスパネルが開いておりエンジンのどちらかが起動している場合は、パフォーマンスパネルが青く点灯し、プレイシンボルが表示され、ボタンの下のパネルも青くなります。

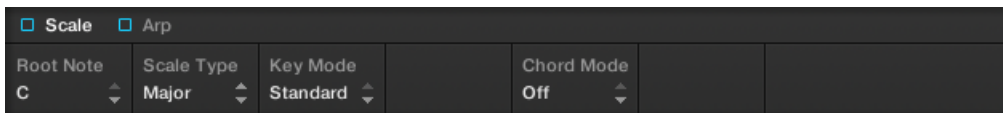


パフォーマンスパネルが開き、Scale と Arp が起動している状態です。

- パフォーマンスパネルが非表示であるが有効な場合は、パフォーマンスパネルボタンが青く点灯します。パネルは表示されません。



パフォーマンスパネルが非表示であるが、どちらか、または両方のエンジンが起動している状態です。

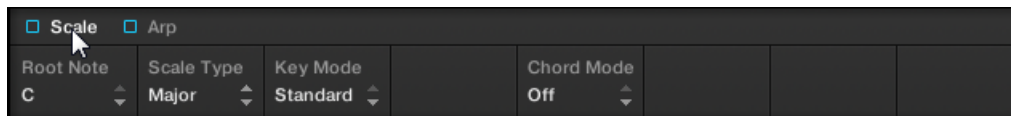


パフォーマンスパネルのデフォルトビューで Scale パラメーターを表示しています。

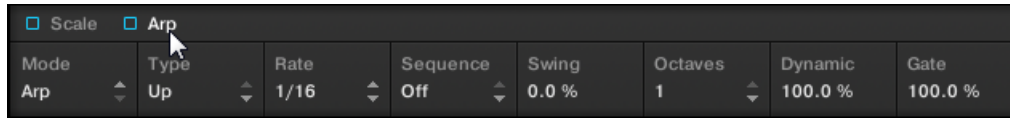
パフォーマンス機能は編集可能で、編集はドロップダウンメニュー、またはクリックアンドドラッグによって行います。

## ページの切り替え

- Scale ページを表示するには、Scale ラベルをクリックします。

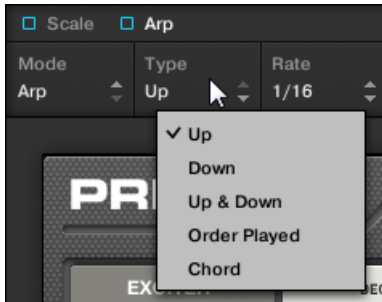


- ▶ **Arp** ページを表示するには、**Arp** ラベルをクリックします。



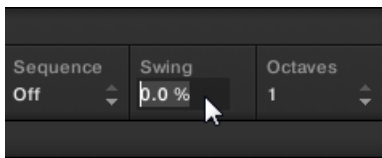
## パラメーター値の設定

- ▶ ドロップダウンメニューパラメーターの値を設定するには、クリックして表示されるメニュー内の値を選択します。



Arp パラメーターで Type を選択しています。

- ▶ ドラッグでコントロールできるパラメーターは、マウスによるクリックドラッグ、または値をダブルクリックしてコンピューターのキーボードで数値を入力します。



Arp パラメーターで Swing 値を設定しています。



編集値を有効にするには、編集するパラメーターがあるエンジンを起動する必要があります (チェックボックスを青の状態にします)。

## 6.2 音楽理論について

KOMLETE KONTROL はスケールとハーモニー用機能を装備しており、KOMLETE インストゥルメントのコード演奏、またはアルペジオ演奏が可能となります。以下ではその内容を解説しています。パフォーマンスモードのより具体的な解説に関しては、[↑ 6.3, スケールエンジン](#) と [↑ 6.4.5, Chord Type](#) を参照してください。

### 6.2.1 スケール

音楽は通常リズムとハーモニーによって構成されます。例外も多くありますが、ここではスケール、コード、アルペジオを理解するための解説を進めます。

全ノートとキーはピッチに対応します。鍵盤で各キーはセミトーンのピッチに対応し、隣り合うキーの音程は半音分異なります (チューニングによっては異なる場合があります)。ハーモニーが濁ることなくメロディーやコードを奏でるには、通常ノートはスケールとして大別された中から演奏します。西洋音楽ではスケールはピアノの 7 つの白鍵盤、5 つの黒鍵盤上で表現され、このまとまりをオクターブと呼びます。オクターブと称される所以は 8 番目 (ラテン語、オクタブス) のキーが連続する 7 つの白鍵盤の後に繰り返され、また同じキーを発音することによるものです。このキーはルートノートと呼びます。スケールは、オクターブとして機能する白、黒鍵盤の特定の組み合わせのことを指します。スケール内のキーのみを演奏することで、「キーが合っている」ということになります。スケールはノートの絶対値によって定義されるものではなく、ピッチの変異の過程での関連性によって定義されるということを強調しておく必要があるでしょう。例えばメジャースケールは「全音-全音-半音-全音-全音-全音-半音」で構成され、鍵盤上下に変調することでルートノートを変更し、この規則にしたがって演奏することでスケールが保たれる、ということになります。

### 6.2.2 コード

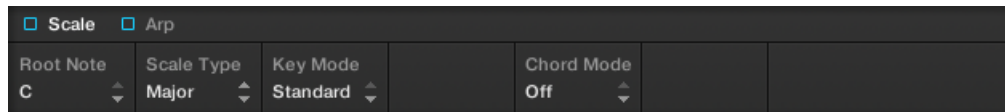
ポリフォニックインストゥルメントで 複数ノートを同時に演奏する、これをコード演奏といいます。では、スケール上の各ノートを複数選択してコードがどのように構成されるか検証してみましょう。ここでは C メジャースケールを使用します。[↑ 6.2.1, スケール](#) で解説したように、メジャースケールは 2 つの全音、その後半音を通過し、3 つの全音を通過した後、半音に到達します。ではこの規則を踏まえれば、ルートノート C を起点に C メジャーコードを演奏するには、C、E、D、のキーを同時に押す、という事になります。この C メジャーコードは、ルートノート (C)、3 度 (E) 5 度 (G) で構成され、3 和音 (メジャートライアド) と呼びます。音楽的ハーモニーを踏まえたこの和音を演奏することで、複数のノートを同時に演奏し、コードとして成り立たせることができます。

## 6.2.3 アルペジオ

上のセクション [↑6.2.2, コード](#) ではコード演奏について解説しました。これらのコードを分離してリズムカルに演奏することをアルペジオ演奏といいます。コードがノートにハーモニーを追加する役割として考えるなら、アルペジオはそのコードに時間とリズムを追加する役割、と考えることができます。3つのノートを同時に押すことでコード演奏する代わりに、この3つのノートを様々な順序と、様々なリズムで演奏します。この方法でモノフォニックインストゥルメントを、コードに基づいて演奏することが可能となります。

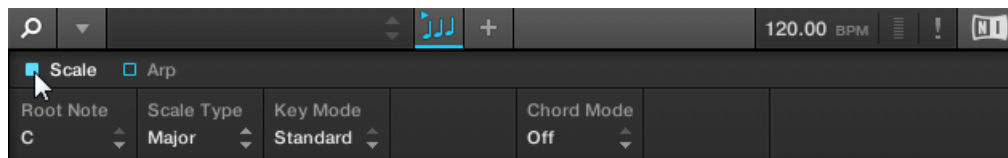
## 6.3 スケールエンジン

KOMPLETE KONTROL は KOMPLETE インストゥルメントを用いて演奏可能なスケールを複数用意しています。この機能でピアノ等のインストゥルメントを演奏ミスなく、例えばマイナーペンタトニックスケールで演奏することができるようになります。Chord Mode で用意されたスケールを用いて、ノートをコード演奏することが可能となります。更にアルペジエーター ([↑6.4.5, Chord Type](#) 参照) を使用することで、KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの一つの鍵盤を押す、または受信した MIDI ノート入力によってスケールを自動演奏することができます。



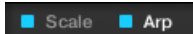
パフォーマンスパネルで Scale パラメーターを表示しています。

- ▶ [Scale](#) エンジン起動するには、青いチェックボックスをクリックします。



Perform Panel でスケールを選択し、[Scale](#) エンジン起動すると、KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードにスケールがマッピングされ、Light Guide もそのスケールを示すようになります。これでキーボードのどの鍵盤を押しても、またはホストアプリケーションを介してどの MIDI ノートが送信されても、ノートが設定したスケールを発音するようになります。

- ▶ **Scale** と **Arp** を同時に使用することでアルペジオコード、またはノートシーケンスを演奏できるようになります。



各 **Scale** パラメーターについては以下で解説しています。

## 6.4 スケールパラメーター

**Scale** パラメーターを使用してスケールとコードを任意に編集することができます。パフォームパネルの **Scale** ページに、設定パラメーターがあるメニューを用意しています。

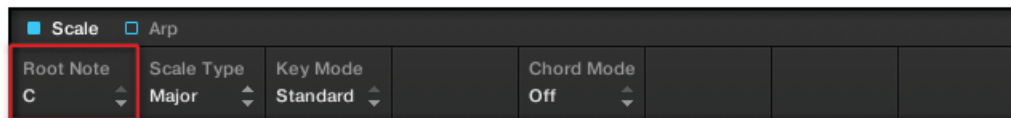
### 各スケールパラメーターの内容

- **Root Note** とスケール起点となるキーの選択方法はセクション ↑ 6.4.1, **Root Note** を参照してください。
- **Scale Type** とキーボードのキーに音楽的スケールをマッピングする方法はセクション ↑ 6.4.2, **Scale Type** を参照してください。
- **Key Mode** と *Easy* モードで白鍵盤のみを演奏する際の設定方法はセクション ↑ 6.4.2, **Scale Type** を参照してください。
- **Chord Mode** と **Chord Type** でコードを生成する方法はセクション ↑ 6.4.3, **Key Mode** と ↑ 6.4.5, **Chord Type** を参照してください。



**Arp** パラメーターに関してはセクション ↑ 6.6, **Arp パラメーター** を参照してください。

### 6.4.1 Root Note



**Scale** パラメーターの **Root Note** です。デフォルト値は **C** です。

**Scale** パラメーターの一番左が **Root Note** となります。スケールのルートノートを設定することでスケールの起点が設定されます。それ以降のスケールノートは、**Scale Type** パラメーターで選択するスケールの種類によって異なります (↑ 6.4.2, **Scale Type** 参照)。例えば **Root Note** を *C* にし、**Scale Type** をデフォルトの *Major* にした場合は、スケールは *C* メジャーとなり、*C*、*D*、*E*、*F*、*G*、*A*、*B* (その後、オクターブ上の *C* が続きます) のノートがマッピングされます。**Root Note** を *G* にすると、*G*、*A*、*B*、*C*、*D*、*E*、*F* (その後、オクターブ上の *G* が続きます) ノートを含んだ *G* メジャースケールとなります。発音されるノート間隔は「全音-全音-半音-全音-全音-全音-半音」となり、これが *Major* スケールの法則として機能します。キーボードで上下にトランスポーズすることで **Root Note** を変化させることもできます。

- KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードは完全点灯した LED で **Root Note** を表示し、その他の有効なキーは全点灯より暗い状態となります。

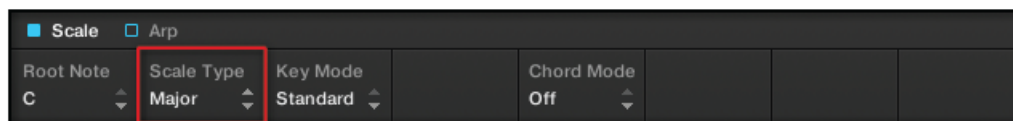


これらの設定を行うにはスケールエンジンを起動しておく必要があります。

**Root Note** メニューには以下の値があります。

- *C*
- *C*♯
- *D*
- *D*♯
- *E*
- *F*
- *F*♯
- *G*
- *G*♯
- *A*
- *A*♯
- *B*

## 6.4.2 Scale Type






Scale パラメーターの Scale Type です。デフォルト値は Major です。

左から 2 番目のパラメーターは Scale Type です。ここを使用して KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードにマッピングされるスケールを選択します (↑ 6.4.1, Root Note 参照)。ホストソフトウェアから MIDI 入力で KOMLETE インストゥルメントを演奏する場合は、MIDI のノートは Scale Type で選択したスケールに基づいて演奏されます。例えば (Root Note を C に設定し、) C-D-D# ノートを含んだ MIDI パターンが演奏された場合、Scale Type が Chromatic であればそのまま演奏されますが、Scale Type が Major となっている場合は C-D-E のノートを演奏します。各スケールのキーマッピング詳細は以下の表を参照してください。

- KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードは選択した Scale Type を LED の点灯で示し、有効ではないキーは無点灯となります。


 これらの設定を行うにはスケールエンジンを起動しておく必要があります。

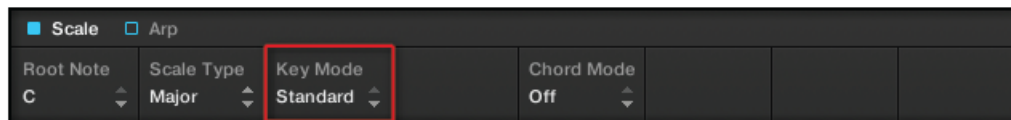
Scale Type メニューには以下の値があります。

Scale Type	オクターブのキー											
全キー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Chromatic												
マッピング内容	R	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
例 Root Note が C の場合	C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A	B
Major												
マッピング内容	R	2	2	3	3	4	5	5	6	6	7	7
例 Root Note が C の場合	C	D	D	E	E	F	G	G	A	A	B	B
Minor												
マッピング内容	R	R	2	b3	b3	4	5	5	b6	b6	b7	b7
例 Root Note が C の場合	C	C	D	Eb	Eb	F	G	G	Ab	Ab	Bb	Bb

Scale Type	オクターブのキー											
Harmonic Minor												
マッピング内容	R	R	2	b3	b3	4	5	5	b6	b6	7	7
例 Root Note が C の場合	C	C	D	Eb	Eb	F	G	G	Ab	Ab	B	B
Major Pentatonic												
マッピング内容	R	R	2	2	3	3	5	5	5	6	6	R
例 Root Note が C の場合	C	C	D	D	E	E	G	G	G	A	A	C
Minor Pentatonic												
マッピング内容	R	R	b3	b3	4	4	4	5	5	b7	b7	R
例 Root Note が C の場合	C	C	Eb	Eb	F	F	F	G	G	Bb	Bb	C
Blues												
マッピング内容	R	R	R	b3	b3	4	#4	5	5	b7	b7	R
例 Root Note が C の場合	C	C	C	Eb	Eb	F	F#	G	G	Bb	Bb	C
Japanese												
マッピング内容	R	2	2	b3	b3	5	5	5	b6	b6	R	R
例 Root Note が C の場合	C	D	D	Eb	Eb	G	G	G	Ab	Ab	C	C
Freygish												
マッピング内容	R	b2	b2	3	3	4	5	5	b6	b6	b7	b7
例 Root Note が C の場合	C	Db	Db	E	E	F	G	G	Ab	Ab	Bb	Bb

Scale Type	オクターブのキー											
Gypsy												
マッピング内容	R	2	2	b3	b3	#4	#4	5	b6	b6	7	7
例 Root Note が C の場合	C	D	D	Eb	Eb	F#	F#	G	Ab	Ab	B	B
Flamenco												
マッピング内容	R	b2	b2	3	3	4	5	5	b6	b6	7	7
例 Root Note が C の場合	C	Db	Db	E	E	F	G	G	Ab	Ab	B	B
Altered												
マッピング内容	R	b2	b2	b3	b4	b5	b5	b6	b6	b7	b7	R
例 Root Note が C の場合	C	Db	Db	Eb	Fb	Gb	Gb	Ab	Ab	Bb	Bb	C
Whole Tone												
マッピング内容	R	R	2	3	3	#4	#4	#5	#5	#6	#6	R
例 Root Note が C の場合	C	C	D	E	E	F#	F#	G#	G#	A#	A#	C
Half-Whole Diminished												
マッピング内容	R	b2	b2	#2	3	#4	#4	5	6	6	b7	b7
例 Root Note が C の場合	C	Db	Db	D#	E	F#	F#	G	A	A	Bb	Bb
Whole-Half Diminished												
マッピング内容	R	R	2	b3	b3	#3	#4	#4	#5	6	7	7
例 Root Note が C の場合	C	C	D	Eb	Eb	E#	F#	F#	G#	A	B	B

## 6.4.3 Key Mode



Scale パラメーターの Key Mode です。デフォルト値は Standard です。

セクション [↑ 6.4.1, Root Note](#) と [↑ 6.4.2, Scale Type](#) では Scale の Key Mode (3 つ目の Scale パラメーターです) について解説します (デフォルト値 *Standard* 時の解説となります)。Standard モードでキーは、セクション [↑ 6.4.2, Scale Type](#) で解説した表のスケール内容通りのノートマッピングが施されます。これは KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードを演奏すると、選択したスケールがキーボードのオクターブ内にマッピングされ、7 つの白鍵盤、5 つの黒鍵盤をそのまま用いることができる、ということになります。マッピングは Light Guide でも示され、どの鍵盤にどのノートがマッピングされているか確認することができます。

Key Mode を *Easy* にすると、(12-ステップの *Chromatic* スケール以外の) ノートが白鍵盤にマッピングされます。これでスケールは全音部にマッピングされるので、白鍵盤のみを使って各スケールを演奏できるようになります。黒鍵盤を演奏しても無効の状態なので他のノートを発音することはありません。

Key Mode で *Easy* を使用する場合、Root Note ([↑ 6.4.1, Root Note](#) 参照) は常に C3 にマッピングされます。選択したスケールが 7 ステップ (クロマチックでは 12 ステップ) の場合、C1 キーに選択した Root Note がマッピングされます。スケールが 7 ステップ以上、または 以下の場合 (選択したスケールのノートの総数等によって)、C1 キーに選択したスケールが含むノートがマッピングされます。

各スケールの *Easy* モードマッピング詳細は以下を確認してください。



Key Mode *Easy* で 12 ステップの *Chromatic* を選択した場合、マッピング内容は *Standard* モードでの内容と同じになります。Chromatic スケールは 12 ノートを全て使用します。

- KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードは選択した Key Mode を LED の点灯で示し、有効ではないキーは無点灯となります。



これらの設定を行うにはスケールエンジンを起動しておく必要があります。

Key Mode メニューには以下の値があります。

- *Standard*

▪ Easy

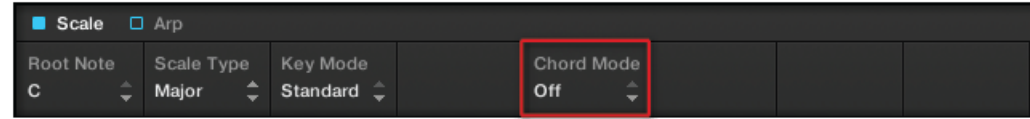
Easy モードで [Scale Types](#) を選択すると、スケールは以下の表のように白鍵盤にマッピングされます。

Scale Type	Key Mode が Easy モードの場合のマッピング							
白鍵盤	C3	D3	E3	F3	G3	A3	B3	
Major								
マッピング内容	R	2	3	4	5	6	7	
例 <a href="#">Root Note</a> が C の場合	C	D	E	F	G	A	B	
Minor								
マッピング内容	R	2	b3	4	5	b6	b7	
例 <a href="#">Root Note</a> が C の場合	C	D	Eb	F	G	Ab	Bb	
Harmonic Minor								
マッピング内容	R	2	b3	4	5	b6	7	
例 <a href="#">Root Note</a> が C の場合	C	D	Eb	F	G	Ab	B	
Major Pentatonic								
マッピング内容	R	2	3	5	6			
例 <a href="#">Root Note</a> が C の場合	C	D	E	G	A			
Minor Pentatonic								
マッピング内容	R	b3	4	5	b7			
例 <a href="#">Root Note</a> が C の場合	C	Eb	F	G	Bb			

Scale Type	Key Mode が Easy モードの場合のマッピング							
Blues								
マッピング内容	R	b3	4	#4	5	b7		
例 Root Note が C の場合	C	Eb	F	F#	G	Bb		
Japanese								
マッピング内容	R	2	b3	5	b6			
例 Root Note が C の場合	C	D	Eb	G	Ab			
Freygish								
マッピング内容	R	b2	3	4	5	b6	b7	
例 Root Note が C の場合	C	Db	E	F	G	Ab	Bb	
Gypsy								
マッピング内容	R	2	b3	#4	5	b6	7	
例 Root Note が C の場合	C	D	Eb	F#	G	Ab	B	
Flamenco								
マッピング内容	R	b2	3	4	5	b6	7	
例 Root Note が C の場合	C	Db	E	F	G	Ab	B	
Altered								
マッピング内容	R	b2	b3	b4	b5	b6	b7	
例 Root Note が C の場合	C	Db	Eb	Fb	Gb	Ab	Bb	

Scale Type	Key Mode が Easy モードの場合のマッピング							
Whole Tone								
マッピング内容	R	2	3	#4	#5	#6		
例 Root Note が C の場合	C	D	E	F#	G#	A#		
Half-Whole Diminished								
マッピング内容	R	b2	#2	3	#4	5	6	b7
例 Root Note が C の場合	C	Db	D#	E	F#	G	A	Bb
Whole-Half Diminished								
マッピング内容	R	2	b3	#3	#4	#5	6	7
例 Root Note が C の場合	C	D	Eb	E#	F#	G#	A	B

6.4.4 Chord Mode



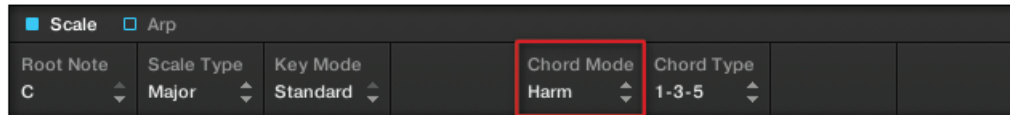
Scale パラメーターの Chord Mode です。デフォルト値は Off です。

非常に便利で表現力の源となる **Scale** 機能のパラメーター、それが **Chord Mode** です。KOMLETE KONTROL S-SERIES またはホストソフトウェアの MIDI 入力ノートを用いて単一ノートによりコードを生成します。**Chord Mode** には無効の状態 (*Off*) と、2 つの有効な状態 (*Harmonizer* と *Chord Set*) があります。

- *Harmonizer* にした場合、選択した **Scale Type** (↑ 6.4.2, **Scale Type** 参照) のノートの間隔を設定、この設定が **Chord Type** メニュー (↑ 6.4.5, **Chord Type** 参照) のコードに反映されます (例、**Chord Type** 値 1-3-5)。
- *Chord Set* にした場合、**Root Note** (↑ 6.4.1, **Root Note** 参照) によって表示されるメジャーまたはマイナーコードを、**Chord Types** (↑ 6.4.5, **Chord Type** 参照) で選択します。

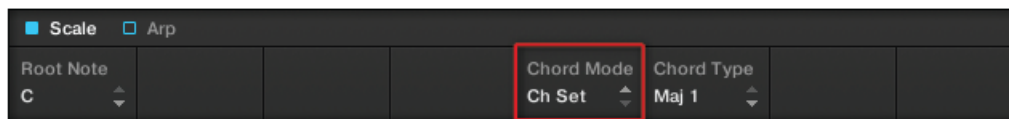
**Chord Mode** で *Off*、*Harmonizer*、*Chord Set* のどれかを選択することで、その他の **Scale** パラメーターが表示、非表示の状態となります。

- *Harmonizer* を選択することで **Chord Type** メニューに選択肢としてノートの間隔が表示され、どのキーを使用してコードを生成するか指定します。



Scale パラメーターの Chord Mode です。デフォルト値は Harmonizer です。

- *Chord Set* を選択することで **Chord Type** でメジャー、マイナーコードのリストが表示されます。  
**Scale Type** と **Key Mode** は非表示となります。



Scale パラメーターの Chord Mode です。デフォルト値は Chord Set です。

- KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードが点灯し、**Chord Mode** と **Chord Type** 設定内容に従って生成されるコードを LED 表示します。有効なキーが点灯し、無効のキーは点灯しません。



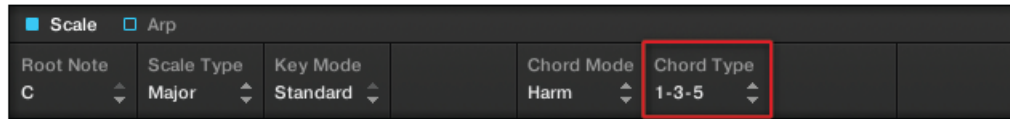
これらの設定を行うにはスケールエンジンを起動しておく必要があります。

以下は **Chord Mode** メニューで選択可能な内容です。

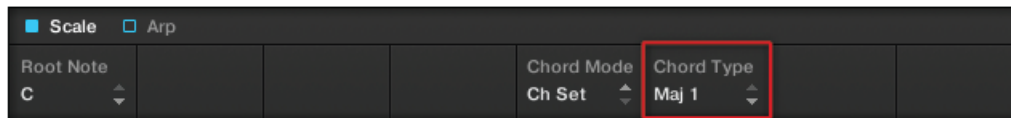
- *Off*
- *Harmonizer*
- *Chord Set*



## 6.4.5 Chord Type



Scale パラメーターの Chord Type です。設定値は 1-3-5 (Chord Mode は Harmonizer の状態です) となっています。



Scale パラメーターの Chord Type です。値は Major 1 (Chord Mode は Chord Set の状態です) となっています。

Chord Type パラメーターで単一ノート入力によって生成されるコードを設定します。例えば [Root Note](#) (↑ 6.4.1, [Root Note](#)) を *C* にし、[Chord Mode](#) (↑ 6.4.3, [Key Mode](#)) を *Chord Set* にすると、Chord Type に選択可能なコードが表示されます。例えば選択肢は *Major 4* や *Minor 7* となり、これらがルートノート *C* を使用した場合メジャー、マイナーコードを生成します。

[Chord Mode](#) を *Harmonizer* にした場合は、Chord Type では選択した [Scale Type](#) (↑ 6.4.2, [Scale Type](#)) による各ノートを表示します。これで *Chromatic* スケール以外の全スケールで、コードを構成するノート間隔を選択することができるようになります。ノート間隔は KOMLETE KONTROL S-SERIES、またはホストソフトウェアから送信された単一の MIDI ノートに適用されます。例えば [Root Note](#) を *C*、[Scale Type](#) を *Minor*、[Chord Mode](#) を *Harmonizer* にし、Chord Type を *1-3-5* にすることで *C* マイナートライアドが生成されます。ここまでの解説が難解であれば、任意の値を設定して KOMLETE KONTROL S-SERIES の Light Guide を確認して、どのキーが有効、無効であるか、どのノートが再生されるか試してみてください。

- KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードが点灯し、Chord Mode と Chord Type 設定内容に従って生成されるコードを LED 表示します。有効なキーが点灯し、無効のキーは点灯しません。



これらの設定を行うにはスケールエンジンを起動しておく必要があります。

Chord Type メニューには以下の値があります。

- Chord Mode を *Harmonizer* にした場合
- Chord Mode を *Chord Set* にした場合
  - *Major 1*
  - *Major 2*
  - *Major 3*
  - *Major 4*
  - *Major 5*
  - *Major 6*
  - *Major 7*
  - *Major 8*
  - *Minor 1*
  - *Minor 2*
  - *Minor 3*
  - *Minor 4*
  - *Minor 5*
  - *Minor 6*
  - *Minor 7*
  - *Minor 8*

Chord Type	演奏ノートに追加されるノート
<i>Octave</i>	オクターブ
<i>1-3</i>	3rd
<i>1-5</i>	5th
<i>1-3-5</i>	3rd と 5th
<i>1-4-5</i>	4th と 5th
<i>1-3-5-7</i>	3rd、5th、7th
<i>1-4-7</i>	4th と 7th

## Chord Type と Chromatic Scale

*Chromatic* スケールはオクターブ内の全セミトーンを含みます。これは全白鍵盤、黒鍵盤をオクターブ全域に渡って 12 ステップの *Chromatic* スケールを演奏している、ということになります。スケール内で全てのセミトーンを使用でき、これらのキーでコードを演奏できます。[Scale Type](#) として *Chromatic* ([↑6.4.2, Scale Type](#)) を選択すると、自由に [Chord Type](#) を選択することが可能となります。以下は生成可能な有効なコードです。

Chord Type	再生ノートに追加されるセミトーン
<i>Octave</i>	12
<i>Perfect 4</i>	5
<i>Perfect 5</i>	7
<i>Major</i>	4 と 7
<i>Minor</i>	3 と 7
<i>Suspended 4</i>	5 と 7
<i>Major 7</i>	4、7、11
<i>Minor 7</i>	3、7、10
<i>Dominant 7</i>	4、7、10
<i>Dominant 9</i>	4、7、10、14
<i>Minor 7 b5</i>	3、6、10
<i>Diminished 7</i>	3、6、9
<i>Augmented</i>	4 と 8
<i>Quartal</i>	5、10、15
<i>Trichord</i>	5 と 11

## 6.5 アルペジエーター

パフォーマンスパネルには柔軟、かつ多彩なアルペジエーターを搭載しており、[Scale](#) パラメーターで設定したスケールとコード内容で KOMPLETE インストゥルメントをリズミカルに演奏します ([↑6.4, スケールパラメーター](#))。アルペジエーター自体の活用も可能で、例えば演奏キーによる途切れることのないアルペジオ演奏

や、複数のオクターブ間を行き来するアルペジオ演奏ができます。アルペジオ演奏では KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボード鍵盤のいずれかを押すか、ホストソフトウェアから MIDI ノートを送信するのみとなります。

<input type="checkbox"/> Scale	<input type="checkbox"/> Arp							
Mode	Type	Rate	Sequence	Swing	Octaves	Dynamic	Gate	
Arp	Up	1/16	Off	0.0 %	1	100.0 %	100.0 %	

パフォーマンスパネルで Arp パラメーターを表示しています。

- ▶ Arp エンジンを開始するには、左の青いチェックボックスをクリックします。

<input type="checkbox"/> Scale	<input checked="" type="checkbox"/> Arp							
Mode	Type	Rate	Sequence	Swing	Octaves	Dynamic	Gate	
Arp	Up	1/16	Off	0.0 %	1	100.0 %	100.0 %	

- ▶ Scale と Arp を同時に使用することでアルペジオコード、またはノートシーケンスを演奏できるようになります。

<input checked="" type="checkbox"/> Scale	<input checked="" type="checkbox"/> Arp
---	---

各 Arp パラメーターについては以下で解説しています。

## 6.6 Arp パラメーター

アルペジエーターには 8 つの異なるパラメーターがあり、ノートシーケンスに多彩な表現力を与えます。例えば、レート、スイング、レンジを設定し、リズムとメロディーを変化させます。

### 有効な Arp パラメーター

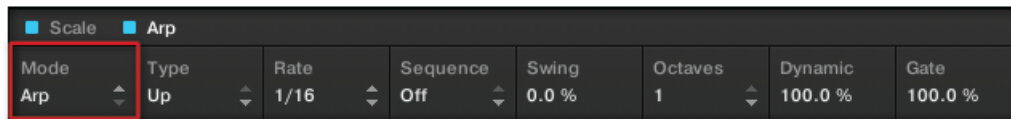
- ▶ **Mode** のノートリピートに関してはセクション [↑ 6.6.1, Mode](#) を参照してください。
- ▶ **Type** と再生方向についてはセクション [↑ 6.6.2, Type](#) を参照してください。
- ▶ **Rate** とアルペジエーターの有効なノート値についてはセクション [↑ 6.6.3, Rate](#) を参照してください。
- ▶ **Sequence** とリズムのバリエーション作成についてはセクション [↑ 6.6.4, Sequence](#) を参照してください。
- ▶ **Swing** とグルーヴの追加についてはセクション [↑ 6.6.5, Swing](#) を参照してください。
- ▶ **Octaves** とアルペジオレンジについてはセクション [↑ 6.6.6, Octaves](#) を参照してください。

- [Dynamic](#) ベロシティのバリエーション作成についてはセクション [↑ 6.6.7, Dynamic](#) を参照してください。
- [Gate](#) とノートレングスの設定についてはセクション [↑ 6.6.8, Gate](#) を参照してください。



Scale パラメーターに関してはセクション [↑ 6.4, スケールパラメーター](#) を参照してください。

## 6.6.1 Mode

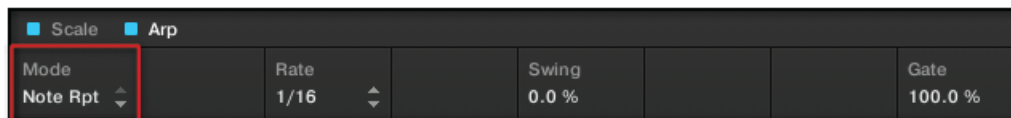


Arp パラメーターの Mode です。デフォルト値は Arp です。

最初の基本となる Arp パラメーターは [Mode](#) で、[Arp](#) または *Note Repeat* を選択します。選択によって、その他の Arp パラメーターが表示、非表示となります。

Arp モードで [Scale](#) エンジンの設定により、ノートのシーケンスを再生します。例えば [Scale Type](#) ( [↑ 6.4.2, Scale Type](#) ) を *Japanese* 、 [Chord Mode](#) ( [↑ 6.4.3, Key Mode](#) ) を *Harmonizer* にすると、*Japanese* スケールでコードを再生します。Arp を起動し、[Mode](#) を Arp にすると、[Scale](#) エンジンによって生成されるコードをアルペジオ演奏します。選択したスケールによるアルペジオ演奏を行うには、KOMLETE KONTROL S-SERIES の鍵盤の一つを押さえるだけとなります。同じようにホストソフトウェアからコードをトリガーしている場合でも、単一の MIDI イベントのみがあれば、アルペジオによるノートシーケンスの演奏が可能で、モノフォニックインストゥルメントへの応用も利くようになります。

- Arp を選択することで全 Arp パラメーターにアクセスすることができます。
- *Note Repeat* を選択することで [Rate](#)、[Swing](#)、[Gate](#) (以下図参照) の Arp パラメーターにアクセスできます。他のパラメーターは非表示となります。



Arp パラメーターの Mode を Note Repeat にした状態です。



これらの設定を行うには Arp エンジンを開始しておく必要があります。

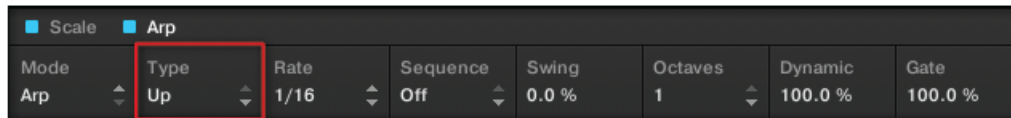
Mode メニューには以下の値があります。

- *Arp*
- *Note Repeat*

## Note Repeat モード

Mode を *Note Repeat* にすることで、アルペジエーターが無効となり、KOMplete Kontrol を *Note Repeat* モードにし、KOMplete Kontrol が MIDI ノートオフメッセージを受信するまでインプットノートを繰り返し再生します。Rate、Swing、Gate (↑ 6.6.3, Rate、↑ 6.6.4, Sequence、↑ 6.6.5, Swing 参照) を使用して *Note Repeat* モード内容を必要に応じて編集してください。

### 6.6.2 Type



Arp パラメーターの Type です。デフォルト値は Up です。

アルペジオの種類を設定するための Type パラメーターは Arp モード使用時のみ有効です。ルートノートを基点にコードがどのように演奏されるか設定します。Order Played を選択すると、KOMplete Kontrol S-SERIES キーボードで鍵盤に触れた順番でアルペジオ演奏されます。ホストソフトウェアで Type パラメーターをオートメーションすることでアルペジオ演奏に変化をつけることができます。



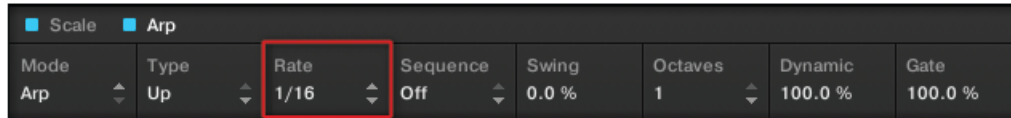
これらの設定を行うには Arp エンジンを開始しておく必要があります。

Type メニューには以下の値があります。

- *Up*
- *Down*
- *Up & Down*
- *Order Played*

- *Chord*

## 6.6.3 Rate



Arp パラメーターの Rate です。デフォルト値は 1/16 です。

**Rate** パラメーターは *Arp* と *Note Repeat* モードの両方で使用できます。グローバルテンポを元に **Arp** エンジン内で音符単位によるテンポを設定(設定値幅は 1/1 から 1/128 までです)します。(1/1 と 1/128 以外の) 全ノート値には通常音符、付点音符、三連符があります。付点音符は通常の音符より 1.5 倍の長さとなります。三連符は通常ノートの 2/3 の長さとなります。



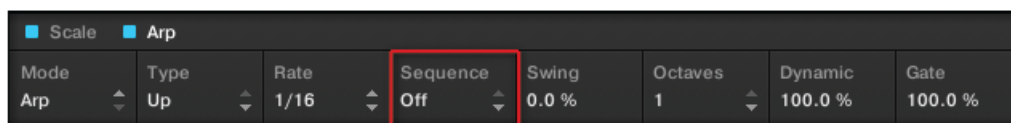
これらの設定を行うには Arp エンジンを起動しておく必要があります。

**Rate** メニューには以下の値があります。

- 1/1
- 1/2 Dotted
- 1/1 Triplet
- 1/2
- 1/4 Dotted
- 1/2 Triplet
- 1/4
- 1/8 Dotted
- 1/4 Triplet
- 1/8
- 1/16 Dotted
- 1/8 Triplet
- 1/16
- 1/32 Dotted
- 1/16 Triplet
- 1/32

- 1/64 Dotted
- 1/32 Triplet
- 1/64
- 1/128 Dotted
- 1/64 Triplet
- 1/128

## 6.6.4 Sequence



Arp パラメーターの Sequence です。デフォルト値は Off です。

Sequence パラメーターでアルペジオノートのリズムを設定します。選択肢は 8 つです。Sequence 使用時に Rate パラメーター (↑ 6.6.3, Rate 参照) を編集することで異なるテンポによるリズムのバリエーションを生成することが可能となります。Rate を通常値、または付点音符による値にすると、Sequence は 16 ステップのノートシーケンスを生成します。Rate を三連符による値にすると、Sequence は 12 ステップのノートシーケンスを生成します。

再生中にシーケンスリズムを変更することも可能です。例えばシーケンス 1 を使用中にシーケンス 2 を選択すると、MIDI ノートの 4 番目以降がシーケンス 2 の内容に切り替わります。



これらの設定を行うには Arp エンジンを起動しておく必要があります。

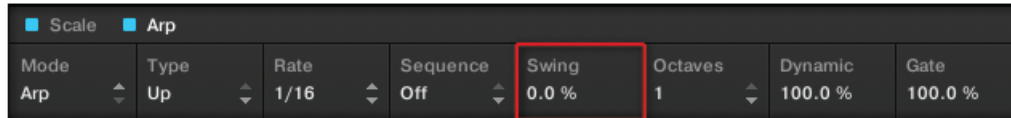
Sequence メニューには以下の値があります。

- Off
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7



▪ 8

## 6.6.5 Swing



Arp パラメーターの Swing です。デフォルト値は 0.0% です。

ノートシーケンスに [Swing](#) を加えることでより自然な「ノリ」を与えることができます。[Swing](#) を追加することでシーケンス上の各二番目のノートの再生位置が絶妙にずれます。これで音楽にグルーブを追加することができます。

[Swing](#) はドラッグコントロールで、設定値は 0% から 100% までです。

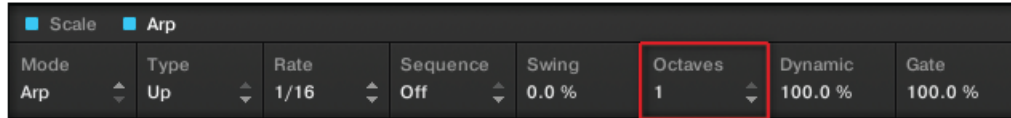
- ▶ 値を 0% にするとスイング効果は得られません。
- ▶ 値を 50% にすると、ホストシーケンサーで設定しているテンポグリッドのノート半分の位置にノートが移動します。
- ▶ 値を 100% にすると、ホストシーケンサーで設定しているテンポグリッド分ノートが移動します。

[Swing](#) 設定時に [Gate](#) パラメーターを設定することで ([↑ 6.6.8, Gate](#) 参照) グルーヴにバリエーションをつけることが可能となります。例えば [Gate](#) を 100% にすると、KOMplete KONTROL が各ノートを発音する前に MIDI ノートオフメッセージを送信し、シーケンスをレガート再生します。[Gate](#) 値が 100% を前後する場合は、[Swing](#) 値が適用された後にノートサイズが変化します。



これらの設定を行うには Arp エンジン起動しておく必要があります。

## 6.6.6 Octaves



Arp パラメーターの Octaves です。デフォルト値は 1 です。

**Octaves** パラメーターでアルペジオシーケンスのオクターブ幅を設定します。KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードでシーケンスの再生範囲となるオクターブを選択することができ、また、最高 8 オクターブ分までの再生幅を設定、コードやスケールの演奏域が行き届く範囲を設定します

**Type** パラメーター ( ↑ 6.6.2, **Type**) の設定内容によって、再生オクターブ範囲は押した鍵盤以上のオクターブ域 (*Up*) または以下 (*Down*) となります。

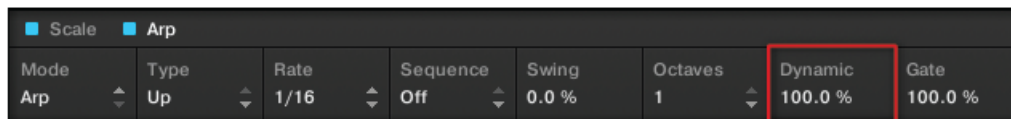


これらの設定を行うには Arp エンジンを開始しておく必要があります。

**Octaves** メニューには以下の値があります。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8

## 6.6.7 Dynamic



Arp パラメーターの Dynamic です。デフォルト値は 100.0% です。

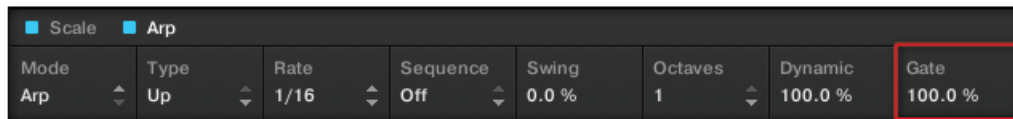
Dynamic 機能はインプットベロシティー設定機能で、例えば KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードを押す、またはホストソフトウェアの MIDI 入力ノート値を Dynamic パラメーターで編集します。各ノートに対して値を適用できます。各ノートのベロシティー値は Dynamic パラメーター値での設定によって変化します。



これらの設定を行うには Arp エンジンを開始しておく必要があります。

Dynamic はドラッグコントロールで、設定値は 1.0% から 200.0% までです。

## 6.6.8 Gate



Arp パラメーターの Gate です。デフォルト値は 100.0% です。

Gate パラメーターでシーケンスのノートレングスを設定します。1% から 99% まで値を変更することでノートの長さが短くなります。101% から 200% まで値を変更することでノートの長さが長くなります。



これらの設定を行うには Arp エンジンを開始しておく必要があります。

## 7 KOMplete KONTROL S-SERIES キーボード

KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードは KOMplete KONTROL 専用ハードウェアです。ソフトウェアと密接に連動し、KOMplete インストゥルメントのブラウズ、コントロール、演奏することができ、ホストアプリケーションのコントロールも可能です。

KOMplete KONTROL S-SERIES には S25、S49、S61 の各タイプがあり、その全ては高品質を誇るセミウェイトアフタータッチ付き Fatar キーボードを採用しています。鍵盤の総数以外、KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードの各機能は同一仕様となっています。



この資料の以下のセクションは KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードを使用する場合の解説内容となっています。KOMplete KONTROL ソフトウェアに関しては [↑ 4, KOMplete KONTROL ソフトウェア概要](#)、[↑ 5, KOMplete KONTROL ソフトウェアブラウザ](#)、[↑ 6, KOMplete KONTROL ソフトウェアパフォーマンスパネル](#)を参照してください。

### 7.1 キーボード概観

ハードウェアコントローラーは以下のセクションを装備しています。



KOMPLETE KONTROL S-SERIES の S25 です。

(1) **PERFORM セクション**: ここでスケール、コード、アルペジオ演奏による強力なパフォーマンス機能を編集、コントロールします。**PERFORM** セクションで設定した内容はコントロールセクション(5)に表示され、Light Guide とキーベッド (7) に反映されます。セクション ↑ 8, [KOMPLETE KONTROL S-SERIES のパフォーマンス機能](#) で詳細を確認してください。

(2) **TRANSPORT セクション**: KOMPLETE KONTROL をプラグインで使用している場合、ここでホストアプリケーションをコントロールします。ホストコントロール機能の詳細は ↑ 7.3, [ホストコントロールとトランスポートセクション](#) を参照してください。

(3) **TRANPOSE ボタン**: **OCT-** と **OCT+** ボタンでキーボードのオクターブを変更します。KOMPLETE KONTROL S25 を使用する際、特に便利な機能となります。

(4) **タッチストリップ**: ピッチストリップとモジュレーションストリップがロードした KOMPLETE インストゥルメントに対応して自動的にアサインされます。タッチストリップに関してはセクション ↑ 7.6, [タッチストリップ](#) を参照してください。

(5) **コントロールセクション**: KOMPLETE KONTROL S-SERIES の中央にあるページボタン、ノブ、ディスプレイにロードした KOMPLETE インストゥルメントの各コントロール部が自動的にアサインされます。ページボタンでノブアサインの次のページに移動、これでキーボードで全インストゥルメントパラメーターをコントロールすることができます。ノブとディスプレイは **PERFORM** セクションの **SCALE** と **ARP** パラメーターをコントロールする場合にも使用します。コントロールセクションと自動パラメーターアサイン (Native Map) に関してはセクション [↑7.5, コントロールセクション](#) を参照してください。**PERFORM** セクションに関しては [↑8, KOMPLETE KONTROL S-SERIES のパフォーマンス機能](#) を参照してください。

(6) **NAVIGATE セクション**: スクリーン画面を表示し、KOMPLETE インストゥルメントをブラウズ、ロードします。**BROWSE** ボタンでインストゥルメントプリセットを絞り込み検索、スクロールし、**INSTANCE** ボタンで各モードに切り替えます。スクリーン画面を用いて KOMPLETE ライブラリを閲覧する方法はセクション [↑7.4, ブラウズとナビゲートセクション](#) を参照、ホストをコントロールする NAVIGATE 矢印に関してはセクション [↑7.3.2, 自動トラックフォーカスとナビゲートセクション](#) を参照してください。

(7) **Light Guide とキーベッド**: **PERFORM** セクションでの設定内容を LED によって表示する部分です。Light Guide は KOMPLETE インストゥルメントの設定内容も表示し、例えば BATTERY または KONTAKT マッピングを確認する際に便利です。

## 更に

- KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの接続方法に関しては、ハードディスクのソフトウェアインストールフォルダ内の資料、セットアップガイドを参照してください。
- KOMPLETE KONTROL S-SERIES と KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの連動に関してはセクション [↑2, 基本コンセプト](#) を参照してください。
- オーディオと MIDI の設定に関しては [↑2.6, オーディオと MIDI の設定](#) を参照してください。
- KOMPLETE KONTROL と KOMPLETE KONTROL S-SERIES の基本機能の使用方法に関しては [↑3, クイックスタート](#) を参照してください。
- MIDI モードと KOMPLETE KONTROL S-SERIES ホストコントロール機能に関しては [↑7.2, MIDI モード](#) と [↑7.3, ホストコントロールとトランスポートセクション](#) を参照してください。

## 7.2 MIDI モード

KOMPLETE KONTROL ソフトウェアを起動せずに KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードを起動すると、MIDI モードとして起動します。MIDI モードで、キーボードは高品質多機能 MIDI コントローラーとして機能し、例えばホストアプリケーションのコントロールや、外部 MIDI 機器を演奏することができるようになります。



KOMplete KONTROL S-SERIES が MIDI モードの状態となっています。

MIDI モードと Controller Editor ソフトウェアに関しては [Error! Reference source not found.](#)を参照してください。

## 7.2.1 コントローラーモードの切り替え

KOMplete KONTROL S-SERIES の [NAVIGATE](#) セクションにある [INSTANCE](#) ボタンでコントローラーモードを切り替えます。

## プラグイン

KOMplete KONTROL をプラグインとして使用している場合の KOMplete KONTROL モードと MIDI モードの切り替え方法は以下となります。

- ▶ KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードで [SHIFT](#) + [INSTANCE](#) を押します。

## スタンドアローン

スタンドアローン時に KOMplete KONTROL モードと MIDI モードを切り替える方法は以下となります。



スクリーン画面を介して MIDI モードに切り替える方法は、スタンドアローンモードの場合のみ可能です。

## 7.2.2 MIDI モードによるホストコントロール

ホストアプリケーションによって MIDI モードがホストコントロールに大きく貢献します。ホストでトラックを選択すると、KOMplete KONTROL の有無によって自動的に KOMplete KONTROL S-SERIES が KOMplete KONTROL モード、または MIDI モードに切り替わります。ホストコントロールの詳細は以下の [↑7.3, ホストコントロールとトランスポートセクション](#)を参照してください。自動トラックフォーカスに進むのであれば、[↑7.3.2, 自動トラックフォーカスとナビゲートセクション](#)を参照してください。

## 7.3 ホストコントロールとトランスポートセクション

スタジオセットアップで KOMLETE KONTROL S-SERIES をメイン機材として使用する場合、KOMLETE KONTROL での KOMLETE インストゥルメントの使用だけでなく、KOMLETE KONTROL をプラグインとして起動しているホストアプリケーションをコントロールすることで利便性が向上するでしょう。これにより直接ホストアプリケーションをコントロールすることで、トラックの選択や録音準備実際の録音、クリップの再生等が可能となります。

複数のトラックにプラグインとして KOMLETE KONTROL をロードしている場合、またはオーディオまたは他の MIDI 機材を使用している場合、KOMLETE KONTROL S-SERIES はフォーカスするトラックによって自動的に MIDI モードと KOMLETE KONTROL モードの切り替えを行います。以下のセクションではこれらについてどのように機能するか解説します。



KOMLETE KONTROL VST、AAX、AU 各プラグインのロード方法は各使用 DAW の資料の関連項目を参照してください。



単一、または複数の KOMLETE KONTROL を含んでいるホストプロジェクトを保存、ロードすることで KOMLETE KONTROL とロードした KOMLETE インストゥルメントの設定内容が再現されます。

### ホストコントロールについて

ホストアプリケーションと GUI の仕様によって、TRANSPORT と NAVIGATE コントロールでホストを制御する際の性質が変わります。KOMLETE KONTROL のホスト連動機能について調べる場合は、以下のナレッジベースを確認してください。

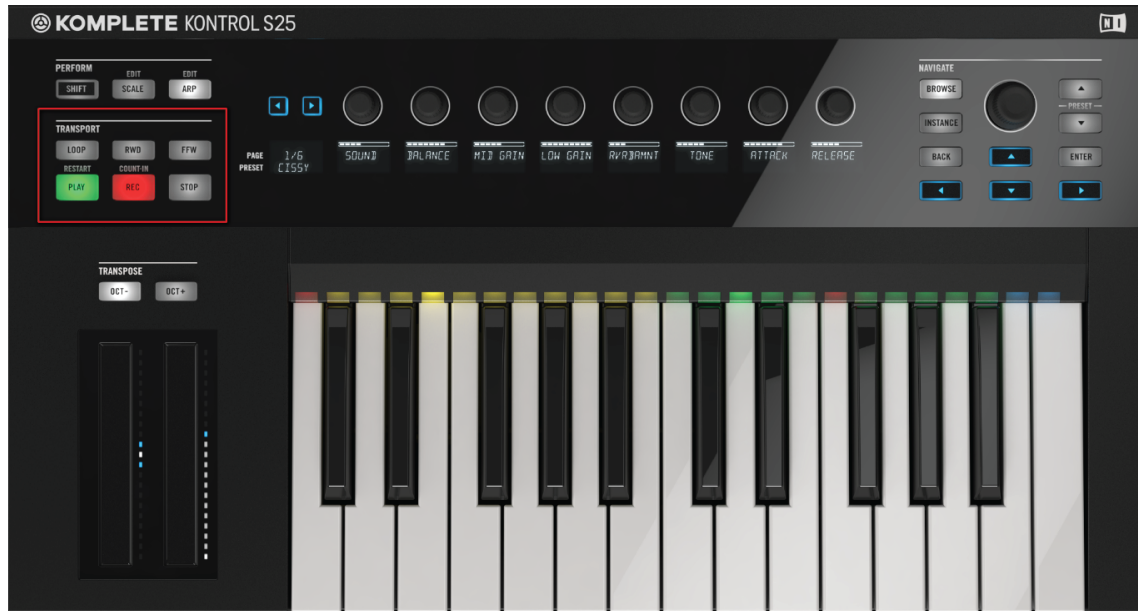
<http://www.native-instruments.com/support/knowledge-base/show/2765/>

ホストアプリケーションとの併用に関しては、以下のナレッジベースを参照してください。

- KOMLETE KONTROL 使用時の Ableton Live の設定  
<http://www.native-instruments.com/support/knowledge-base/show/2643/>
- KOMLETE KONTROL 使用時の Apple Logic の設定  
<http://www.native-instruments.com/support/knowledge-base/show/2787/>
- KOMLETE KONTROL 使用時の Steinberg Cubase / Nuendo の設定  
<http://www.native-instruments.com/support/knowledge-base/show/2785/>



## 7.3.1 トランスポートコントロール



TRANSPORT セクションです。

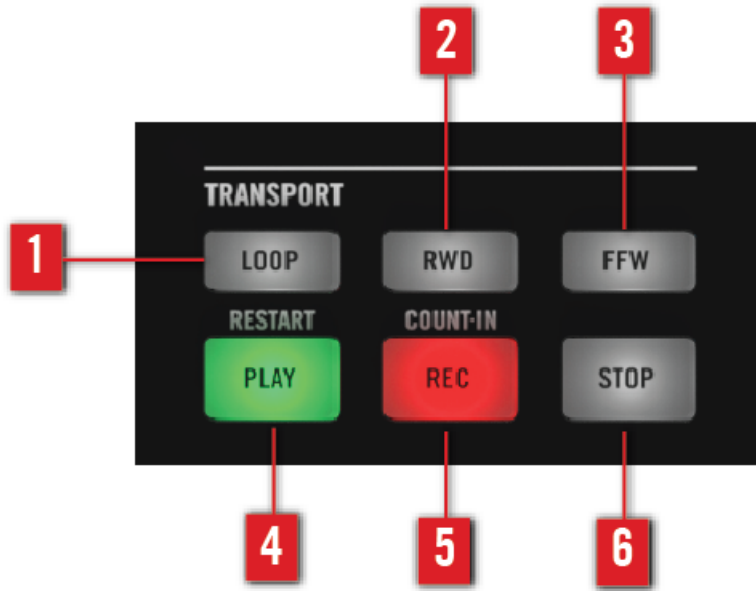
キーボードの左端にある **TRANSPORT** セクション からプラグインとして KOMplete KONTROL を起動しているホストの再生、録音、ループ等を制御します。



KOMplete KONTROL S-SERIES の TRANSPORT コントロール部は完全に機能、KOMplete KONTROL をロードしていない状態でも機能します。



DAW によって TRANSPORT コントロールの機能が異なります。ホストアプリケーションごとに解説している該当ナレッジベースを参照してください ([↑ 7.3, ホストコントロールとトランスポートセクション](#)参照)。



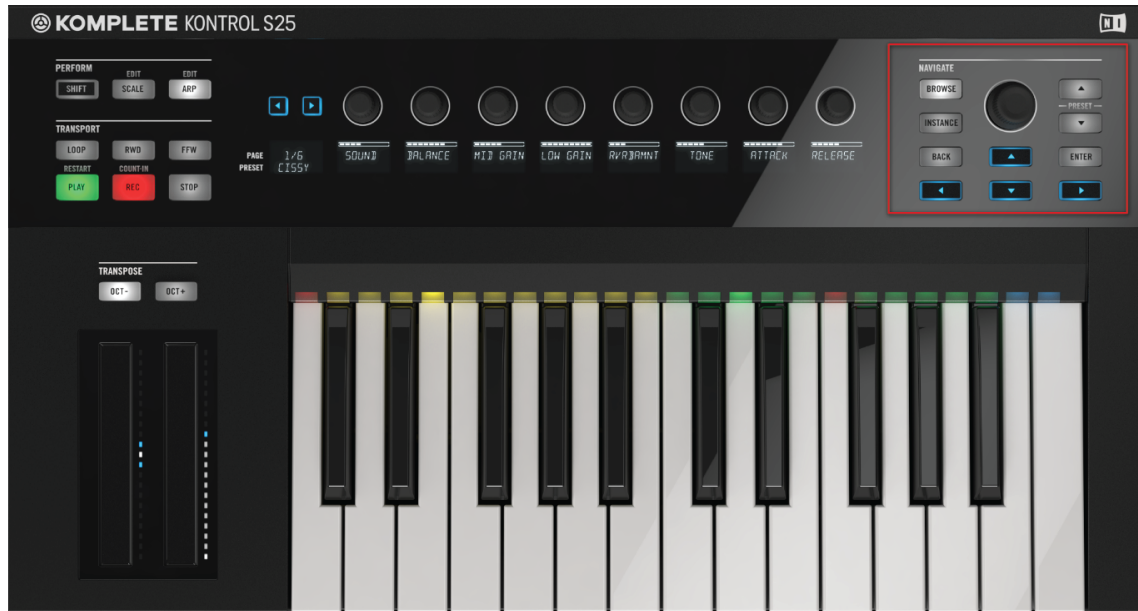
TRANSPORT セクションです。

- (1) **LOOP**: ホストの再生モードを通常再生モードとループモードとで切り替えます。
- (2) **RWD**: ホストアプリケーションの再生ヘッドを巻き戻します。
- (3) **FFW**: ホストアプリケーションの再生ヘッドを早送りします。
- (4) **PLAY**: ホストプロジェクトを再生します。
- (5) **REC**: ホストアプリケーションの録音機能のオンオフです。
- (6) **STOP**: ホストプロジェクトを停止します。



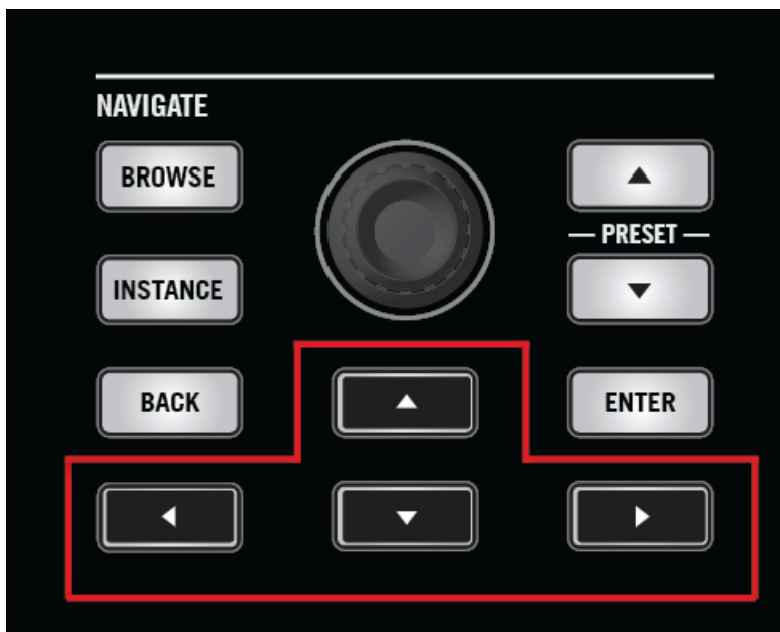
KOMPLETE KONTROL VST、AAX、AU 各プラグインのロード方法は各使用 DAW の資料の関連項目を参照してください。

## 7.3.2 自動トラックフォーカスとナビゲートセクション



NAVIGATE セクションです。

キーボードの右端にある **NAVIGATE** セクション でホストプロジェクト内をナビゲートし、トラックの切り替えや、録音アームをセットします。ナビゲート用矢印ボタンを使用してトラック間を移動します。



KOMplete KONTROL S-SERIES の NAVIGATE セクションの矢印ボタンがハイライト表示されています。



KOMplete KONTROL VST、AAX、AU 各プラグインのロード方法は各使用 DAW の資料の関連項目を参照してください。



プラグイン形式が異なる KOMplete KONTROL を複数ロードしている場合、自動トラックフォーカス機能がうまく動作しない場合があります。ホストプロジェクトやセッション内で使用するプラグイン形式を統一しておくことを推奨します。



複数のホストを同時使用する場合、自動トラックフォーカス機能は機能しません。

## トラックの選択

ホストアプリケーションでは殆どの場合複数のトラックを使用するはずですので、使用トラックの切り替えが可能であることが重要です。キーボードを使用して簡単に異なるトラックを選択できるので、マウスを使用する必要がなくなります。特定のトラックを KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードで使用するには、まずトラックを選択する必要があります。選択にはキーボードの右端にある **NAVIGATE** セクションの矢印ボタンを使用します。

- ▶ ホストアプリケーションでトラックを選択し、キーボードで使用できる状態にするには、**NAVIGATE** の上下ボタンを使用し、任意のトラックを指定します。
- これで KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードで選択したトラックを制御できるようになります。

## トラックのフォーカス

KOMLETE KONTROL S-SERIES はホストアプリケーションで選択するトラック内容によって、MIDI と KOMLETE KONTROL モードに切り替わります。

単一、または複数の KOMLETE KONTROL をプラグインとしてホストアプリケーションのインストゥルメントトラックにロードしている場合、これらのトラックを選択すると KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードは自動的に KOMLETE KONTROL モードになります。ノブとディスプレイ、タッチストリップにマッピングが施され、インストゥルメントの設定内容に応じて Light Guide の LED が点灯します。



プラグイン形式が異なる KOMLETE KONTROL を複数ロードしている場合、自動トラックフォーカス機能がうまく動作しない場合があります。ホストプロジェクト内で使用するプラグイン形式を統一しておくことを推奨します。

オーディオトラックや外部 MIDI 機器用トラックを選択すると、KOMLETE KONTROL は MIDI モードとなり、ホストをコントロールする際にキーボードを使用できる状態となります。ディスプレイでは MIDI CC ナンバーを表示し、KOMLETE KONTROL S-SERIES のノブとタッチストリップに MIDI ラーン機能、または Controller Editor ソフトウェアを介して各機能のアサインを行うことができますようになります。



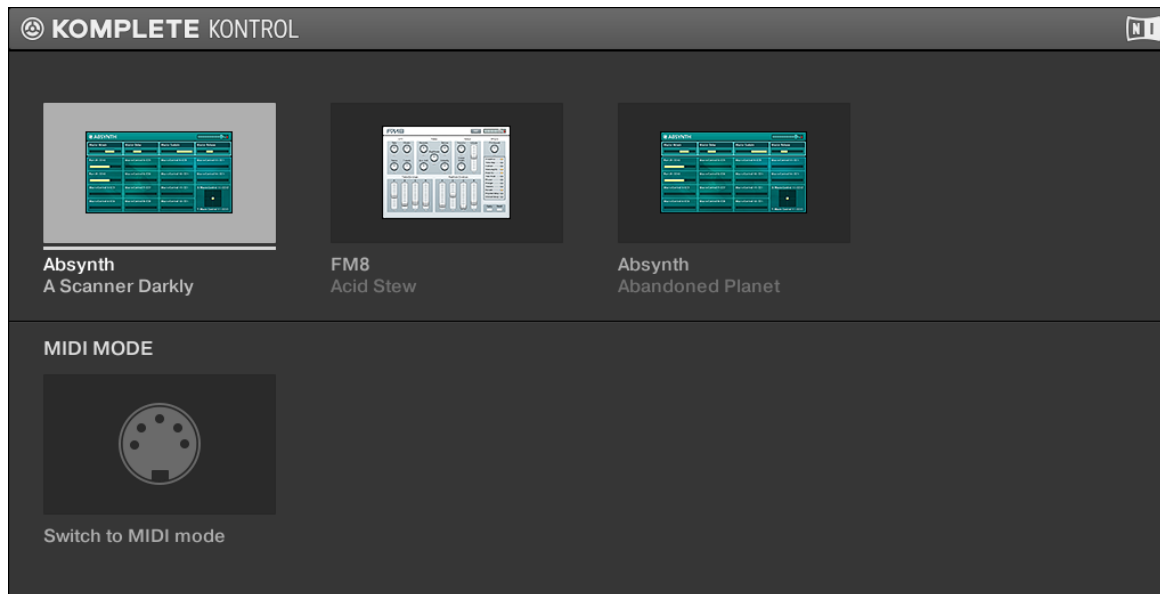
MIDI によるアサインのコントロール詳細を確認するには、ハードディスク内のソフトウェアインストールフォルダ内の Controller Editor の資料を参照してください。

### 7.3.3 KOMLETE KONTROL インスタンスの切り替え



**INSTANCE** ボタンによる KOMLETE KONTROL インスタンスの切り替えは、この機能をサポートしているホストアプリケーションのみで実行できます (<http://www.native-instruments.com/support/knowledge-base/show/2765>)を参照してください。

**NAVIGATE** セクションでは Navigate 矢印ボタンによるトラックの切り替えだけではなく、KOMLETE KONTROL S-SERIES の **INSTANCE** ボタンを押すことで専用画面を表示することも可能です。これでセッション内の KOMLETE KONTROL にロードしてある全インスタンスを把握することができます。**NAVIGATE** セクションの中心にあるコントロールエンコーダーを使用して、フォーカスするインスタンスを選択します。



スクリーン画面です。

## ホスト内のインスタンスを選択する

スクリーン画面を使用してロードした KOMplete KONTROL インスタンスを選択、表示する方法は以下となります。

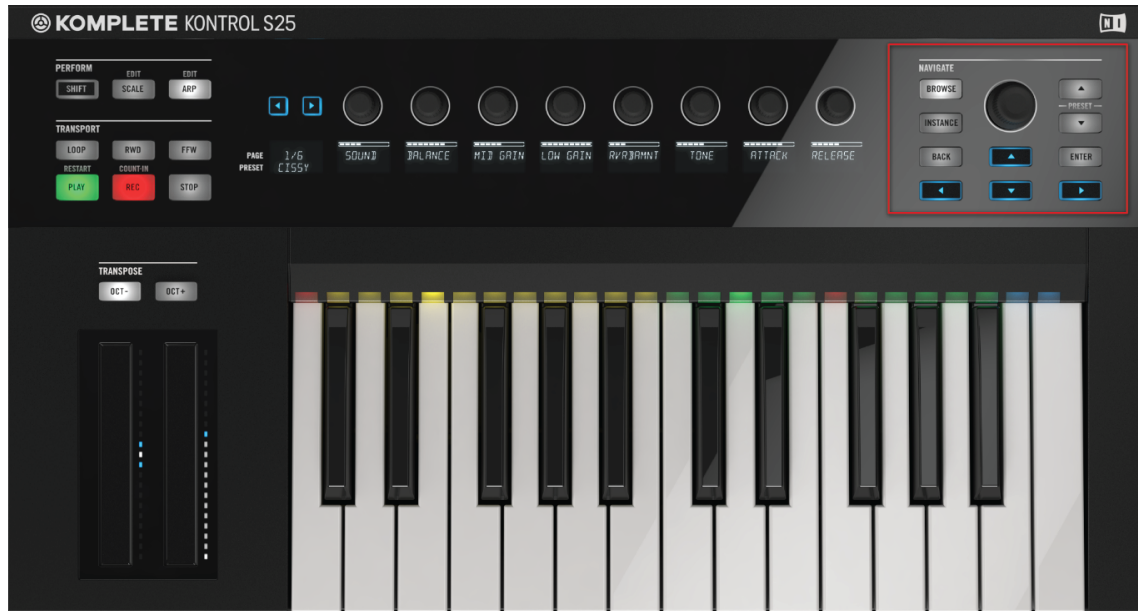
1. ホストアプリケーションで KOMplete KONTROL のロードしたインスタンスを表示するには、**INSTANCE** ボタンを押します。
2. コンピューター画面に専用スクリーン画面が表示されます。表示するインスタンスをスクロールするには、**NAVIGATE** セクション中央にあるコントロールエンコーダーを回します。
3. インスタンスを選択するにはコントロールエンコーダーを押します。すると、スクリーン画面が閉じます。

→ KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードは選択したインスタンス用に機能し、選択したインスタンスにロードしてある KOMplete インストゥルメントに対応してノブとディスプレイに自動アサインが施されます。



**INSTANCE** ボタンとスクリーン画面による KOMplete KONTROL インスタンスの切り替えは、自動トラックフォーカス機能がないホストアプリケーション上で使用可能な機能です。これらのホストは選択した KOMplete KONTROL インスタンスに自動的に入力 MIDI シグナルを再ルーティングしないホストの事を指します。KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードで KOMplete インストゥルメントを演奏可能な状態にするには、ホストアプリケーション上の選択した KOMplete KONTROL インスタンスがあるトラックの録音準備機能を手動で設定する必要があります。

## 7.4 ブラウズとナビゲートセクション



NAVIGATE セクションです。

KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードで高性能なブラウザを直接コントロールすることができます。コントロールパネルの右側に **NAVIGATE** セクションがあり、ここでインストールしてある KOMPLETE ライブラリにあるプリセットをブラウズ、選択、ロードするための操作を行います。**BROWSE** ボタンを押すとコンピューター画面に専用スクリーン画面が表示され、ライブ演奏中でも快適にブラウザを使用することが可能となります。このスクリーン画面については以下で解説しています。



## ナビゲートセクションのコントロール部



NAVIGATE セクションです。

(1) **BROWSE ボタン**: ブラウザ画面を表示し、KOMplete ライブラリのプリセットの検索、絞り込み検索、ロードを行います。詳細はセクション [↑ 7.4.1](#), [BROWSE ボタンとブラウザ](#)を参照してください。

(2) **INSTANCE ボタン**: 専用画面が表示され、ここで KOMplete KONTROL インスタンスとコントローラーモードを切り替えます。詳細は [↑ 7.2.1](#), [コントローラーモードの切り替え](#)と [↑ 7.3.3](#), [KOMplete KONTROL インスタンスの切り替え](#)を参照してください。

- (3) **コントロールエンコーダー**: ここでブラウザのインストールメントプリセット検索結果をスクロールして選択、**TYPES** と **MODES** フィルターで検索結果を絞り込むこともできます。
- (4) **PRESET ボタン**: 検索結果の次のインストールメントプリセットに移動します。
- (5) **BACK ボタン**: ブラウザ階層内のひとつ前のステップに移動します。
- (6) **ENTER ボタン**: 画面でフォーカスしているアイテムを選択したり、ブラウザの次の階層に進む際に使用します。
- (7) **Navigate 矢印**: ブラウザ内の別セクションに移動する際に使用します。この矢印ボタンは [↑ 7.3.2, 自動トラックフォーカスとナビゲートセクション](#) で解説したように、ホストコントロールの際にも使用できます。

## 7.4.1 BROWSE ボタンとブラウザ

**BROWSE** を押すとコンピューター画面に専用ブラウザスクリーンが表示されます。KOMPLETE KONTROL ソフトウェアブラウザと多くの機能を共有しているので素早く使用することが可能です。ソフトウェアブラウザの詳細はセクション [↑ 5, KOMPLETE KONTROL ソフトウェアブラウザ](#) を参照してください。このセクションでは KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの **NAVIGATE** セクションの使用方法和、KOMPLETE ライブラリ内のインストールメントプリセットのブラウズ方法を解説します。



KOMPLETE インストールメントと KOMPLETE KONTROL をフル活用するにはこれらを最新の状態にアップデートしてください。KOMPLETE インストールメントの最新バージョンをダウンロードするには、デスクトップから Service Center アプリケーションを起動してください。

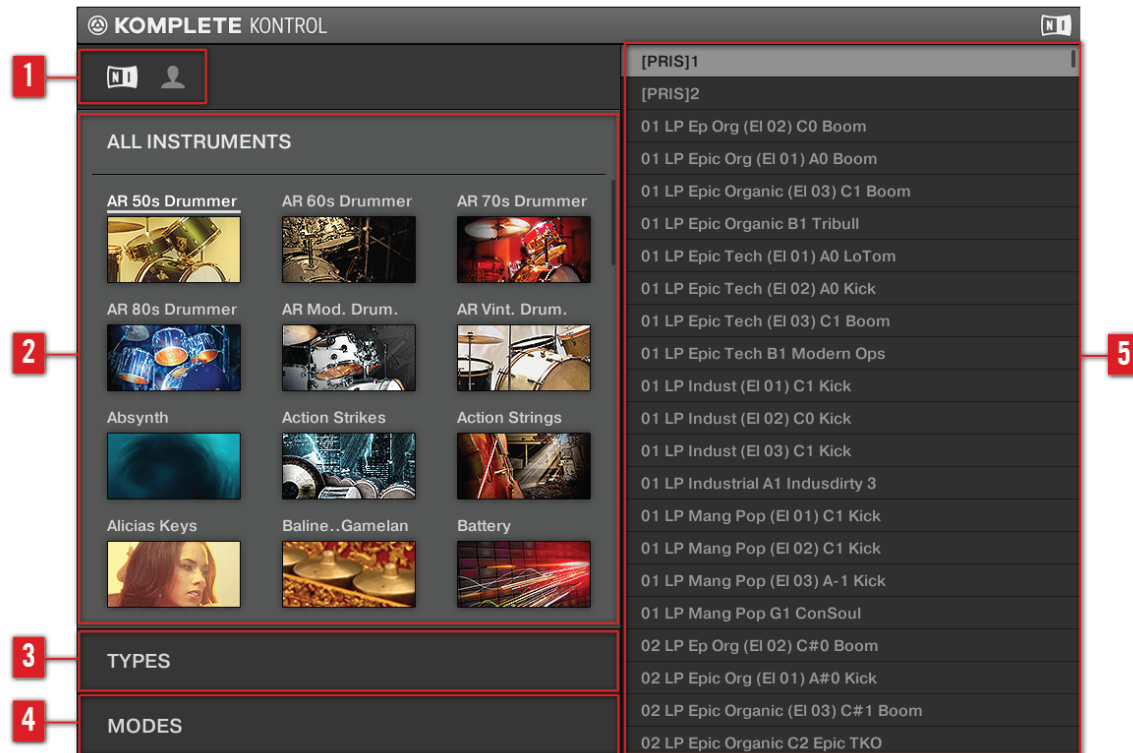
迅速、かつ効率よく正確にファイル検索を行うには、通常のオペレーションシステムのフォルダ構造の上を行くブラウザを駆使する必要があります。例えば、KOMPLETE ライブラリの各ファイルは以下の指標によって分類されます。

- ファイルの**コンテンツタイプ**、プロダクトのファクトリーライブラリ内にあるのか、ユーザーによって作成されたものか、といった内容による分類です。
- ファイルが含まれている**製品** — この分類では特定の製品、製品のバンクによって分類されます。
- 各ファイルの特徴で分類するには**タグ**が用いられ、例えばエフェクトの種類、音声の特徴、使用コンテンツ等でファイルを分類します。

## ブラウザに含まれるファイルの種類

ブラウザに含まれるファイルは、**Preferences** パネルの **Library** ページにリスト表示されるフォルダ内の全 KOMPLETE KONTROL 関連ファイルとなります。ライブラリフォルダ詳細はセクション [↑ 2.5.1, Preferences – Library ページ](#) を確認してください。

## ブラウザ概観



ブラウザの概観です。

- (1) **コンテンツセレクター**: ブラウズするファイルを選択します。NI アイコンを選択してファクトリーコンテンツ、ユーザーアイコンを選択してユーザーコンテンツを検索します。
- (2) **プロダクトセレクター**: ドロップダウンメニューをクリックして特定の製品、状況によっては選択した製品のバンクを選択します。選択した内容に関連するファイルのみがリザルトリスト (5) に表示されます。
- (3) **TYPES フィルター**: Type と Sub-Type タグに関連したファイルを検索します。
- (4) **MODES フィルター**: Mode タグに関連したファイルのみを選択します。
- (5) **リザルトリスト**: リザルトリスト (検索結果リスト) で 上記のツールを用いた検索内容に見合うファイルを表示します。

## ブラウザの検索ワークフロー

スクリーン画面上のブラウザでファイルを検索するには、典型的な検索方法で絞り込み検索を行うことができます。

最初のステップは必ず行う必要があります。

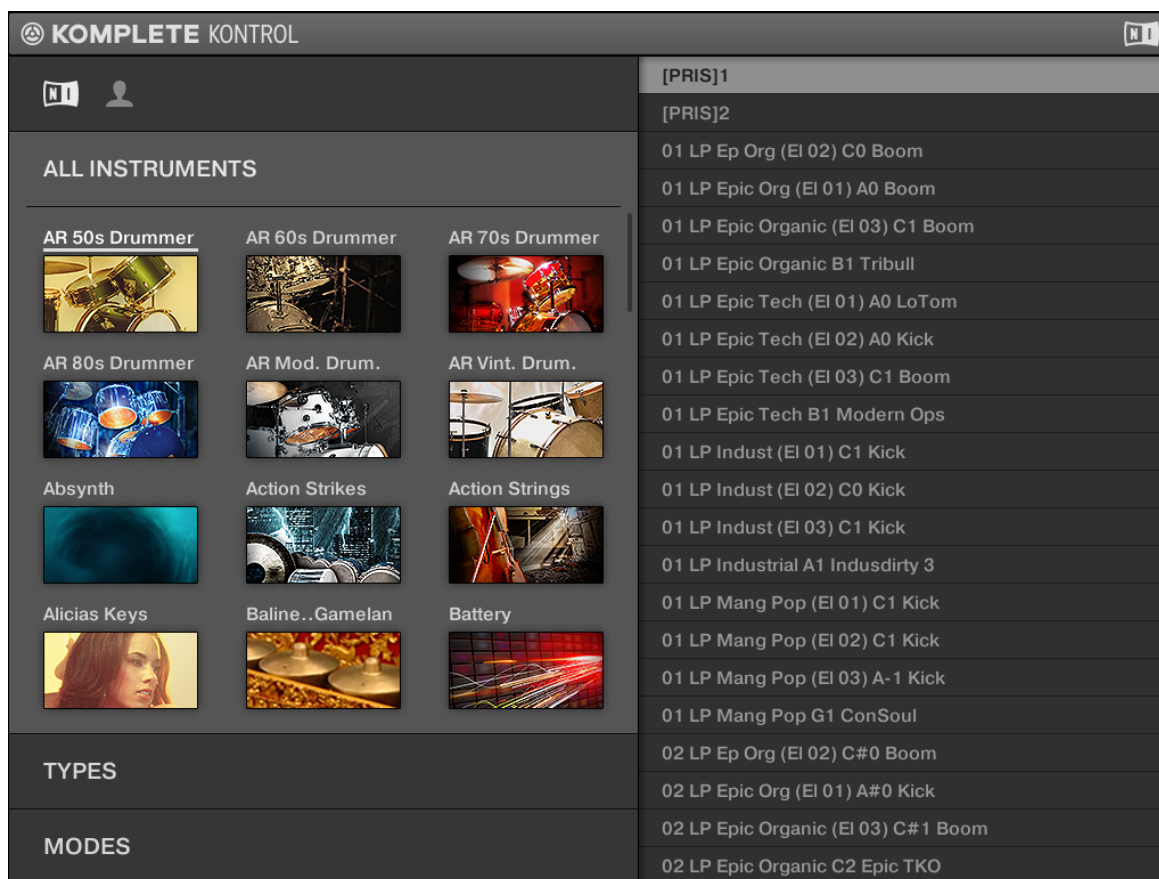
1. コンテンツセクター (1) で Factory または User コンテンツのどちらかを選択します。  
ここからのステップは必要に応じて行ってください。これらの機能を用いて検索結果を絞り込み検索することでファイルの選択を効率よく行うことができます。
1. 製品カテゴリー、または製品を Product セクターで選択します (2)。製品選択後、製品の特定のバンクを指定します。
2. TYPES フィルター (3) と MODES フィルター (4) でタグを選択してください。

上記のステップの詳細は以下のセクションで更に解説しています。

## ブラウザを開く

- ▶ ブラウザを開くには、KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの NAVIGATE セクションにある BROWSE ボタンを押します。

ブラウザの初回起動時にはプロダクトセクターが表示されます。これはブラウザのデフォルト画面で、以下図のような見た目となります。



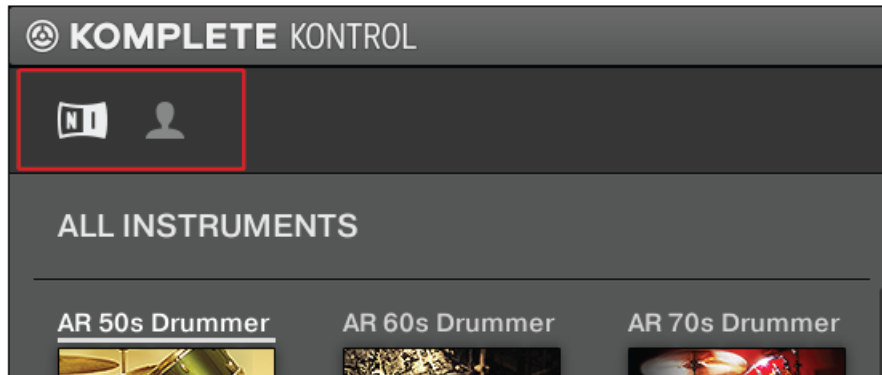
ブラウザのデフォルト画面を表示しています。

左にはインストールしてある KOMPLETE インストゥルメント、右のリザルトリストにはそれらのプリセットが表示されます。リザルトリストでは大量のプリセットが表示されるので、このままの状態ですくろールしてプリセット検索を行うには時間がかかる場合があります。スクリーン画面のブラウザは、KOMPLETE KONTROL ソフトウェア ([↑5.2.4, Type と Mode タグの選択参照](#)) のブラウザと同じようにタグで検索結果を絞り込み検索することができます。以下を読み進んで、プリセットの検索とロードがいかに簡単であるか確認してください。

- ▶ KOMplete インストゥルメント、プリセット、絞り込み検索用フィルターをスクロールするには、コントロールエンコーダーを回します。コントロールエンコーダーを押すことで選択します。
- ▶ ブラウザの他のセクションに切り替えるには、ナビゲート用矢印を押します。

## ファクトリー、ユーザーコンテンツの選択

コンテンツセクターには 2 つのアイコンがあり、左がファクトリーコンテンツ、右がユーザーコンテンツとなります。



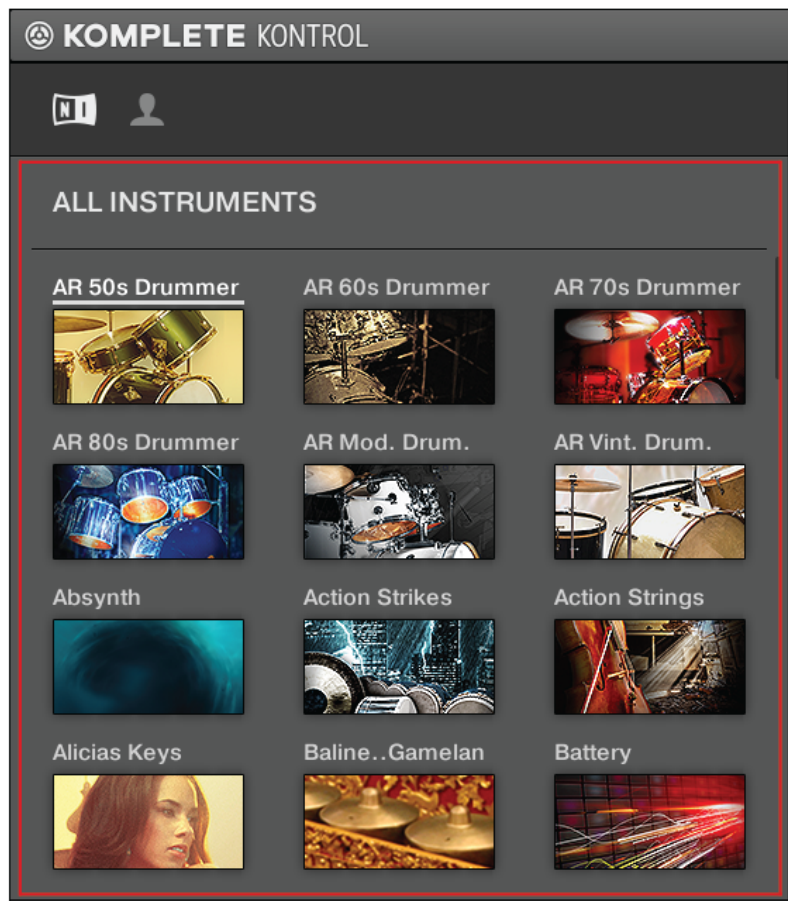
コンテンツセクターです。

- ▶ コントロールエンコーダーを押して NI アイコンを選択し、ファクトリーコンテンツを検索、またはコントロールエンコーダーを回して押すことでユーザーアイコンを選択、ユーザーコンテンツを検索します。

### 7.4.2 プロダクトとバンクの選択

プロダクトセクターで特定の製品、製品の特定バンクを選択し、検索を行います。


デフォルトでは Product セクターには特定のセクションがないので、[All Instruments](#) と表示されます。



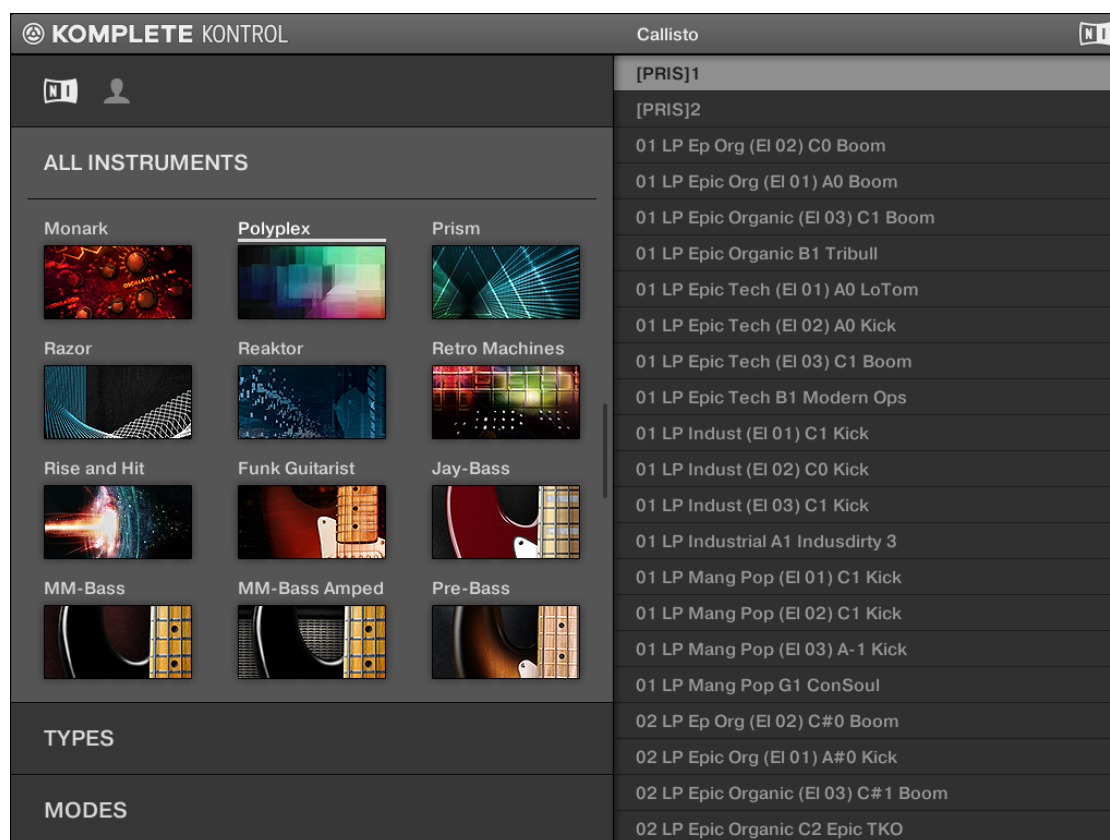
インストールメントを何も選択していない状態プロダクトセクターです。

## プロダクトの選択

- ▶ プロダクトセクターを開いて KOMPLETE インストゥルメントを表示するには、プロダクトがフォーカスされるまでナビゲート用矢印を押します。
- プロダクトセクターが開き、KOMPLETE ライブラリが表示されます。

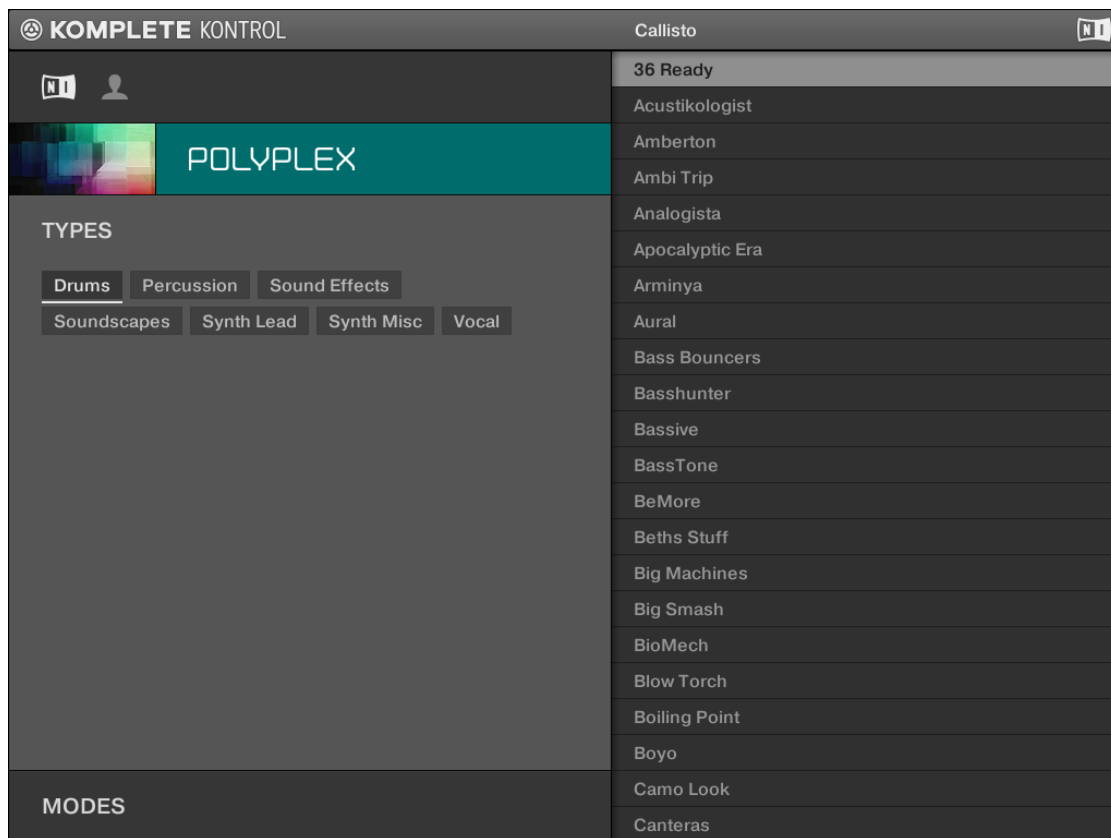
 KOMPLETE ライブラリ内に関連ファイルがある場合、プロダクトセクターに製品が表示されます。特定の Native Instruments インストゥルメントをアップデートしていない状態でコンテンツセクターでファクトリーコンテンツを選択してもプロダクトセクターにプロダクトアイコンが表示されない場合があります。全 Native Instruments プロダクトをアップデートしてこのような事態を回避してください。

- ▶ プロダクトセクターで KOMPLETE インストゥルメントを選択するには、任意のインストゥルメントがフォーカスされるまでコントロールエンコーダーを回してからコントロールエンコーダーを押します。





- プロダクトセクターのヘッダに、選択したインストゥルメントが表示されます。ブラウザの右側のリザルトリスト内容が絞り込まれ、選択したインストゥルメントに関係あるプリセットのみが表示されます。



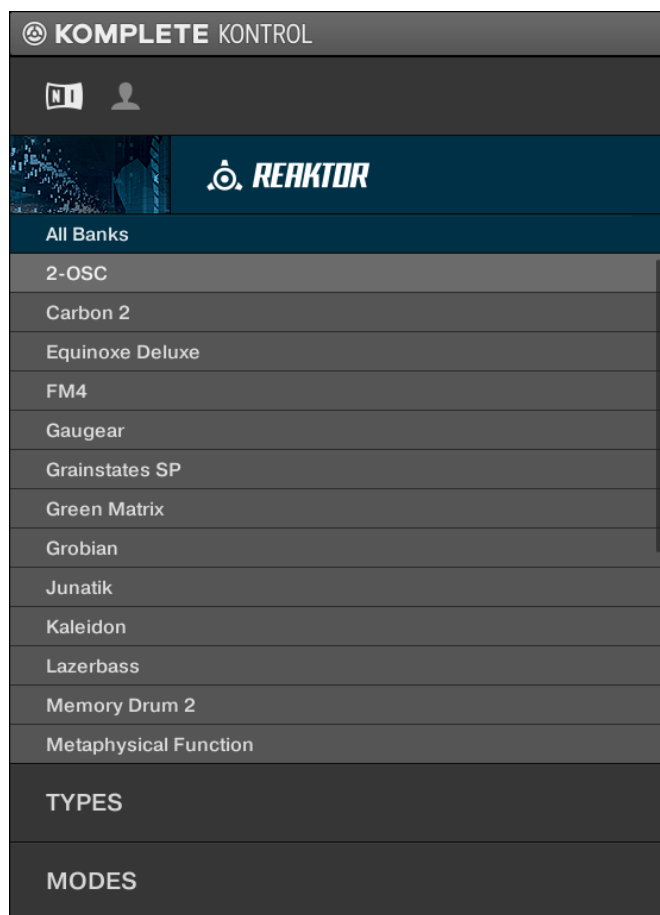
## プロダクトセクションのリセット

- ▶ プロダクトセクターの内容をリセットするには、KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードの **SHIFT + BACK** ボタンを押します。

→ これでここまでの選択内容がキャンセルされます。プロダクトセクターは [All Instruments](#) と表示されます。タグフィルターとリザルトリストでは全製品用ファイルを表示します。

## バンクの選択

Product リスト (上参照) で特定のプロダクトを選択すると、閉じられたプロダクトセクターの下に **Bank** メニューが表示されます。



Bank メニューで REAKTOR インストゥルメント用 All Banks を表示しています。

このバンクメニューで選択した製品のファイルの特定バンクを選択します(上図は REAKTOR 用です)。

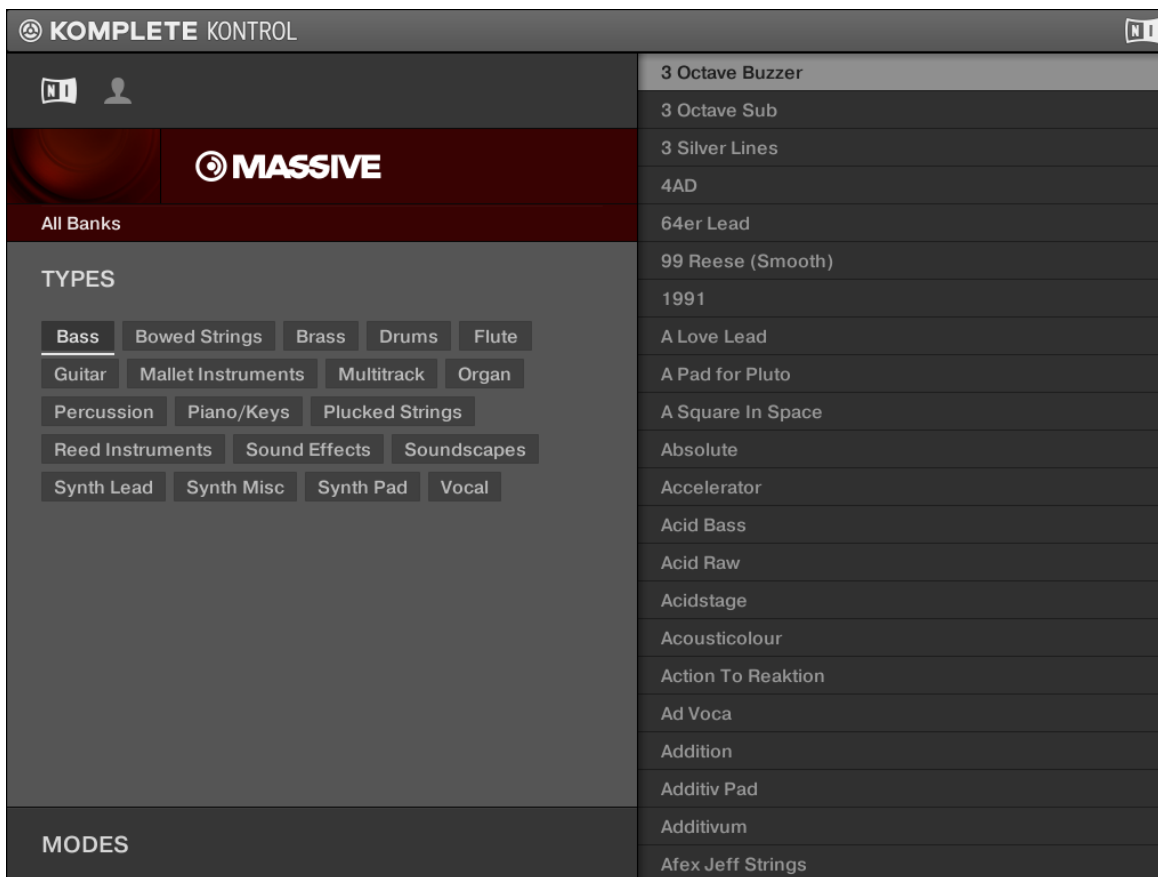
- ▶ 選択した製品の特定のバンクを選択するには、コントロールエンコーダーを回してエントリーにあるバンクを指定し、コントロールエンコーダーを押して選択します。
- 選択するとバンクメニューが閉じ、リザルトリストに選択したバンクのプリセットが表示されます。下のタグフィルターと Result リストで更に内容を絞り込みます。



Banks には追加ライブラリ (MASSIVE EXPANSIONS 等)、オリジナルファクトリーライブラリの異なるバージョン (eFM7 Legacy と FM8 Factory Library 等)、または特定の製品のその他のコンテンツ等が含まれます。

### 7.4.3 Type と Mode タグの選択

Product セクター下のタグフィルターで特定の性質、エフェクトタイプ、音声の特徴によるファイル検索を行います。タグの種類は Type または Mode となります。[TYPES](#) と [MODES](#) フィルターを介してそれぞれ選択します。



MASSIVE 用 TYPES フィルターです。

- ▶ 有効なタグを表示するには、KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードでナビゲート用矢印を押して **TYPES** または **MODES** を選択します。

以下がタグフィルターの任意のタグを選択し、絞り込み検索を行う方法です。

1. コントロールエンコーダーを回し、使用したいタグまでスクロールします。
2. タグがフォーカスされたら、コントロールエンコーダーを押して選択します。



ENTER ボタンを押してブラウザでフォーカスしたアイテムを選択することも可能です。

- ▶ 選択したタグを再度フォーカスしてコントロールエンコーダーを押すことでこのタグでの絞り込みが解除されます。

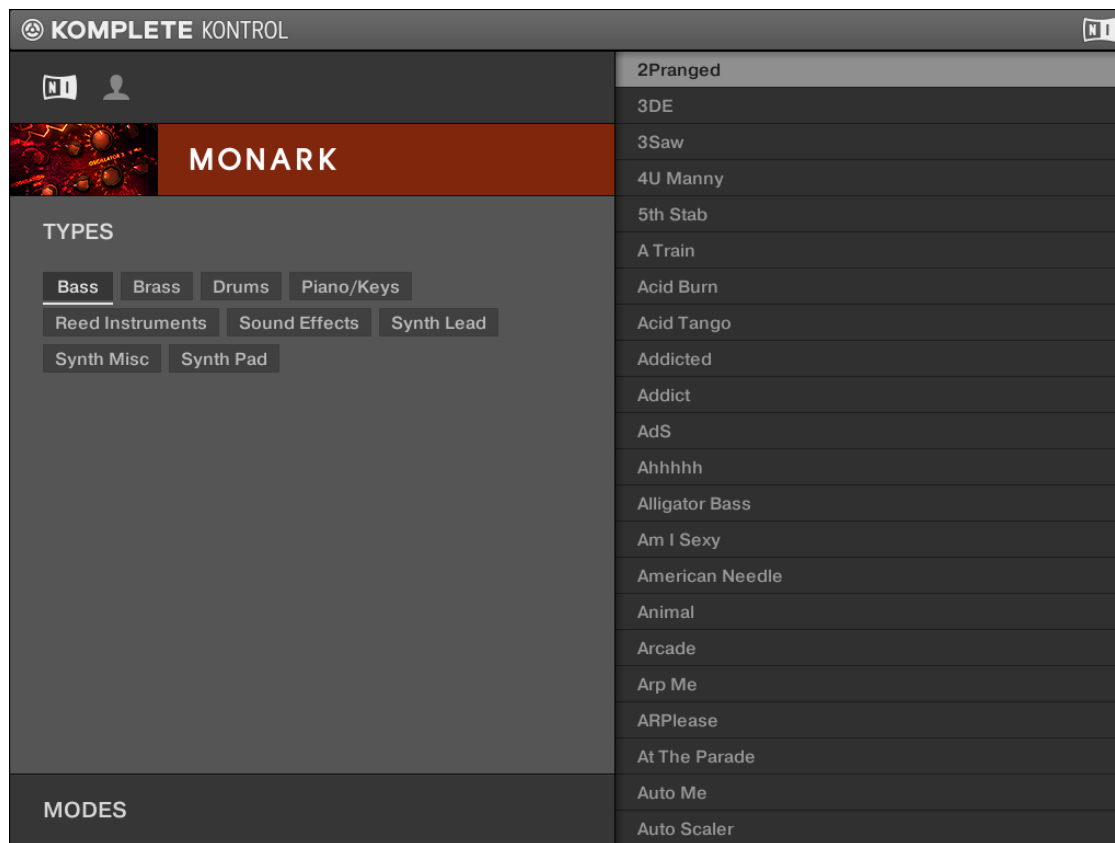
## Types

Type タグには 2 つの階層があります。TYPES フィルターでこれらを選択します。

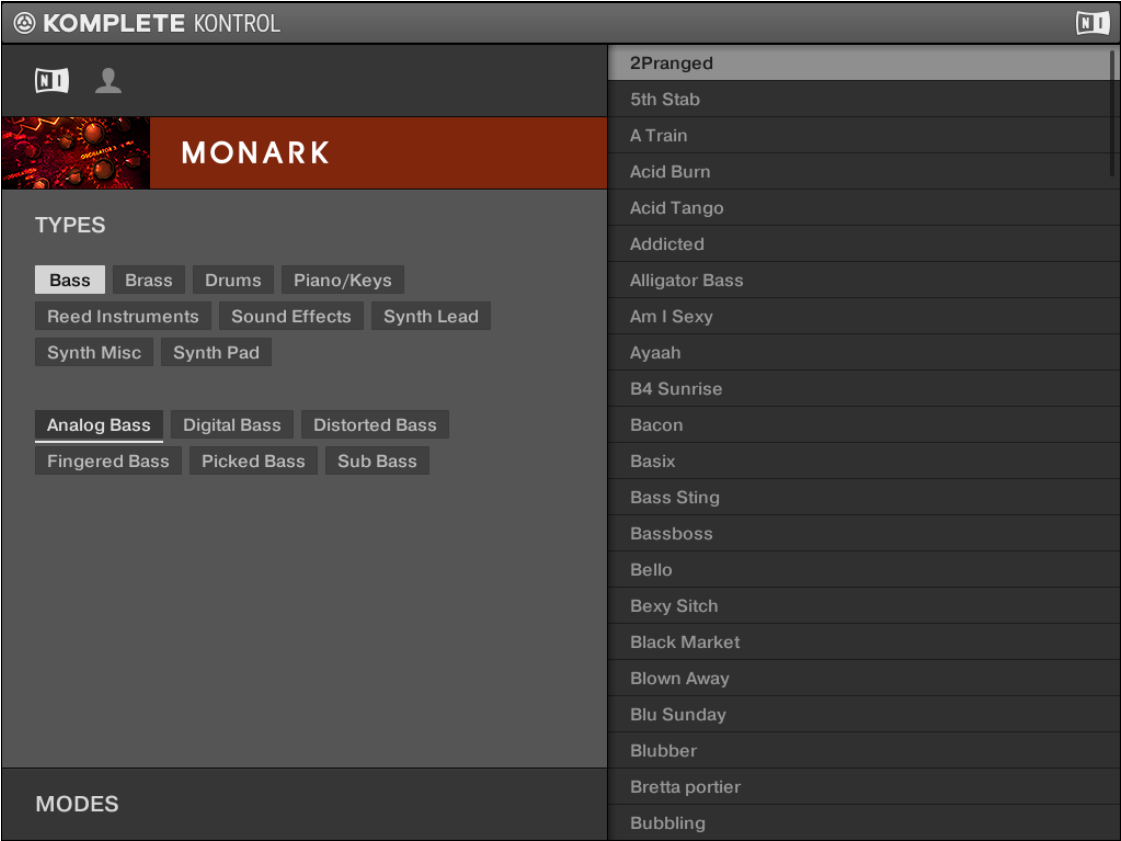
- まず TYPES フィルターでは上層のタグのみを表示します。
- 上層部でタグを選択すると、選択したタグの下にサブタグが表示されます。
- 階層構造とは各タグに含まれる各サブタグによる構造となっています。

例: では MONARK インストゥルメントでベースを探す場合を例にします。

- プロダクトセクターで既に **Monark** を選択しています（詳細は [↑7.4.2, プロダクトとバンクの選択](#) を参照してください）。現時点で **TYPES** フィルターは上層タグのみを表示しているはずです。

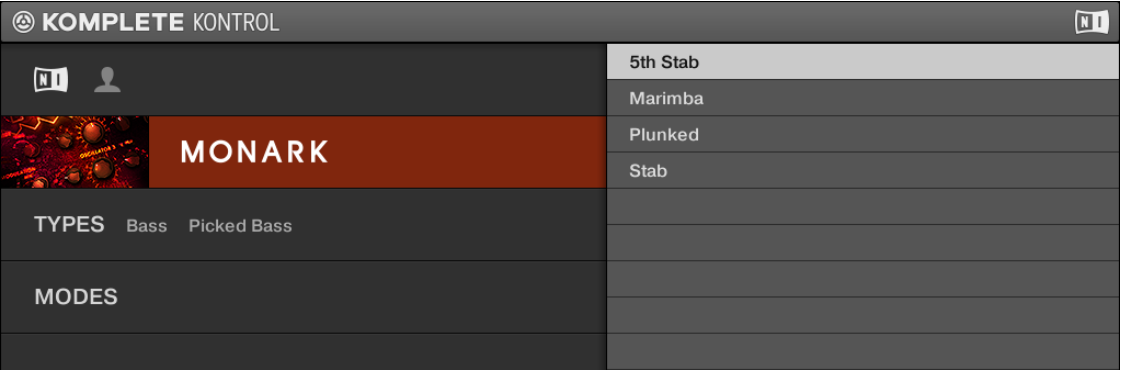


- ベースを検索するには、TYPES フィルターで Bass タグを選択します。  
選択すると、次の階層に Analog Bass、Fingered Bass、等があるサブタイプが表示されます。



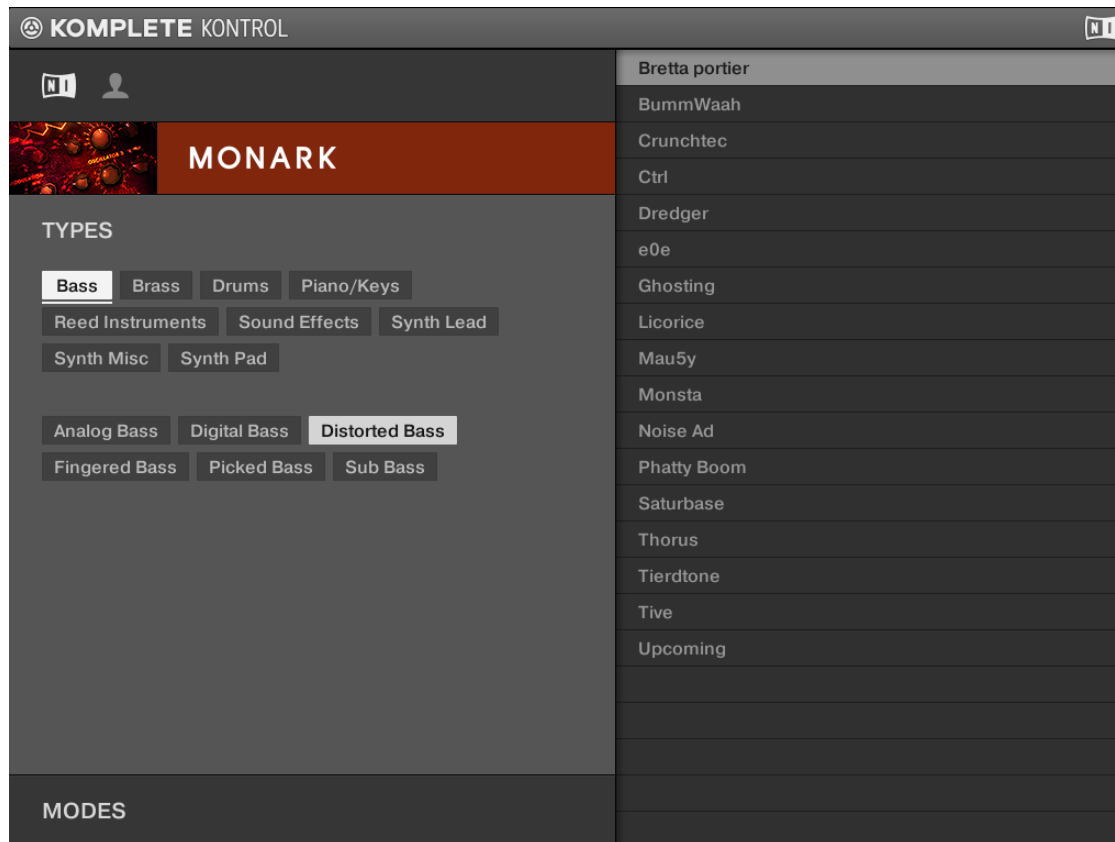
ナビゲート用矢印ボタンを押して、この 2 番目の階層をフォーカスします。この 2 番目の階層で、理想

のがありそうなサブタイプを選択します。  
ここでは **Picked Bass** を選択することにし、これでベースの絞り込み検索ができます。



- ではこのベースサウンドをロードしたとして、このサウンドが気に入らず、更に際立った音が必要だと感じたとしましょう。TYPES フィルターの Bass タグはそのままにしておき、次の階層で Picked Bass の代わりに Distorted Bass を選択します。Distorted Bass を選択すると、検索結果の内容が更新されます。



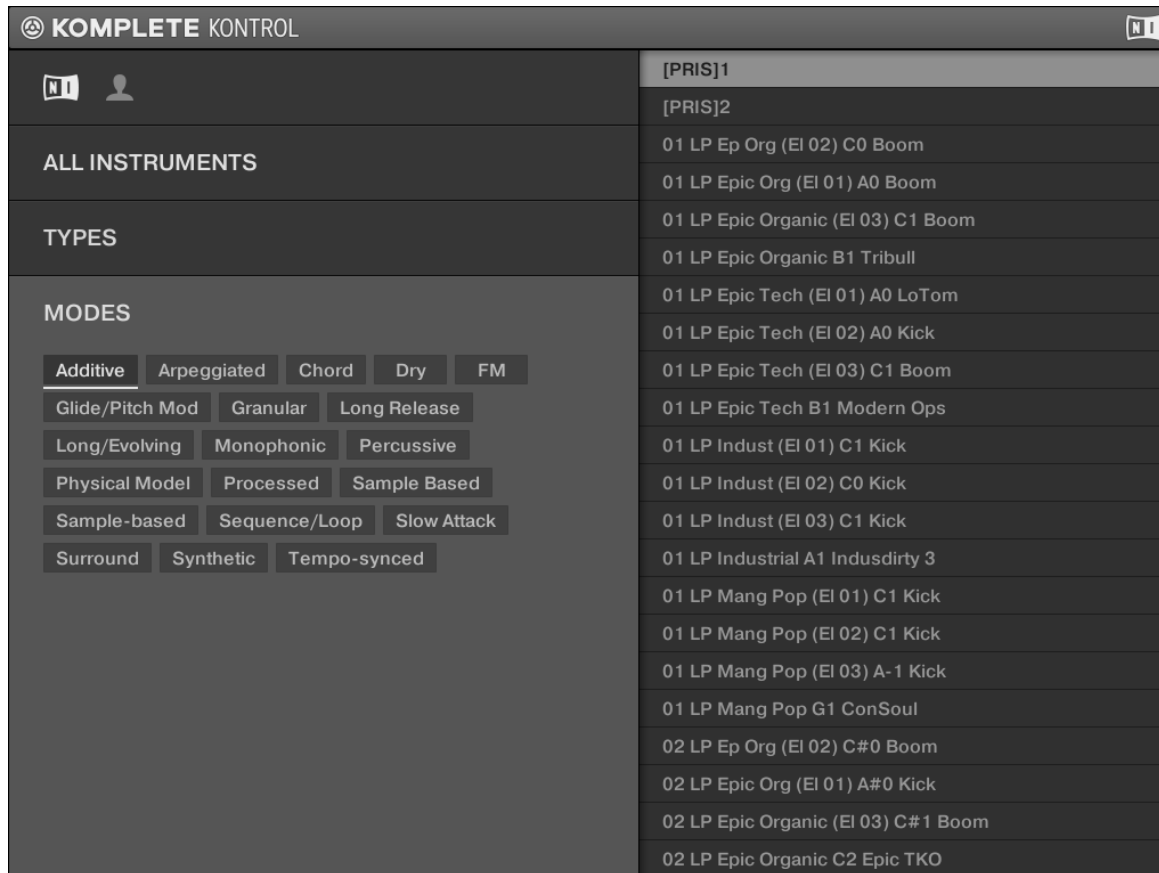


これで似たような特徴を持つ各プリセットを（ここでは歪んだベースサウンドを）、素早く検索することが可能となります。



プロダクトセクターでまったくインストゥルメントの選択を行わずに、KOMplete ライブラリーの全インストゥルメントを検索することも可能です。この場合、**TYPES** と **MODES** フィルターのみを使った検索を行います。


## モード



MODES フィルターです。

- ▶ タグベースのブラウザーで **MODES** フィルターを表示するには、ナビゲートボタンを使用します。
- **MODES** フィルターには Type レベルとは独立した追加レベルを備えています。
  - 基本的に Mode タグは技術的な内容によって分類されています(例、**Arpeggiated**、**Percussive**、**Synthetic** 等)。

- **MODES** フィルターは常に有効です。**TYPES** フィルターを使用する前に **MODES** フィルター（あるいは **MODES** フィルターのみを用いて）を用いて検索を開始することができます。
- **MODES** フィルター内の有効なタグのリストは **TYPES** フィルターで選択した内容によって異なります。選択した Type と Mode タグの両方にファイルが何もない場合は、Type タグが Mode タグの代わりに表示されます。

 **TYPES** または **MODES** フィルターでタグを何も選択しないと、Result リストでは全タグに関連する全ファイルが表示されます。

同じレベルで複数のタグを選択する


**TYPES** と **MODES** フィルターの両方の同じレベルで**複数のタグ**を選択することが可能です。

- ▶ **SHIFT** ボタンを押したままスクロールし、コントロールエンコーダーを押すことで、複数のタグを選択することができます。

→ Result リストにはタグ選択内容に関連する全ファイルが表示されます。

7.4.4      リザルトリストの使用

リザルトリストでは検索内容に合う全てのファイルを表示します。

☺ KOMPLETE KONTROL		3step 908	NI
NI 	ALL INSTRUMENTS	3Saw	
		3step 905	
		3step 906	
		3step 908	
TYPES		4AD	
		4U Manny	
MODES   Dry   FM   Long Release   Long/Evolving   ...		5 Dirty Steps	
		5th Bells	
		5th Stab	
		5th Wobble Hum	
		6ft Tall Koala	
		8bit Arcade	

リザルトリストです。

- ▶ リストが膨大すぎて一度に表示しきれない場合は、コントロールエンコーダーを使用してリスト内を移動します。

## リザルトリストでファイルをスクロール、選択する

- ▶ リザルトリストでプリセットを選択するには、コントロールエンコーダーでスクロールし、**ENTER** ボタンを押してロードします。



インストールメントプリセットロード時に既にプリセットがロードしてある場合は、そのプリセットと交換されます。

## PRESET ボタンによるファイルのロード

KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードの **NAVIGATE** セクションの右上にある上下 **PRESET** ボタンを押すことで、リザルトリストのインストールメントプリセットを自動的にロードします。



インストールメントプリセットロード時に既にプリセットがロードしてある場合は、そのプリセットと交換されます。

## 7.5 コントロールセクション

KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードの中央にあるコントロール部は、KOMplete KONTROL でロードしたインストールメントをコントロールする再地使用します。ハードウェアでのタップ、捻る、回す動作により、サウンド編集やパフォーマンス機能を活用します。



KOMPLETE KONTROL S-SERIES ( 図は S25 です) 中央部のコントロールセクションです。

## 7.5.1 コントロールセクションの各コントロール部



コントロールセクションの各コントロール部です。

- (1) **ページボタン**: このボタンで次のインストールメントページへの移動 (2) ノブの再マッピング (4) 次のコントロール部の表示 (5) 各操作を行います。
- (2) **PAGE ディスプレイ**: このディスプレイは現在のコントロールマッピングを表示します。PAGE ディスプレイは 1/6 または ARP 等のマッピング内容を表示します。
- (3) **PRESET ディスプレイ**: ロードしているインストールメントプリセットを表示します。
- (4) **ノブ**: KOMPLETE インストールメントパラメーターと **PERFORM** 機能のパラメーターをコントロールします。ノブには独自の Native Map プロトコル ([↑ 7.5.2, Native Map](#) 参照) によってロードしたインストールメントの各機能が自動マッピングされます。ノブはタッチセンシティブで、これらをタップすることで画面にパラメーター値を表示できます。
- (5) **ディスプレイ**: マッピングされたノブとロードしたインストールメントの情報、またはパフォーマンス機能の各パラメーターを随時表示します。



インストールメントのコントロールとパフォーマンス機能に関してはセクション Error! Reference source not found.を参照してください。

## 7.5.2 Native Map

コントロールセクションの各コントロール部には、KOMPLETE KONTROL にロードした KOMPLETE インストールメントの各機能がマッピングされます。MIDI ラーン等でアサインを行う必要はありません。これは Native Instruments 独自のマッピングプロトコル Native Map によるものです。

殆どのインストールメントは KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードのコントロールセクションのノブ総数よりも多くのパラメーターを備えているので、これらのパラメーターはページごとにまとめてあります。コントロールセクションの左にあるページボタンを押してページ間を移動します。他のページに移動すると、ノブに該当ページの各パラメーターがマッピングされます。ノブをタップすることで、マッピングされたパラメーターの現在の値を確認することができます。

Native Map によるインストールメントパラメーターのマッピングは、KOMPLETE KONTROL S-SERIES のタッチストリップにも施されます。タッチストリップに関してはセクション [↑ 7.6, タッチストリップ](#)を参照してください。インストールメントパラメーターのコントロール方法に関しては、以下を読み進めてください。

### 7.5.3 コントロールセクションによるインストゥルメントパラメーターのコントロール方法

KOMPLETE KONTROL に KOMPLETE インストゥルメントをロードすると、KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボード (インストゥルメントのブラウズ、ロード方法は [↑7.4, ブラウズとナビゲートセクション](#) を参照してください) でパラメーターをコントロールできるようになります。以下のセクションでは、コントロールセクションでインストゥルメントと各パラメーターをコントロールする方法を解説します。

- 以下の例では、KOMPLETE インストゥルメント MONARK のプリセット、3Saw をロードしていることを前提に解説を進めます。
  - コントロールセクション左端の **PRESET** ディスプレイに 3SAW と表示されるか確認してください。



PRESET の 3SAW です。

- KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのヘッダのプリセットディスプレイも確認してください。



プリセット 3Saw です。

- KOMplete KONTROL と KOMplete KONTROL S-SERIES キーボード間でパラメーターが連動しているか確認するには、パラメーターを編集しソフトウェアとキーボードの同パラメーター値が反応するか確認してください。この例では、フィルターレゾリューションパラメーターを新しい値に設定してみます。
  - ディスプレイの 2 番目に RESO とあり、レゾリューションパラメーターがノブ 2 にマッピングしてあることを示しています。



ディスプレイ 2 の RESO です。

- KOMplete KONTROL ソフトウェアの FILTER セクションにも RES と表記されている部分があります。



RES パラメーターです。



- ▶ レゾリューションパラメーターを調節するには、KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードのノブ 2 を回してください。



- MONARK の FILTER セクションの RES パラメーターが反応し、リアルタイムに値が変更されます。



## パラメーターページの切り替え

- ▶ インストゥルメントパラメーターページを次のページに移動し、ノブとディスプレイの再マッピングを行うには、コントロールセクションの左にあるページ矢印ボタンを押します。
- **PAGE** ディスプレイが対応し、新規パラメーター用にノブとディスプレイの再マッピングが行われます。



- 2 番目のディスプレイ表記が FLT DEC に切り替わり、ノブ 2 に MONARK のフィルターディケイがマッピングされます (FILTER ENVELOPE セクションの DECAY です)。



ディスプレイ 2 の FLT DEC です。



DECAY パラメーターです。

▶ **PAGE** 1/8 に戻るには、左ページボタンを押します。

## KOMPLETE インストゥルメントの切り替え



KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードで KOMPLETE インストゥルメントをロードする方法は、セクション [↑7.4.2, プロダクトとバンクの選択](#) を参照してください。

- ブラウザから新規 KOMPLETE インストゥルメントをロードすることでコントロールセクションに新規インストゥルメントに対応した再マッピングが施されます。
  - 以下の例ではブラウザから Bahnhoof Zoo をロード、**PAGE** ディスプレイに表示 (BHNHFZ) されるか確認します。ノブ 2 には FM8 の [Stereo Width](#) パラメーターがマッピングされます。

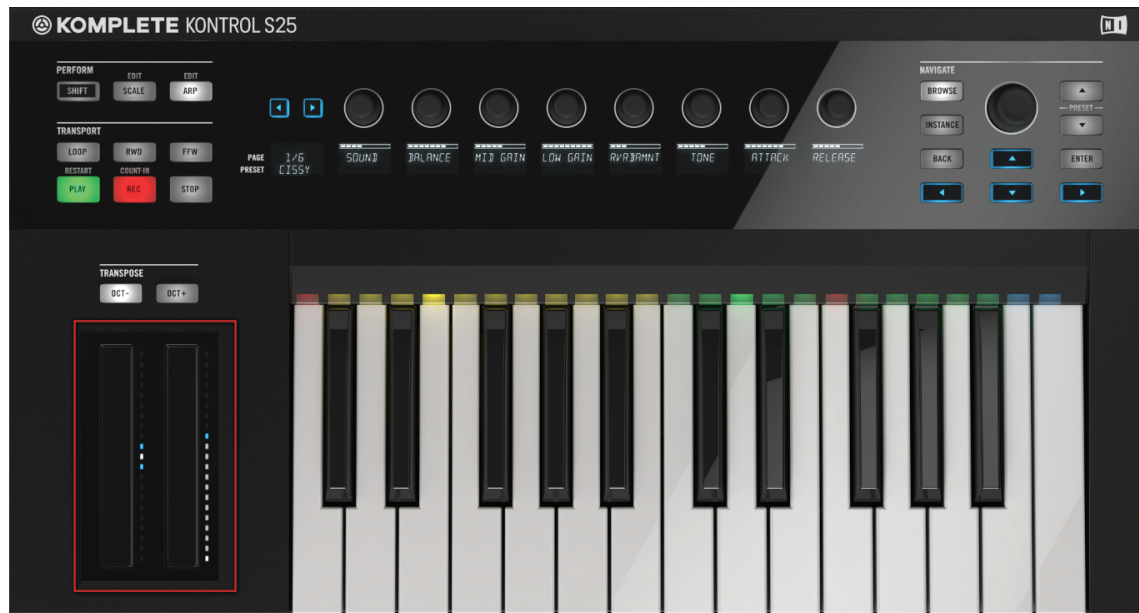


FM8 の Bahnhof Zoo プリセットです。

## 7.5.4 コントロールセクションでパフォーム機能をコントロールする

KOMPLETE KONTROL には強力なコード演奏とスケール演奏ができる、パフォーム機能を搭載しています。**PERFORM** セクションで **SCALE** と **ARP** パラメーターにアクセスするとそれらはコントロールセクションに表示され、ここで編集を行います。**PERFORM** セクションのコントロールとコントロールセクションのノブとディスプレイを使用してパラメーターを編集する方法は、[↑8, KOMPLETE KONTROL S-SERIES のパフォーム機能](#) を参照してください。

## 7.6 タッチストリップ



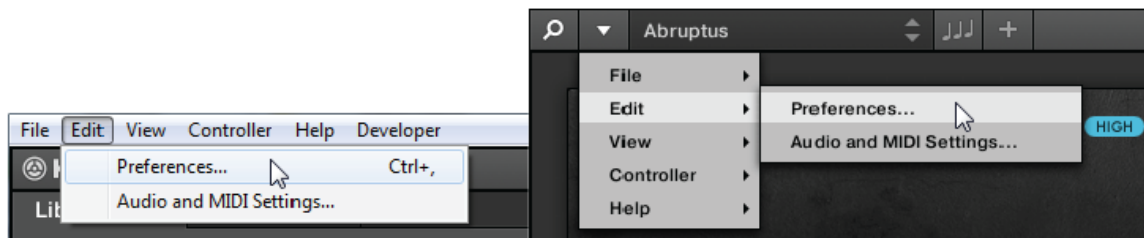
KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードのタッチストリップです (図は S25 です)。

鍵盤部の左にある 2 つのタッチストリップで、ロードした KOMPLETE インストゥルメントによってマッピングされたパラメーターをコントロールします。左のタッチストリップは自動的に Native Instruments の独自のマッピングプロトコル Native Map (↑7.5.2, [Native Map](#) と ↑7.5.3, [コントロールセクションによるインストゥルメントパラメーターのコントロール方法](#)参照) によって対応するパラメーターがマッピングされ、MIDI ラーンによるアサインを行う必要がありません。ロードしたインストゥルメントプリセットによって、右側のタッチストリップには、左側のタッチストリップと同様にマッピングが行われる場合と、MIDI ラーンによって自由にインストゥルメントパラメーターのアサインを行える場合があります。

- 左のタッチストリップは典型的なピッチホイール (またはピッチベンドホイール) と同等の機能を果たしますが、デフォルト値に戻るまでのスピードを設定することが可能です。セクション↑7.6.1, [ピッチストリップ](#)で詳細を確認してください。
- 右のタッチストリップは典型的なモジュレーションホイールと同等の機能を果たしますが、通常のモジュレーションホイールでは設定できない動きを設定することが可能です。セクション↑7.6.2, [モジュレーションストリップ](#)で詳細を確認してください。

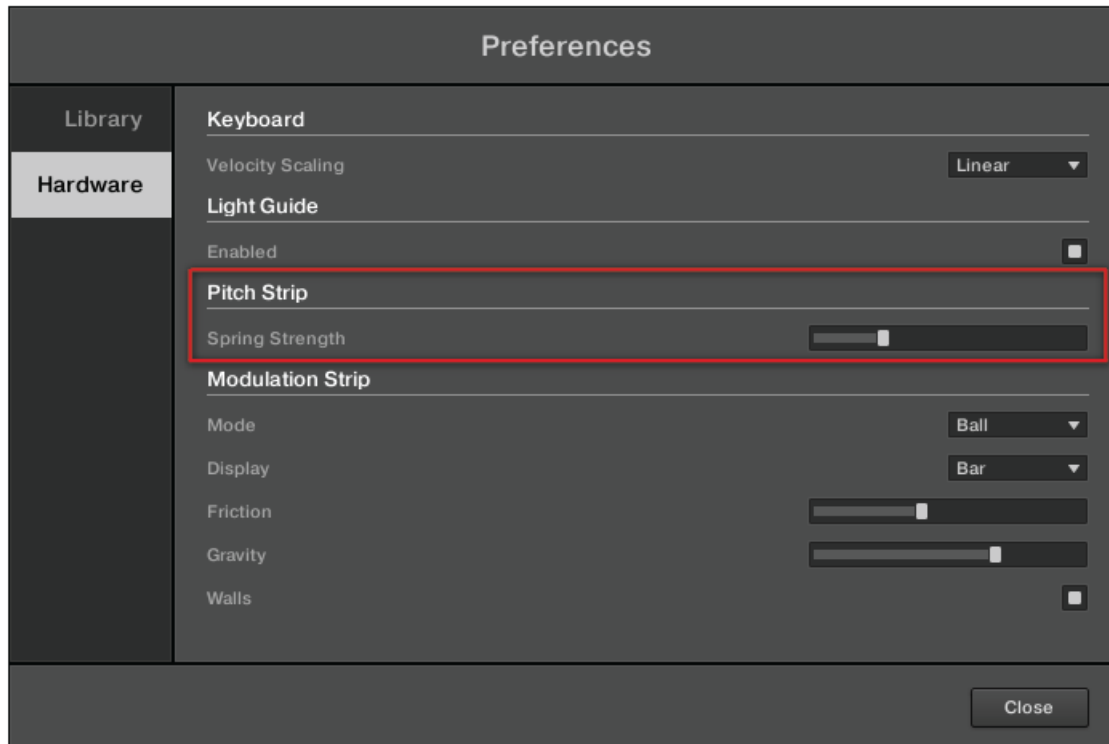
タッチストリップの性質設定は、KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの [Preferences](#) で行います。

- ▶ [Preferences](#) パネルを開くには、[Complete Kontrol](#) メニュー (Mac OS X) の *Preferences...*、またはアプリケーションメニューバーの [Edit](#) メニュー (Windows) または KOMPLETE KONTROL メニューの *Edit* サブメニューをクリックします。



アプリケーションメニューバーの [Edit](#) メニューの *Preferences...* (Windows) と、KOMPLETE KONTROL メニューの *Edit* サブメニューです。

## 7.6.1 ピッチストリップ



Preferences パネルで Pitch Strip を表示しています。

- KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの左タッチストリップは、通常のピッチベンドコントロールと同様に機能します。このピッチストリップにアサインしてあるインストゥルメントのパラメーター値は、デフォルト位置であるストリップ中央部に戻る際にスプリングの弾力を利用しているかのように移動します。ストリップ上に指を置くと、値が瞬時にその値へと移動し、指を置いている間はその値が保たれます。指を放すと値がデフォルト値に戻ります。デフォルト値まで戻る速度は KOMLETE KONTROL ソフトウェアの [Preferences](#) パネルの [Hardware](#) ページにある [Spring Strength](#) スライダーで調節します。インストゥルメントパラメーター値が元に戻る動きをスプリングの強さに例え、[Spring Strength](#) 値を高くすることで、パラメーター値が元に戻るまでの速度が速くなります。

## ピッチストリップによるインストゥルメントパラメーターのコントロール

- KOMPLETE インストゥルメントとして MONARK のプリセット 3Saw をロードすると、ピッチベンド用パラメーター **PB** の値がリアルタイム更新されるのが確認できます。



MONARK の PB パラメーターのデフォルト値です。

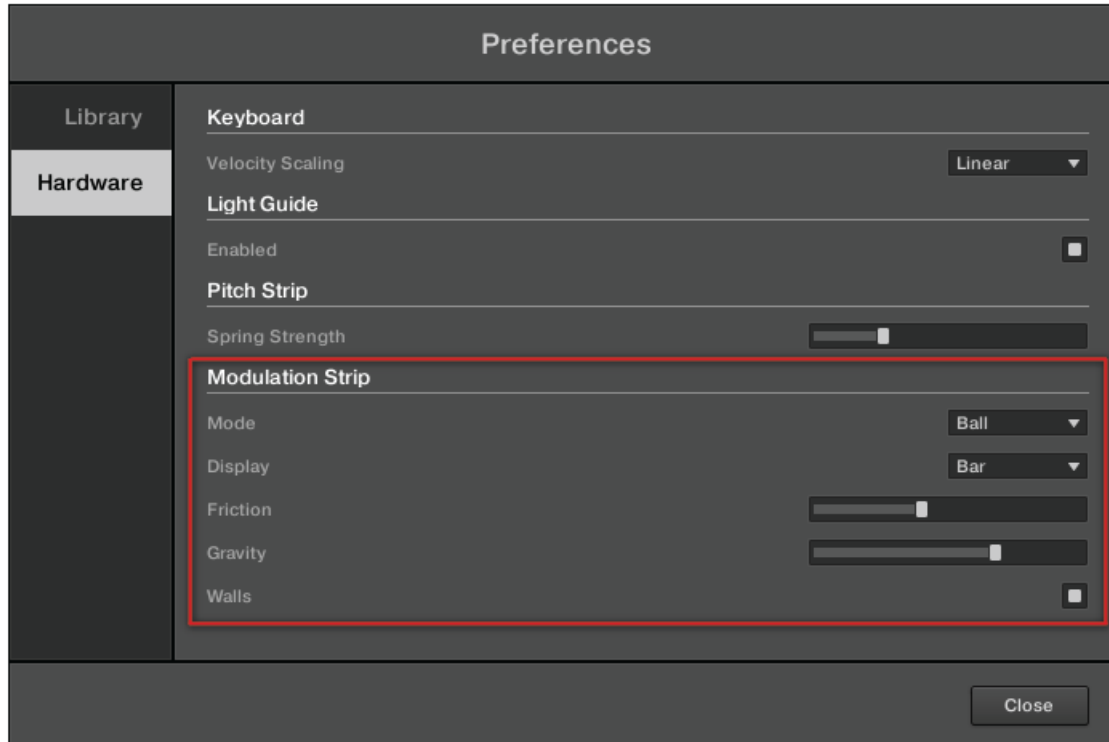
- ▶ アサインされたパラメーターの値を変更するには、ピッチストリップに指を置き、上下にストリップをスワイプします。
- 指の動きにあわせてアサインされたパラメーター値が変化し、ピッチが変わります。



- ピッチストリップ脇にある白、または青の LED が指の動きを追従します。
- ▶ ピッチストリップをデフォルト値に戻すには、指を放します。KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの LED バーと、KOMPLETE KONTROL にアサインしてあるパラメーターもデフォルト値に戻ります。



## 7.6.2 モジュレーションストリップ



Preferences (環境設定) パネルで Modulation Strip 設定を表示しています。

- KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの右タッチストリップは、多機能モジュレーションコントロールです。このタッチストリップには 2 つのモードがあり、KOMPLETE KONTROL ソフトウェアの [Preferences](#) パネルにある [Hardware](#) ページの [Mode](#) メニューで選択できます。
- **Standard:** これは KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの右モジュレーションストリップのデフォルトモードで、モジュレーションコントロールの通常操作に対応します。このモードでタッチストリップは指の位置を認識し、アサインしてあるインストゥルメントパラメーターに値を適用します。スト



リップ上に指を置くと、値が瞬時にその値へと移動、その値が保たれます。Display メニューで LED チェーン上で値がどのように表示されるか設定することができます。詳細は [↑ 2.5.2, Preferences – Hardware ページ](#)を参照してください。

- **Ball:** このモードで指の重力に反応するボールのような反応にすることができます。ストリップの特定の場所に指を置くと、現在値から指の方向に向かって値が移動します。値が指を置いた値に到達すると、値がそこで保持されます。値の到達の前に指を放すと、そのまま値が指があった方向（またはそれ以降）に移動していきます。ストリップに指を長く置くほど、値の移動速度が速くなります。

更に、現在値に指を置き、どちらかの方向にその値をドラッグすることで、値を滑らせることも可能です。指の移動速度によって値の移動速度が速くなります。

値の移動は以下のパラメーターにも影響します。

- **Friction** スライダー: 指を放したときの値の速度低下を調節します。Friction が高いほど、値が止まるまでの速度が速くなります。一番左に設定すると、値は止まらなくなります。一番右に設定すると、値がすぐ止まるようになります。
- **Gravity** スライダー: 指が値をひきつける度合いを調節します。Gravity 値が高いほど、値の移動速度が速くなります。このパラメーターは値を滑らせる場合の度合いには影響しません。
- **Walls** ボタン: レンジ幅の限界に到達した場合の値の反応を設定します。Walls をオンにすると、値が限界値で跳ね返るようになります。Walls をオフにすると、値が反対の限界値に移動し、同じ方向に移動します。

## モジュレーションストリップによるインストゥルメントパラメーターのコントロール

ロードしたインストゥルメントプリセットによって、モジュレーションストリップは、自動マッピングが行われる場合と、MIDI ラーンによって自由にインストゥルメントパラメーターのアサインを行う必要がある場合があります。インストゥルメントプリセットをロードし、モジュレーションストリップに触れてもサウンドが変化しない場合は、以下を読んでインストゥルメントパラメーターをアサインする方法を把握してください。



ここではピッチストリップで使用したものと同一インストゥルメントプリセット（MONARK's 3Saw）を使用します（[↑ 7.6.1, ピッチストリップ](#)参照）。

- KOMplete KONTROL ソフトウェアのインストゥルメントパラメーターが、モジュレーションストリップでの操作に反応するようになります。指の動きにあわせてアサインされたパラメーター値が変化し、音声が変化します。



- モジュレーションストリップ脇にある白、または青の LED が指の動きを追従します。
- ▶ ピッチストリップをデフォルト値に戻すには、指を放します。KOMplete KONTROL ソフトウェアの [Preferences](#) パネルでの設定内容によって、KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードの LED バーと、KOMplete KONTROL のアサインしたパラメーターが反応し、現在値で留まる、またはデフォルト値に戻るようになります。



## 7.7 Light Guide (ライトガイド)



鍵盤上部にあるマルチカラー対応 Light Guide です。

Light Guide は KOMPLETE KONTROL S-SERIES の大きな特徴の一つで、ここでロードした KOMPLETE インストゥルメントと **PERFORM** セクションのキーマッピングを随時把握することができます。サンプルベースインストゥルメントを色で分類、鍵盤上部の LED でスケールによって有効、無効となっているキーを把握、Light Guide は常に重要な要素を視覚化した状態で表示するので、あわただしいライブ環境下でもその高い視認性を発揮します。

### 7.7.1 KOMPLETE インストゥルメントマッピング

- 例えば Light Guide の利便性を、KOMPLETE インストゥルメントの一つである BATTERY のプリセットをロードして確認してみましょう。



ドラムサンプルを含んだ BATTERY のセルマトリクスです。

BATTERY のセルマトリクスでは内包するサンプル名を表示、色をつけることでサウンドの種類を分類しています (Kick または Snare 等)。キーボードに 48 以上のドラムサンプルがマッピングされると、どのキーがセルマトリクスのどのパートなのか、判別するのが困難になります。その点、KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードの Light Guide は鍵盤でセルマトリクスをマッピングを行うと同時にマルチカラー対応 LED で色によりサンプルの種類を表示するので便利です。



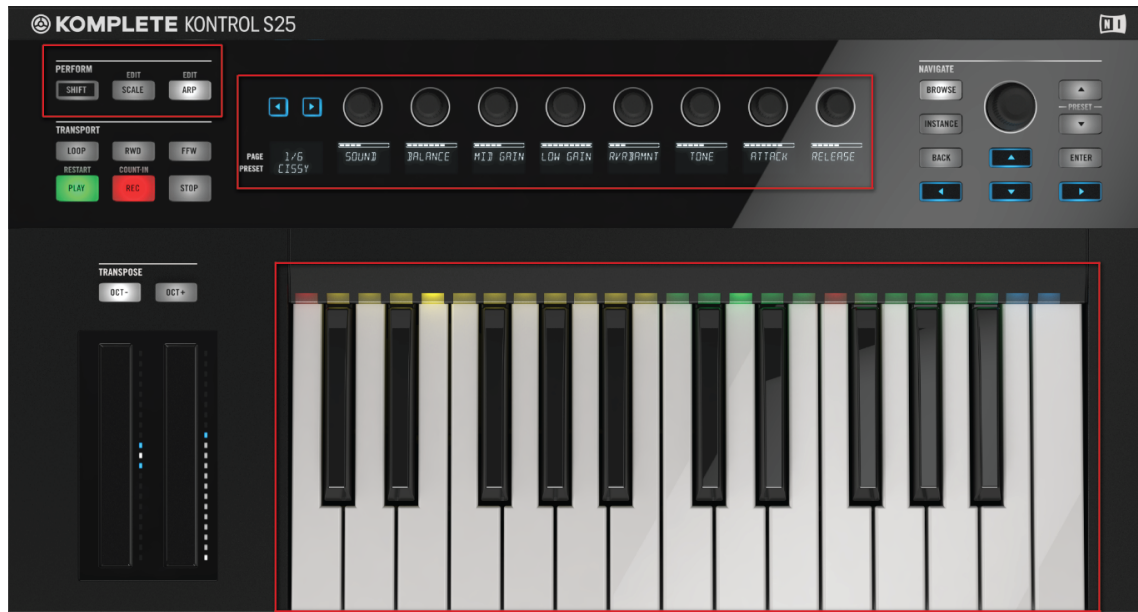
Light Guide (KOMPLETE KONTROL S49 を表示しています) です。

- キーボードの鍵盤を押すと、該当キーの LED が完全点灯し、その外のキーは半時点灯した状態となります。これは MIDI ノートを受信した場合でも同じです。

## 7.7.2 パフォーマンス機能のマッピング

KOMplete KONTROL はスケールとハーモニー用機能を装備しており、KOMplete インストゥルメントのコード演奏、またはアルペジオ演奏が可能となります。内容はセクション [↑ 6.2, 音楽理論について](#) を参照してください。**PERFORM** とコントロールセクション (または KOMplete KONTROL ソフトウェアのパフォーマンスパネル、[↑ 6, KOMplete KONTROL ソフトウェアパフォーマンスパネル](#) 参照) で設定したパフォーマンスパラメーターの内容は Light Guide にも反映します。これで例えばスケール、またはコードを選択すると、スケール、またはコードに該当するキーに属する LED が点灯、無効の状態のキーは無灯となります。SCALE、ARP、と各関連パラメーター詳細は [↑ 8, KOMplete KONTROL S-SERIES のパフォーマンス機能](#)、[↑ 8.2, SCALE](#)、[↑ 8.3.5, Chord Type](#) を参照してください。

## 8 KOMPLETE KONTROL S-SERIES のパフォーマンス機能

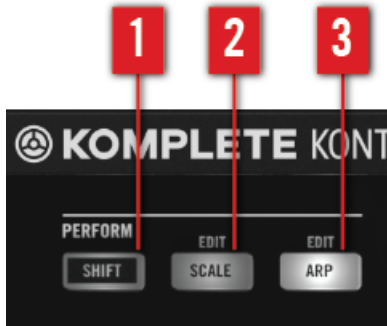


PERFORM セクション、コントロールセクション、Light Guide がある鍵盤部です。

KOMPLETE KONTROL のもっとも強力な機能のひとつが、専用 **PERFORM** パネルです。ここで幅広いスケールと他のパラメーターによる設定を行い、コードとアルペジオ演奏を行います。演奏ノートにハーモニーを設定し、鍵盤一つで効果的にコードを生成することもできます。KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードでは、**PERFORM** セクションでの設定内容が鍵盤上部の LED による Light Guide によって示されます。Light Guide は選択したスケール、またはコードの設定による有効、または無効なキーを表示します。**PERFORM** セクションでの設定項目には、KOMPLETE KONTROL ソフトウェアのパフォーマンスパネルからもアクセス可能です ([↑ 6, KOMPLETE KONTROL ソフトウェアパフォーマンスパネル参照](#))。

## 8.1 PERFORM セクション概要

**PERFORM** セクションのボタンでスケール、またはアルペジオパラメーターをオン、オフ切り替えます。コントロールセクションのディスプレイとノブにパラメーターが表示され、それらで編集することも可能です (↑7.5, [コントロールセクション](#)参照)。



PERFORM セクションです。

- (1) **SHIFT**: **SHIFT** ボタンを押したままにすることで各コントロール部の 2 時昨日にアクセスできるようになります (**SCALE** (2) と **ARP** (3) ボタンでは **EDIT** 機能にアクセス可能になります)。コントロールセクションで **SHIFT** を押しながらノブを回すことで、値の詳細設定が可能となります。
- (2) **SCALE**: **SCALE** ボタンを押すことでスケールエンジンをオン、オフ切り替えます。 **SHIFT** を押しながら **SCALE** を押すことで、コントロールセクションのノブとディスプレイを用いてスケールパラメーターの設定ができるようになります。
- (3) **ARP**: **ARP** ボタンを押すことでアルペジオ機能をオン、オフ切り替えます。 **SHIFT** を押しながら **ARP** を押すことで、コントロールセクションのノブとディスプレイを用いてアルペジオ用パラメーターの設定ができるようになります。

### 8.1.1 SCALE ボタンの機能

- ▶ スケールパラメーターを編集するには、**SHIFT** + **SCALE** を押します。

- **SCALE** パラメーターが表示され、コントロールセクションのノブで編集することができるようになります。



- ▶ 選択したスケールエンジンをオン、オフ切り替えするには、**SCALE** ボタンを押します。
- **SCALE** パラメーターの選択内容が Light Guide に反映されます。
- ▶ インストゥルメントパラメーターをノブとディスプレイに表示するには、もう一度 **SHIFT + SCALE** を押します。**NAVIGATE** セクションの **BACK** ボタンを押しても良いでしょう。スケールエンジン自体は起動したままとなります。

## 8.1.2 ARP ボタンの機能

- ▶ スケールパラメーターを編集するには、**SHIFT + SCALE** を押します。
- **ARP** パラメーターが表示され、コントロールセクションのノブで編集することができるようになります。



- ▶ アルペジオをオン、オフ切り替えするには **ARP** ボタンを押します。
- **ARP** パラメーターの選択内容が Light Guide に反映されます。
- ▶ インストゥルメントパラメーターをノブとディスプレイに表示するには、もう一度 **SHIFT + ARP** を押します。**NAVIGATE** セクションの **BACK** ボタンを押しても良いでしょう。アルペジエーターは起動したままとなります。



## 8.2 SCALE

KOMLETE KONTROL は KOMLETE インストゥルメントを用いて演奏可能なスケールを複数用意しています。この機能でピアノ等のインストゥルメントを演奏ミスなく、例えばマイナーペンタトニックスケールで演奏することができるようになります。CHORD モードで用意されたスケールを用いて、ノートコード演奏することが可能となります。更にアルペジエーター (↑8.3.5, Chord Type 参照) を使用することで、KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードの一つの鍵盤を押す、または受信した MIDI ノート入力によってスケールを自動演奏することができます。



PAGE ディスプレイで SCALE と表示しています。

SCALE パラメーターでスケールを選択し、SCALE エンジン起動すると、KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードにスケールがマッピングされ、Light Guide もそのスケールを示すようになります。これでキーボードのどの鍵盤を押しても、またはホストアプリケーションを介してどの MIDI ノートが送信されても、ノートが設定したスケールを発音するようになります。

## 8.3 SCALE パラメーター

このセクションでは KOMLETE KONTROL S-SERIES の SCALE 機能の設定について解説します。



ARP パラメーターに関してはセクション↑8.6, ARP パラメーターを参照してください。

### 8.3.1 SCALE と Root Note



SCALE パラメーターは KOMLETE KONTROL ソフトウェアの Root Note に対応します。

スケールパラメーターの左端にある SCALE パラメーターは KOMplete KONTROL ソフトウェアの Root Note に対応します。スケールのルートノートを設定することでスケールの起点が設定されます。それ以降のスケールのノートは、スケールパラメーターで選択するスケール内容によって異なります ([↑ 8.3.2, Scale Type](#) 参照)。例えばデフォルト SCALE 値を C にし、Scale Type をデフォルトの MAJOR にした場合は、スケールは C メジャーとなり、C、D、E、F、G、A、B (その後、オクターブ上の C が続きます) のノートがマッピングされます。ルートノートを G にすると、G、A、B、C、D、E、F# (G が続きます) ノートを含んだ G メジャースケールとなります。発音されるノート間隔は「全音-全音-半音-全音-全音-全音-半音」となり、これが MAJOR スケールの法則として機能します。キーボードで上下にトランスポーズすることでルートノートを変化させることもできます。

- KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードは完全点灯した LED で選択した SCALE を表示し、その他の有効なキーは全点灯より暗い状態となります。



これらの設定を行うには SCALE エンジンを開始しておく必要があります。

- ▶ **SCALE** を選択すると、コントロールセクションでノブ 1 を回すことで SCALE パラメーターに以下の値が設定されます。

- C
- C#
- D
- D#
- E
- F
- F#
- G
- G#
- A
- A#
- B


### 8.3.2 Scale Type



スケールタイプでスケールパターンを選択します。

左から 2 番目のパラメーターは Scale Type です。ここを使用して KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードにマッピングされるスケールを選択します (↑8.3.1, SCALE と Root Note 参照)。ホストソフトウェアからの MIDI 入力で KOMplete インストゥルメントを演奏する場合は、MIDI ノートは Scale Type で選択したスケールに基づいて演奏されます。例えば (Root Note を C に設定し、) **C-D-D#** ノートを含んだ MIDI パターンが演奏された場合、Scale Type が CHROM であればそのまま演奏されますが、Scale Type が MAJOR となっている場合は **C-D-E** のノートを演奏します。各スケールのキーマッピング詳細は以下の表を参照してください。

- KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードは選択した Scale Type を LED の点灯で示し、有効ではないキーは無点灯となります。

 これらの設定を行うには **SCALE** エンジンを起動しておく必要があります。

- ▶ **SCALE** を選択すると、コントロールセクションでノブ 2 を回すことで Scale Type パラメーターに以下の値が設定されます。

Scale Type	オクターブのキー											
全キー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Chromatic												
マッピング内容	R	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
例 SCALE が C の場合	C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A	B
Major												

Scale Type	オクターブのキー											
マッピング内容	R	2	2	3	3	4	5	5	6	6	7	7
例 SCALE が C の場合	C	D	D	E	E	F	G	G	A	A	B	B
Minor												
マッピング内容	R	R	2	b3	b3	4	5	5	b6	b6	b7	b7
例 SCALE が C の場合	C	C	D	Eb	Eb	F	G	G	Ab	Ab	Bb	Bb
Harmonic Minor												
マッピング内容	R	R	2	b3	b3	4	5	5	b6	b6	7	7
例 SCALE が C の場合	C	C	D	Eb	Eb	F	G	G	Ab	Ab	B	B
Major Pentatonic												
マッピング内容	R	R	2	2	3	3	5	5	5	6	6	R
例 SCALE が C の場合	C	C	D	D	E	E	G	G	G	A	A	C
Minor Pentatonic												
マッピング内容	R	R	b3	b3	4	4	4	5	5	b7	b7	R
例 SCALE が C の場合	C	C	Eb	Eb	F	F	F	G	G	Bb	Bb	C
Blues												
マッピング内容	R	R	R	b3	b3	4	#4	5	5	b7	b7	R
例 SCALE が C の場合	C	C	C	Eb	Eb	F	F#	G	G	Bb	Bb	C
Japanese												

Scale Type	オクターブのキー											
マッピング内容	R	2	2	b3	b3	5	5	5	b6	b6	R	R
例 SCALE が C の場合	C	D	D	Eb	Eb	G	G	G	Ab	Ab	C	C
Freygish												
マッピング内容	R	b2	b2	3	3	4	5	5	b6	b6	b7	b7
例 SCALE が C の場合	C	Db	Db	E	E	F	G	G	Ab	Ab	Bb	Bb
Gypsy												
マッピング内容	R	2	2	b3	b3	#4	#4	5	b6	b6	7	7
例 SCALE が C の場合	C	D	D	Eb	Eb	F#	F#	G	Ab	Ab	B	B
Flamenco												
マッピング内容	R	b2	b2	3	3	4	5	5	b6	b6	7	7
例 SCALE が C の場合	C	Db	Db	E	E	F	G	G	Ab	Ab	B	B
Altered												
マッピング内容	R	b2	b2	b3	b4	b5	b5	b6	b6	b7	b7	R
例 SCALE が C の場合	C	Db	Db	Eb	Fb	Gb	Gb	Ab	Ab	Bb	Bb	C
Whole Tone												
マッピング内容	R	R	2	3	3	#4	#4	#5	#5	#6	#6	R
例 SCALE が C の場合	C	C	D	E	E	F#	F#	G#	G#	A#	A#	C
Half-Whole Diminished												

Scale Type	オクターブのキー											
マッピング内容	R	b2	b2	#2	3	#4	#4	5	6	6	b7	b7
例 SCALE が C の場合	C	Db	Db	D#	E	F#	F#	G	A	A	Bb	Bb
Whole-Half Diminished												
マッピング内容	R	R	2	b3	b3	#3	#4	#4	#5	6	7	7
例 SCALE が C の場合	C	C	D	Eb	Eb	E#	F#	F#	G#	A	B	B

8.3.3 KEY MODE




KEY MODE でキーマッピングを設定します。

セクション↑8.3.1, SCALE と Root Note と ↑8.3.2, Scale Type では SCALE の KEY MODE (3つ目の Scale パラメーターです) について解説します (デフォルト値 STANDARD 時の解説となります)。STANDARD モードでキーは、セクション ↑8.3.2, Scale Type で解説した表のスケール内容通りのノートマッピングが施されます。これは KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードを演奏すると、選択したスケールがキーボードのオクターブ内にマッピングされ、7つの白鍵盤、5つの黒鍵盤をそのまま用いることができる、ということになります。マッピングは Light Guide でも示され、どの鍵盤にどのノートがマッピングされているか確認することができます。


KEY MODE を EASY にすると、(12-ステップの CHROM スケール以外の) ノートが白鍵盤にマッピングされます。これでスケールは全音部にマッピングされるので、白鍵盤のみを使って各スケールを演奏できるようになります。黒鍵盤を演奏しても無効の状態なので他のノートを発音することはありません。

EASY KEY MODE を使用する場合、ルートノート (↑8.3.1, SCALE と Root Note 参照) は常に C3 にマッピングされます。選択したスケールが 7 ステップ (クロマチックでは 12 ステップ) の場合、C1 キーに選択した Root Note がマッピングされます。スケールが 7 ステップ以上、または 以下の場合 (選択したスケールのノートの総数等によって)、C1 キーに選択したスケールが含むノートがマッピングされます。

各スケールの EASY モードマッピング詳細は以下を確認してください。

 EASY KEY MODE で 12 ステップの CHROM を選択した場合、マッピング内容は STANDARD モードでの内容と同じになります。CHROM スケールは 12 ノート全てを使用します。

- KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードは選択した KEY MODE を LED の点灯で示し、有効ではないキーは無点灯となります。

 これらの設定を行うには SCALE エンジン起動しておく必要があります。

- ▶ **SCALE** を選択すると、コントロールセクションでノブ 3 を回すことで KEY MODE パラメーターに以下の値が設定されます。
  - STANDARD
  - EASY

EASY KEY MODE



EASY KEY MODE で Scale Types を選択すると、スケールは以下の表のように白鍵盤にマッピングされます。

Scale Type	Key Mode が Easy モードの場合のマッピング							
白鍵盤	C3	D3	E3	F3	G3	A3	B3	
Major								
マッピング内容	R	2	3	4	5	6	7	
例 SCALE が C の場合	C	D	E	F	G	A	B	
Minor								
マッピング内容	R	2	b3	4	5	b6	b7	

Scale Type	Key Mode が Easy モードの場合のマッピング							
例 SCALE が C の場合	C	D	Eb	F	G	Ab	Bb	
<b>Harmonic Minor</b>								
マッピング内容	R	2	b3	4	5	b6	7	
例 SCALE が C の場合	C	D	Eb	F	G	Ab	B	
<b>Major Pentatonic</b>								
マッピング内容	R	2	3	5	6			
例 SCALE が C の場合	C	D	E	G	A			
<b>Minor Pentatonic</b>								
マッピング内容	R	b3	4	5	b7			
例 SCALE が C の場合	C	Eb	F	G	Bb			
<b>Blues</b>								
マッピング内容	R	b3	4	#4	5	b7		
例 SCALE が C の場合	C	Eb	F	F#	G	Bb		
<b>Japanese</b>								
マッピング内容	R	2	b3	5	b6			
例 SCALE が C の場合	C	D	Eb	G	Ab			
<b>Freygish</b>								
マッピング内容	R	b2	3	4	5	b6	b7	



Scale Type	Key Mode が Easy モードの場合のマッピング							
例 SCALE が C の場合	C	Db	E	F	G	Ab	Bb	
<b>Gypsy</b>								
マッピング内容	R	2	b3	#4	5	b6	7	
例 SCALE が C の場合	C	D	Eb	F#	G	Ab	B	
<b>Flamenco</b>								
マッピング内容	R	b2	3	4	5	b6	7	
例 SCALE が C の場合	C	Db	E	F	G	Ab	B	
<b>Altered</b>								
マッピング内容	R	b2	b3	b4	b5	b6	b7	
例 SCALE が C の場合	C	Db	Eb	Fb	Gb	Ab	Bb	
<b>Whole Tone</b>								
マッピング内容	R	2	3	#4	#5	#6		
例 SCALE が C の場合	C	D	E	F#	G#	A#		
<b>Half-Whole Diminished</b>								
マッピング内容	R	b2	#2	3	#4	5	6	b7
例 SCALE が C の場合	C	Db	D#	E	F#	G	A	Bb
<b>Whole-Half Diminished</b>								

Scale Type	Key Mode が Easy モードの場合のマッピング							
マッピング内容	R	2	b3	#3	#4	#5	6	7
例 SCALE が C の場合	C	D	Eb	E#	F#	G#	A	B

## 8.3.4 CHORD



CHORD でコードモードを選択します。

非常に便利で表現力の源となる Scale パラメーター、それが CHORD です。KOMLETE KONTROL S-SERIES またはホストソフトウェアの MIDI 入力ノートを用いて単一ノートによりコードを生成します。CHORD は無効の状態と (OFF)、有効であれば 2 つの状態 HARM と CHD SET があります。

- HARM にした場合、選択した Scale Type (↑8.3.2, Scale Type 参照) のノートの間隔を設定、この設定が Chord Type パラメーター (↑8.3.5, Chord Type 参照) のコードに反映されます (例、Chord Type 値 1-3-5)。
- CHD SET にした場合、Root Note (↑8.3.1, SCALE と Root Note 参照) によって表示されるメジャーまたはマイナーコードを、Chord Types (↑8.3.5, Chord Type 参照) で選択します。

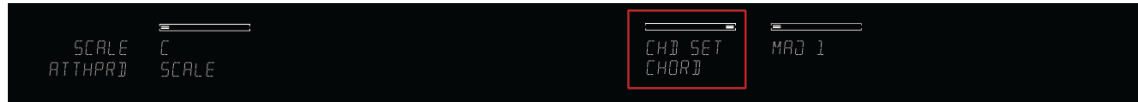
CHORD モードで OFF、HARM、CHD SET のどれかを選択することで、その他の Scale パラメーターが表示、非表示の状態となります。

- HARM を選択することで Chord Type パラメーターに選択肢としてノートの間隔が表示され、どのキーを使用してコードを生成するか指定します。



Scale パラメーターの CHORD で値を HARM にしています。

- CHD SET を選択することでコードタイプパラメーターにメジャー、マイナーコードのリストが表示されます。スケールタイプと KEY MODE は非表示となります。



Scale パラメーターの CHORD で値を CHD SET にしています。

- KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードが点灯し、CHORD と Chord Type 設定内容に従って生成されるコードを LED 表示します。有効なキーが点灯し、無効のキーは点灯しません。



これらの設定を行うには **SCALE** エンジン起動しておく必要があります。

- ▶ **SCALE** を選択すると、コントロールセクションでノブ 5 を回すことで CHORD パラメーターに以下の値が設定されます。
  - OFF
  - HARM
  - CHD SET

### 8.3.5 Chord Type



コードタイプで HARM を選択、有効なパラメーターを表示しています。



コードタイプで CHD SET を選択、有効なパラメーターを表示しています。

Chord Type パラメーターで単一ノート入力によって生成されるコードを設定します。例えばルートノートを (↑8.3.1, SCALE と Root Note) C にし、CHORD (↑8.3.3, KEY MODE) を CHD SET にすると、コードタイプパラメーターに選択可能なコードが提示されます。例えば選択肢は MAJ 4 や MIN 7 となり、これらがルートノート C を使用した場合メジャー、マイナーコードを生成します。

CHORD を HARM にした場合は、Chord Type では選択した Scale Type (↑8.3.2, Scale Type) による各ノートを表示します。これで CHROM スケール以外の全スケールで、コードを構成するノート間隔を選択することができるようになります。ノート間隔は KOMPLETE KONTROL S-SERIES、またはホストソフトウェアから送信された単一の MIDI ノートに適用されます。SCALE を C、スケールタイプを MINOR にし、CHORD を HARM にし、コードタイプを 1-3-5 にすることで C マイナートライアドが生成されます。ここまでの解説が難解であれば、任意の値を設定して KOMPLETE KONTROL S-SERIES の Light Guide を確認して、どのキーが有効、無効であるか、どのノートが再生されるか試してみてください。

- KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードが点灯し、CHORD と Chord Type 設定内容に従って生成されるコードを LED 表示します。有効なキーが点灯し、無効のキーは点灯しません。



これらの設定を行うには SCALE エンジン起動しておく必要があります。

- ▶ SCALE を選択すると、コントロールセクションでノブ 6 を回すことでコードタイプパラメーターに以下の値が設定されます。
  - CHORD で HARM を選択した場合
  - CHORD で CHD SET を選択した場合
    - MAJ 1
    - MAJ 2
    - MAJ 3
    - MAJ 4
    - MAJ 5
    - MAJ 6
    - MAJ 7
    - MAJ 8
    - MIN 1
    - MIN 2
    - MIN 3
    - MIN 4
    - MIN 5

- MIN 6
- MIN 7
- MIN 8

Chord Type	演奏ノートに追加されるノート
OCTAVE	オクターブ
1-3	3rd
1-5	5th
1-3-5	3rd と 5th
1-4-5	4th と 5th
1-3-5-7	3rd、5th、7th
1-4-7	4th と 7th

### Chord Type と Chromatic Scale

CHROM スケールはオクターブ内の全セミトーンを含みます。これは全白鍵盤、黒鍵盤をオクターブ全域に渡って 12 ステップの CHROM スケールを演奏している、ということになります。スケール内で全てのセミトーンを使用でき、これらのキーでコードを演奏できます。Scale Type として CHROM (↑ 8.3.2, Scale Type) を選択すると、自由に Chord Type を選択することが可能となります。以下は生成可能な有効なコードです。

Chord Type	再生ノートに追加されるセミトーン
OCTAVE	12
PERF 4	5
PERF 5	7
MAJOR	4 と 7
MINOR	3 と 7
SUS 4	5 と 7
MAJ 7	4、7、11

Chord Type	再生ノートに追加されるセミトーン
MIN 7	3、7、10
DOM 7	4、7、10
DOM 9	4、7、10、14
MIN 7b5	3、6、10
DIM 7	3、6、9
AUG	4 と 8
QUARTAL	5、10、15
TRICHD	5 と 11

## 8.4 ARP



PAGE ディスプレイで ARP と表示しています。

KOMPLETE KONTROL S-SERIES の **PERFORM** パネルには柔軟、かつ多彩なアルペジエーターを搭載しており、Scale パラメーターで設定したスケールとコード内容で KOMPLETE インストゥルメントをリズムカルに演奏します ([↑ 8.2, SCALE](#))。アルペジエーター自体の活用も可能で、例えば演奏キーによる途切れることのないアルペジオ演奏や、複数のオクターブ間を行き来するアルペジオ演奏ができます。アルペジオ演奏では KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボード鍵盤のいずれかを押すか、ホストソフトウェアから MIDI ノートを送信するのみとなります。

## 8.5 サステインペダルによる ARP の使用

アルペジエーターの性質を変える際にサステインペダルを使用することもできます。サステインペダルは KOMPLETE KONTROL S-SERIES キーボードのリアパネルの 1/4" 端子に接続することができます。



キーボードのリアパネルのペダルインプットです。

### ARP 起動時にサステインペダルを押した場合

- 鍵盤を押している間にサステインペダルを押し、鍵盤を放すと、アルペジオ演奏が継続されます。これでフットスイッチがアルペジオトリガーとして機能します。
- 鍵盤を演奏すると、現在のシーケンスに新規ノートが追加されます。

### ARP 起動時にサステインペダルを放した場合

- 鍵盤を押していない状態でサステインペダルを放すと、シーケンスと全演奏ノートが停止します。
- 鍵盤を押している状態でサステインペダルを放すと、押している鍵盤以外の全ノートが演奏を停止し、押している鍵盤の演奏を継続します。

## 8.6 ARP パラメーター

アルペジエーターには 8 つの異なるパラメーターがあり、ノートシーケンスに多彩な表現力を与えます。例えば、レート、スイング、レンジを設定し、リズムとメロディーを変化させます。

### 有効な Arp パラメーター

- MAIN とノートリピートに関してはセクション [↑ 6.6.1, Mode](#) を参照してください。
- タイプと再生方向についてはセクション [↑ 6.6.2, Type](#) を参照してください。
- RHYTHM とアルペジエーターの有効なノート値についてはセクション [↑ 6.6.3, Rate](#) を参照してください。
- SEQUENCE とリズムのバリエーション作成についてはセクション [↑ 6.6.4, Sequence](#) を参照してください。
- SWING とグルーヴの追加についてはセクション [↑ 6.6.5, Swing](#) を参照してください。
- OCTAVES / OTHER とアルペジエーターレンジについてはセクション [↑ 6.6.6, Octaves](#) を参照してください。

- DYNAMIC とベロシティのバリエーション作成についてはセクション [↑ 6.6.7, Dynamic](#) を参照してください。
- GATE とノートレングスの設定についてはセクション [↑ 6.6.8, Gate](#) を参照してください。



SCALE パラメーターに関してはセクション [↑ 8.3, SCALE パラメーター](#) を参照してください。

## 8.6.1 MAIN



基本となる最初の ARP パラメーターは MAIN で、ARP または NOTE RPT を選択します。選択によって、その他の ARP パラメーターが表示、非表示となります。

ARP モードで Scale エンジンの設定内容により、ノートのシーケンスを再生します。例えば Scale Type ([↑ 8.3.2, Scale Type](#)) を JAPANESE、CHORD ([↑ 8.3.3, KEY MODE](#)) を HARM にすると、JAPANESE スケールでコードを再生します。ARP を起動し、MAIN を ARP にすると、スケールエンジンによって生成されるコードをアルペジオ演奏します。選択したスケールによるアルペジオ演奏を行うには、KOMLETE KONTROL S-SERIES の鍵盤の一つを押さえるだけとなります。同じようにホストソフトウェアからコードをトリガーしている場合でも、単一の MIDI イベントのみがあれば、アルペジオによるノートシーケンスの演奏が可能で、モノフォニックインストゥルメントへの応用も利くようになります。

- ARP を選択することで全アルペジオ用パラメーターにアクセスすることができます。
- NOTE RPT を選択することで RHYTHM、SWING、GATE (以下図参照) のアルペジオ用パラメーターにアクセスできます。他のパラメーターは非表示となります。
- KOMLETE KONTROL S-SERIES キーボードはアルペジオシーケンスを LED のフル点灯で示し、起動しているキーは半時点灯した状態、無効のキーは無点灯となります。



これらの設定を行うには ARP エンジンを起動しておく必要があります。

- ▶ ARP を選択すると、コントロールセクションでノブ 1 を回すことで MAIN パラメーターに以下の値が設定されます。
  - ARP
  - NOTE RPT



## NOTE RPT モード



MAIN を NOTE RPT に設定、RHYTHM、SWING、GATE が表示された状態です。

MAIN を NOTE RPT にすることで、アルペジエーターが無効となり、代わりに KOMplete KONTROL S-SERIES が NOTE RPT モードとなり、KOMplete KONTROL が MIDI ノートオフメッセージを受信するまでインプットノートを繰り返し再生します。RATE、SWING、GATE (↑ 8.6.3, RHYTHM、↑ 8.6.5, SWING、↑ 8.6.7, DYNAMIC) を使用して NOTE RPT モード内容を必要に応じて編集してください。

### 8.6.2 Type



タイプで再生方向を設定します。

アルペジオの種類を設定するための Type パラメーターは ARP モード使用時のみ有効です。ルートノートを中心にコードがどのように演奏されるか設定します。PLAYED を選択すると、KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードで鍵盤に触れた順番でアルペジオ演奏されます。ホストソフトウェアで Type パラメーターをオートメーションすることでアルペジオ演奏に変化をつけることができます。



これらの設定を行うには ARP エンジン起動しておく必要があります。

- ▶ ARP を選択すると、コントロールセクションでノブ 2 を回すことでタイプパラメーターに以下の値が設定されます。
  - UP
  - DOWN
  - UP-DOWN
  - PLAYED
  - CHORD

## 8.6.3 RHYTHM



RHYTHM パラメーターでアルペジエーターのレートを設定します。

RHYTHM パラメーターは ARP と NOTE RPT モードの両方で使用できます（↑8.6.1, MAIN 参照）。グローバルテンポを元に ARP エンジン内で音符単位によるテンポを設定（設定値幅は 1/1 から 1/128 までです）します。（1/1 と 1/128 以外の）全ノート値には通常音符、付点音符、三連符があります。付点音符は通常の音符より 1.5 倍の長さとなります。三連符は通常ノートの 2/3 の長さとなります。



これらの設定を行うには ARP エンジンを起動しておく必要があります。

▶ ARP を選択すると、コントロールセクションでノブ 3 を回すことで RHYTHM パラメーターに以下の値が設定されます。

- 1/1
- 1/2 D
- 1/1 T
- 1/2
- 1/4 D
- 1/2 T
- 1/4
- 1/8 D
- 1/4 T
- 1/8
- 1/16
- 1/8 T
- 1/16
- 1/32 D
- 1/16 T
- 1/32

- 1/64 D
- 1/32 T
- 1/64
- 1/128 D
- 1/64 T
- 1/128

## 8.6.4 SEQUENCE



SEQUENCE パラメーターでリズムを設定します。

SEQUENCE パラメーターでアルペジオノートのリズムを設定します。選択肢は 8 つです。SEQUENCE 使用時に RHYTHM パラメーター (↑ 8.6.3, RHYTHM 参照) を編集することで異なるテンポによるリズムのバリエーションを生成することが可能となります。RHYTHM を通常値、または付点音符による値にすると、SEQUENCE は 16 ステップのノートシーケンスを生成します。RHYTHM を三連符による値にすると、SEQUENCE は 12 ステップのノートシーケンスを生成します。

再生中にシーケンスリズムを変更することも可能です。例えばシーケンス 1 を起動していてシーケンス 2 を選択すると、4 つ目の MIDI ノートが再生された後 5 つ目の MIDI ノートからシーケンス 2 が再生され始めます。



これらの設定を行うには ARP エンジンを開始しておく必要があります。

- ▶ **ARP** を選択すると、コントロールセクションでノブ 4 を回すことで SEQUENCE パラメーターに以下の値が設定されます。

- OFF
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

- 6
- 7
- 8

▶ SEQUENCE パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 4 をタップします。

## 8.6.5 SWING



SWING パラメーターでシーケンスにグルーブを与えます。

ノートシーケンスに SWING を加えることでより自然な「ノリ」を与えることができます。SWING を追加することでシーケンス上の各二番目のノートの再生位置が絶妙にずれます。これで音楽にグルーブを追加することができます。

SWING の選択値幅は 0.0 % から 100.0 % までです。

- ▶ 値を 0.0% にするとスイング効果は得られません。
- ▶ 値を 50.0% にすると、ホストシーケンサーで設定しているテンポグリッドのノート半分の位置にノートが移動します。
- ▶ 値を 100.0% にすると、ホストシーケンサーで設定しているテンポグリッドの 1 ステップ分ノートが移動します。

SWING 設定時に GATE パラメーターを設定することで (↑ 8.6.7, DYNAMIC 参照) グループにバリエーションをつけることが可能となります。例えば GATE を 100.0% にすると、KOMPLETE KONTROL が各ノートを発音する前に MIDI ノートオフメッセージを送信し、シーケンスをレガート再生します。GATE 値が 100.0% を前後する場合は、SWING 値が適用された後にノートサイズが変化します。



これらの設定を行うには ARP エンジン起動しておく必要があります。

- ▶ **ARP** を選択すると、コントロールセクションでノブ 2 を回すことで **SWING** パラメーターを 0.0 % から 100.0 % までの値に設定することができます。
- ▶ **SEQUENCE** パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 5 をタップします。

## 8.6.6 OCTAVES / OTHER



OCTAVES / OTHER パラメーターでアルペジオレンジを設定します。

OCTAVES / OTHER パラメーターでアルペジオレンジを設定します。KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードでシーケンスの再生範囲となるオクターブを選択することができ、また、最高 8 オクターブ分までの再生幅を設定、コードやスケールの演奏域が行き届く範囲を設定します

**Type** パラメーター (↑ 6.6.2, **Type**) での設定内容によって、再生オクターブ範囲は押した鍵盤以上のオクターブ域 (*Up*) または以下 (*Down*) となります。

- KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードは再生しているキーを LED のフル点灯で示し、その他のキーは半分点灯した状態となります。



これらの設定を行うには **ARP** エンジンを起動しておく必要があります。

- ▶ **ARP** を選択すると、コントロールセクションでノブ 6 を回すことで **OCTAVES / OTHER** パラメーターに以下の値が設定されます。
  - 1
  - 2
  - 3
  - 4
  - 5
  - 6
  - 7
  - 8

- ▶ OCTAVES / OTHER パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 6 をタップします。

## 8.6.7 DYNAMIC



DYNAMIC パラメーターでアルペジオのベロシティーを設定します。

DYNAMIC 機能はインプットベロシティー設定機能で、例えば KOMplete KONTROL S-SERIES キーボードを押す、またはホストソフトウェアの MIDI 入力ノート値を DYNAMIC パラメーターで編集します。各ノートに対して値を適用できます。各ノートのベロシティー値は DYNAMIC パラメーター値での設定によって変化します。



これらの設定を行うには ARP エンジンを開始しておく必要があります。

- ▶ ARP を選択すると、コントロールセクションでノブ 7 を回すことで SWING パラメーターを 1.0 % から 200.0 % までの値に設定することができます。
- ▶ DYNAMIC パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 7 をタップします。

## 8.6.8 GATE



GATE パラメーターでアルペジオノートの長さを設定します。

GATE パラメーターでシーケンスのノートレングスを設定します。1.0 % から 99.9 % まで値を変更することでノートの長さが短くなります。100.1 % から 200% まで値を変更することでノートの長さが長くなります。



これらの設定を行うには ARP エンジンを起動しておく必要があります。

- ▶ ARP を選択すると、コントロールセクションでノブ 8 を回すことで GATE パラメーターを 1.0 % から 200.0 % までの値に設定することができます。
- ▶ GATE パラメーターの設定値を確認するには、ノブ 8 をタップします。

## 9      トラブルシューティング-ヘルプ

この章では KOMPLETE KONTROL に関連した一般的な問題の解決方法と、サポート情報に関する内容を記載しています。ヘルプを参照する前に、Service Center で KOMPLETE KONTROL ソフトウェアと資料、KOMPLETE 10 と KOMPLETE 9 を最新の内容にアップデートしてください。

### 9.1      トラブルシューティング

このセクションでは KOMPLETE KONTROL 使用中に起こりうる一般的な問題の解決方法を紹介します。

#### 9.1.1      KOMPLETE KONTROL ソフトウェアが起動しない

- KOMPLETE KONTROL の動作環境を確認してください。ここで必要最低条件を満たしている場合でも、各機能の使用の際に支障をきたす場合があります。コンピューターの RAM を増強することで性能を向上させることができます。
- 最新バージョンの KOMPLETE KONTROL ソフトウェアを使用しているか確認してください。最新バージョンは以下のリンクにあります。  
<http://www.native-instruments.com/updates>
- クリックしたアプリケーションのエイリアス、またはショートカットが有効なものか確認してください。
- コンピュータを再起動してください。他のオーディオインターフェイスとコンピュータで使用している周辺機器等の接続をはずしてください。

#### 9.1.2      KOMPLETE インストゥルメントが発音しない

KONTAKT、BATTERY、REAKTOR を KOMPLETE KONTROL ロードしてもアウトプット 3 以降から発音しない場合は、ホストで Multi Output (16 x Stereo) 仕様の KOMPLETE KONTROL を使用しているか確認してください。ステレオバージョンの KOMPLETE KONTROL を使用している場合は、アウトプット 1 と 2 のみから音声が出力されます。

#### 9.1.3      レイテンシーの問題

- 始めに、使用しているコンピュータにオーディオドロップアウトがなく、リアルタイムオーディオ処理に適しているかを確認してください。一般的に共有メモリグラフィックカードをラップトップに使用することは推奨されていません。オーディオソフトウェアの処理を円滑に行うには十分なメモリと的確な処理精度が必要です。



- ラップトップをバッテリーのみで使用すると電源管理システムがバッテリー省エネモードとなり CPU のクロックレートを下げる可能性があるのでバッテリーのみの使用は推奨しません。
- 演奏中に使用しない機器は外して下さい (例、プリンター、スキャナー等)。使用しない機器を外すことで音楽ソフトに対する処理能力が向上します。
- ラップトップにはオーディオ処理を妨げる Bluetooth、イーサネット ネットワークアダプターや、ワイヤレス LAN カード等の内蔵デバイスが装備されていることが多々あります。これらの機器も KOMPLETE KONTROL を使用している時は、無効にしておく必要があります。

**Windows ユーザー:** オンラインナレッジベースにオペレーションシステムに対応した各ヒントを記載しています。以下の記事を参照してください。

- Windows 7 のオーディオ生成に関するヒント  
<http://www.native-instruments.com/knowledge/questions/847/>
- Windows 8 のオーディオ生成に関するヒント  
<http://www.native-instruments.com/knowledge/questions/1395/>

## 9.1.4 KOMPLETE KONTROL ソフトウェアがクラッシュする

ランタイム中にクラッシュする場合は、Native Instruments テクニカルサポートチームにセクション ↑ 9.3.2, [テクニカルサポート](#)で紹介する手順でクラッシュログを提出、提出時にはクラッシュが起きる直前まで行っていた作業について詳しく詳細を知らせてください。クラッシュログは以下のフォルダにあります。

- Windows: *My Documents\Native Instruments\Komplete Kontrol\Crashlogs*
- Mac OS X: *Users/~/.Library/Logs/CrashReporter*

## 9.1.5 アップデート

問題に直面した場合は、まずソフトウェアのアップデートを確認、ダウンロードし、インストールすることをお勧めします。アップデートは問題の解消、オペレーションシステムのアップデートへの対応、またはソフトウェアの品質向上の度にリリースされます。ソフトウェアのバージョン番号は Native Instruments 各アプリケーションの About ダイアログで表示可能です。このダイアログはユーザーインターフェイスの上右隅の NI ロゴをクリック、上左隅の KOMPLETE KONTROL ロゴをクリック、アプリケーションメニューバーの [Help](#) の *About Komplete Kontrol* を選択、KOMPLETE KONTROL メニューの *Help* サブメニューを選択することで開くことができます。更にインストールしてある全 Native Instruments アプリケーションのバージョン番号はサービスセンターの [製品一覧](#) ページでも確認することができます。アップデートはサービスセンターの [アップデート](#) ページ、または 以下当社ウェブサイトから行うことも可能です。

<http://www.native-instruments.com/updates>

## 9.2 ヘルプ

NATIVE INSTRUMENTS 製品に問題が生じ、既存の資料で問題が解決できない場合は、次のヘルプを有効利用してください。



以下のセクションのリンクはサービスセンター (Service Center) アプリケーションからもアクセス可能です。

## 9.3 サポートチャンネルビデオ

以下の url にある Native Instruments 公式サポートチャンネルでは各ビデオを用意しています。 <https://www.youtube.com/NIsupportEN>

これらのインストラクションの内容に沿って該当するアプリケーションをコンピューター上で起動し、解説内容を実際に行ってみることを推奨します。

### 9.3.1 Knowledge Base

オンラインナレッジベースには Native Instruments 製品の各情報をまとめており、また問題解決のヒントとなる情報を用意しています。ナレッジベースには以下からアクセスします。

[www.native-instruments.com/knowledge](http://www.native-instruments.com/knowledge)

KOMLETE KONTROL のアプリケーションメニューバーの **Help** メニューから *Visit Online Knowledge Base* を選択、または KOMLETE KONTROL メニューの *Help* サブメニューを選択することでナレッジベースにアクセスすることができます。

### 9.3.2 テクニカルサポート

問題をナレッジベースで解決できない場合は、オンラインサポートフォーラムを使用して Native Instruments のテクニカルサポートチームに相談することも可能です。オンラインサポートフォームで使用しているハードウェア、ソフトウェアについてお答えください。ここでの情報は今後サポートチームが問題発生時に効率よく対応する為の資料となります。以下のオンライン・サポートにご連絡いただけます。

[www.native-instruments.com/supppform](http://www.native-instruments.com/supppform)

Native Instruments サポートチームとコンタクトをとる際、ハードウェア、オペレーションシステム、使用しているソフトウェアのバージョン情報、問題の詳細をチームに伝えることが問題を解決する為に非常に有効となります。

情報として提示すべき情報は以下となっています。

- 問題に到達するまでの操作手順
- 問題解決するために自分で試した解決策
- ソフトウェアバージョン、ハードウェアを含む使用しているセットアップの内容
- 使用しているコンピュータの機種を含む正確な情報

新規ソフトウェア、またはソフトウェアをインストールした場合、Readme ファイルに資料に含まれていない最新情報を書き添えてある場合があります。テクニカルサポートにコンタクトする前に Readme をお読みください。

### 9.3.3 レジストレーションサポート

製品アクティベーション作業中に問題が生じた場合は、レジストレーションサポートチームに連絡を取ってください。

[www.native-instruments.com/regsuppfrm](http://www.native-instruments.com/regsuppfrm)

### 9.3.4 ユーザーフォーラム

Native Instruments ユーザーフォーラムでは他のユーザーやフォーラムの中心人物となるフォーラムの専門家と製品について直接会話することが可能です。テクニカルサポートチームはフォーラムに参加することはありません。他のユーザーと話し合っても問題が解決しない場合は、上記のコンタクト先を用いて Native Instruments のテクニカルサポートチームにコンタクトを取ってください。ユーザーフォーラムは以下にあります。

[www.native-instruments.com/forum](http://www.native-instruments.com/forum)

# 索引

アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ

**Arp** [140] [215]

Dynamic [147] [222]

GATE [147] [222]

Groove [145] [220]

MAIN [216]

Mode [141]

Note Value [143] [218]

OCTAVES [146] [221]

OCTAVES / OTHER [221]

OTHER [221]

Range [146] [221]

Rate [143] [218]

RHYTHM [144] [218]

Rhythms [219]

Sequence [144] [219]

SWING [145] [220]

Tempo [143] [218]

Type [142] [217]

Velocity [147] [222]

**ARP button** [199]

**Arp Mode**

Note Repeat [142]

**ARP ページ** [182]

**ARP モード**

NOTE RPT [217]

**Arpeggiator** [140]

**Arpeggio** [126] [140]

**ASIO ドライバ** [45]

**BACK ボタン** [162]

**BROWSE ボタン** [160] [161] [162]

**CHORD**

CHD SET [210]

HARM [210]

**Chord Mode** [135]

**Chord Type** [137] [212]

CHROM スケール [213]

Chromatic Scale [139]

**CHORD モード** [210]

**Chords** [125]

Chord Set [135]

Generating [135] [137]

Harmonizer [135]

**CHROM スケール** [213]

**Chromatic Scale** [139]

**DYNAMIC** [147] [222]

**EASY**

KEY MODE [206]

**ENTER ボタン** [162]

**FILES ペイン** [110]

**Gate** [147] [222]

**Help** [224]

**IMPORT ボタン** [118]

**INSTANCE**

ボタン [35]

**INSTANCE ボタン** [151] [161]

インスタンスの選択 [158]

**INSTANCE ボタン**

ホストコントロール [158]

**Key Mode** [132] [206]

EASY [132] [206]  
**KOMplete KONTROL**  
    キーボード概観 [148]  
**KOMplete KONTROL S-SERIES**  
    キーボード概観 [148]  
**KOMplete KONTROL ソフトウェア**  
    スタンドアローンまたはプラグイン [30]  
**Latency** [45]  
**LED**  
    Light Guide [195]  
    キーベッド [195]  
**LIBRARY ペイン** [85]  
**Light Guide** [195]  
    LED [195]  
**MAIN** [216]  
**MIDI**  
    Native Map [49]  
    オートメーション [50]  
    パラメーターのコントロール [50]  
    モード [35]  
    外部機器の接続 [48]  
    設定 [46]  
**MIDI モード** [35]  
**Mode** [141]  
**MODES フィルター** [87]  
    スクリーン画面 [163]  
**Native Map** [49]  
    アサインのコントロール [49]  
**Navigate コントロール** [31]  
**NAVIGATE セクション** [155] [160] [161]  
    概要 [161]  
**Navigate 矢印** [162]  
**Note Repeat** [142]  
    Mode [142]

**NOTE RPT** [217]  
    MAIN [217]  
**OCT- ボタン** [149]  
**OCT+ ボタン** [149]  
**OCTAVES** [146] [221]  
**OCTAVES OTHER** [221]  
**PAGE ディスプレイ** [182]  
**Perform Panel**  
    showing and hiding [25]  
**PERFORM セクション**  
    ARP ボタン [199]  
    SCALE [201]  
    SCALE ボタン [199]  
    SHIFT ボタン [199]  
**Preferences** [35] [188]  
    Hardware ページ [40]  
    Library ページ [36]  
**PRESET down** [180]  
**PRESET up** [180]  
**PRESET ディスプレイ** [182]  
**PRESET ボタン** [162] [180]  
**PRESS BROWSE** [56]  
**Rate** [143]  
**Result リスト**  
    Files ペイン内 [112]  
**RHYTHM** [218]  
**Root Note** [128]  
    SCALE [202]  
**SCALE** [126] [201]  
    CHORD [210]  
    Chord Mode [135]  
    Chord Type [137] [212]  
    KEY MODE [132] [206]  
    Root Note [128] [202]

Scale Type [129] [203]  
Scale Type [129] [203]  
CHROM [213]  
Chromatic [139]  
SCALE ページ [182]  
SCALE ボタン [199]  
Scales [125]  
SEQUENCE [144] [219]  
SHIFT ボタン [199]  
STANDARD  
KEY MODE [206]  
Swing [145] [220]  
Tag Filter  
使用 [94]  
TRANSPORT セクション [153]  
Transport 機能 [31]  
TRANPOSE ボタン [149]  
Type [142] [217]  
TYPES フィルター [87]  
スクリーン画面 [163]  
音楽理論  
アルペジオ [126]  
コード [125]  
スケール [125]  
概観  
キーボード [148]  
検索結果 [179]  
自動アサインコントロール [182]  
自動トラックフォーカス [155]  
設定  
ホストアプリケーション [33]  
録音アームの使用 [155]

アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ  
アルペジエーター [215]  
アルペジオ [215]

アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ  
インスタンス  
切り替え [32]  
インスタンスの切り替え [32]

アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ  
オーディオインターフェイス  
設定 [44]  
選択とアウトプット [45]  
オーディオと MIDI の設定 [43]  
Audio ページ [44]  
Routing ページ [45]  
オーディオと MIDI 設定  
MIDI ページ [46]  
オーディオドライバ (設定) [45]

アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ

キーペロシティー [40]

キーボード

コントロール [148]

概観 [148]

キーボードの LED [195]

アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ

コード

生成 [210] [212]

コンテンツセクター

スクリーン画面 [163]

コントローラーセッティング [40]

コントロールエンコーダー [162]

NAVIGATE セクション [162]

コントロールセクション [183]

ページボタン [182]

アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ

サーチフィールド [87]

サーチリザルト [100]

サウンドカード

アウトプットルーティング [45]

設定 [44]

サンプルレート

選択 [45]

アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ

スクリーン画面 [158]

MODES [171]

TAGS [171]

ブラウザ [160] [162]

ブラウザのワークフロー [164]

スケールエンジン [126] [201]

スタンドアローンアプリケーション [30]

アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ

セットアップ

ホストアプリケーションの設定 [33]

アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ  
タグ

Types と Subtypes のアサイン [108]

作成 [109]

タグフィルター

使用 [171]

タッチストリップ

Preferences [40]

アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ  
ディスプレイ

コントロールセクション [182]

テキスト検索

ブラウザの使用 [100]

アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ  
ドライバ

オーディオドライバの選択 [45]

トラックセクション [155]

トラブルシューティング [224]

アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ  
ノブ

コントロールセクション [182]

アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ

ハードウェアコントローラー

概観 [148]

パフォーマンスパネル

Scale [126]

パラメーターのアサイン [182]

パラメーターページ [182]

アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ  
ブラウザ

キーボード [160]

スクリーン画面 [160] [162]

詳細 [83]

表示と非表示 [25]

プラグイン [30]

プロダクトセクター

スクリーン画面 [163]



アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ

ページボタン [182]

ページのスキップ [182]

ペロシティースケーリング [40]

アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ

ホスト

録音アームの使用 [155]

ホストアプリケーション

設定 [33]

ホストオートメーション [50]

ホストコントロール [153] [155]

設定 [152]

ホストトラックの選択 [155]

ホストトランスポートコントロール [153]

ホストナビゲーション [155]

ホストの設定 [33]

アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ

ライブラリ [84]

自身のファイルのインポート [117]

ライブラリーにファイルをインポートする [117]

アイコン[\*];数字[0-9];あ;い;う;え;お;  
か;き;く;け;こ;さ;し;す;せ;そ;た;ち;つ;  
て;と;な;に;ぬ;ね;の;は;ひ;ふ;へ;ほ;ま;  
み;む;め;も;や;ゆ;よ;ら;り;る;れ;ろ;わ

リザルトリスト

Files ペイン内 [115]

Library ペイン内 [87] [100]

スクリーン画面 [163] [179]